

(2020 年度版)

年 報



TOKUSHUKAI

医療法人 沖縄徳洲会

中部徳洲会病院

目 次

ご挨拶	2 頁
中部徳洲会病院の目指す医療	3 頁
中長期目標	4 頁
患者様の権利	5 頁
病院概要	6 頁
学会認定施設	8 頁
学会指導医・認定医・専門医	9 頁
施設基準	12 頁
沿革	15 頁
組織図	17 頁
外来診療担当医紹介	18 頁
外来診療体制	23 頁
各委員会・会議	28 頁
統計	31 頁
看護部報告	38 頁
コメディカル報告	80 頁
事務部報告	99 頁
研究実績	129 頁
学会参加者	137 頁

ご挨拶



院長 大城吉則

2021年1月1日付けで病院長に就任しました大城吉則です。中部徳洲会病院は1988年4月1日に沖縄市に開設、2016年4月1日に現在の北中城村へ移転しました。開設以来、当院は「生命だけは平等だ」、「生命を安心して預けられる病院」、「健康と生活を守る病院」徳洲会グループの基本理念のもとに中部医療圏の地域医療に貢献すべく、“救急医療および断らない医療”を病院スタッフ一丸となって実践してまいりました。先人達のためめぬ努力、奮闘によって病院機能は徐々に拡充・拡大してきました。新病院は、県内最大級の屋上ヘリポートを設置しており、2020年7月には第11管区海上保安本部とヘリポート使用協定を締結し、本島北部および離島からのヘリで搬送されてくる救急患者への対応も可能となり、救急医療の守備範囲も拡大しております。

また、最新の医療設備、医療機器を備え、“高度先進医療”および“がん診療”にも力を入れております。県内初の移動型CTを備えたハイブリッド手術室は、救急室から手術室まで直結しており、救急患者を迅速に診断し命を救うための超緊急手術が可能となりました。その他、大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術、外科、脳外科そして整形外科領域においても術中に正確な病変部位の診断が必要な手術にも活用しております。泌尿器科領域のがん患者様に対しては、手術支援ロボット Da Vinci 使用して、負担が小さく、精度の高い手術を行い、循環器科においては、不整脈に対するカテーテルアブレーション治療、狭心症・心筋梗塞に対するカテーテル治療などの先端医療を行っています。

昨今、『人生100年時代』と言われるように日本人の平均寿命は飛躍的に延びてきました。より良い人生を過ごすためには、健康寿命を維持することが重要です。当院では皆様の健康維持をサポートするため、健康管理センターでは心地よい健診・人間ドックをめざした健診業務を行ない、健康に関する疑問の解決や知識を深めて頂くための医療講演会も定期的に行っていますのでご活用願います。また、慢性疾患の患者様に対しましては、地域内で包括的・継続的な医療が提供できる様、開業医の先生方とも綿密な病診連携をとりながら、地域内での双方向性の医療の実現にも努めております。

このように、中部徳洲会病院では地域の皆様に最善な医療を提供できるように、職員一同、日々努力してまいりますので、今後も変わらぬご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

中部徳洲会病院の目指す医療

I. 目 標

当院は、徳洲会の「生命だけは平等だ」という基本的な考えに基づき「いつでも、どこでも、だれもが安心して最善の医療を受けられる社会」を目指します。

II. 理 念

1. 生命を安心して預けられる病院
2. 健康と生活を守る病院

III. 理念の実行方法

1. 年中無休・24時間オープン
2. 入院保証金、総室(大部屋)の室料差額冷暖房費等一切無料
3. 健康保険の3割負担金も困っている人には猶予する
4. 生活資金の立替・貸与する
5. 患者さまからの贈り物は一切受けとらない
6. 医療技術・診療態度の向上にたえず努力する

中長期目標

医師・看護師・その他職員の外国人スタッフを採用、国際色豊かな病院を目指す。

中期目標

1. 慢性的な満床状態の改善
2. メディカルツーリズムの推進

長期目標

3. 地域医療支援病院の取得
4. 技術革新
5. 人事システムの構築

2020年度目標

1. 経営の安定
2. 医療の質の向上
3. 離職の無い病院作り
4. 職員満足度の向上
5. 医師の業務負担軽減
6. 日帰り手術の推進
7. 高度急性期病床の増床
8. パス稼働率の向上
9. 地域連携パスの稼働
10. 認定看護師の育成

患者様の権利

患者様は、平等かつ安全で良質な医療を公平に受ける権利があります。

患者様は、ご自身の病気や治療方針について、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。

医師から提示された治療方針については患者様ご自身で選択し、決定することが出来ます。

患者様のプライバシーは、常に保護・尊重され、配慮を求める権利があります。

患者様または、ご家族は当院での診断・治療方法に関してセカンドオピニオン（他の医師の診断）を受ける権利があります。

患者様は、診療録の開示を求め自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。

患者様およびご家族の方は、病院内での安全な環境を提供される権利があります。

患者様が未成年者、あるいは法的無能力者である場合は、法定代理人（法律上の権限を有する代理人）に権利があります。

意識のない患者様、あるいは自己の意思を表現できない患者様のインフォームドコンセントは、法定代理人に求めます。法定代理人不在時にて、医療処置が緊急に必要な場合は、医療処置を拒否する意思を明確にしていな限り、患者様の承諾があったものとみなし、救命に努めます。

患者様は、人道的な末期医療（ターミナルケア）を受ける権利、及びできる限り尊厳と安定を保ちつつ死を迎える為にあらゆる可能な支援を受ける権利があります。

患者様は精神的および倫理的慰安（自分で選んだ宗教の聖職者の支援を含む）を受ける権利を有し、また拒絶する権利があります。

患者様は痛みを緩和する要求をする権利があります。

患者様は自己の病気に対する医療情報サービスに関する選択が行え、ライフスタイルや疾患の予防・早期発見の情報を得て保健教育を受ける権利を有します。

患者様は、患者様が理解できるコミュニケーションを取る権利があります。病院は、必要に応じ無償で外国語通訳を提供致します。

病院概要

1.所在地

〒901-2393 沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地

TEL 098-932-1110 FAX 098-931-9595

2.建物

開設日： 昭和63年4月1日

移転日： 平成28年4月1日

敷地面積： 合計42,507.28㎡(12,858.45坪)

延床面積： 53,313.83㎡(16,127.43坪)

3.病床数

使用許可： 368床

4.診療科目

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・腎臓内科・ペインクリニック内科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺外科・小児外科・気管食道外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・膵臓外科・リウマチ科・ペインクリニック外科・小児科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・臨床検査科・救急科・泌尿器科（人工透析）・麻酔科・歯科口腔外科



5.特色・経営方針

当院は昭和63年4月、沖縄本島中部の沖縄市（人口12万人）に開設。長寿県沖縄の中でも観光地に近く、また米軍基地の商業地として発展した街に所在するため、若年～老年の一般患者に混じって、他府県、外国籍の受診者もしばしば見受けられました。同じ医療圏内に所在する大学病院・公立病院・近隣の医療機関と病病・病診連携を取り合いながら、地域の中核病院として救急診療、急性期・慢性期疾患の治療、予防医療の充実に力を入れています。平成元年には許可病床数が300床となり、その後も併設老人保健施設、関連診療所5カ所の開設、院内では総合健診センター、日帰り手術センターの開設、平成24年に許可病床数が331床となりました。

平成28年4月に北中城村へ新築移転。平成29年3月に許可病床数が347床、令和2年8月には368床になるなど、多様化する患者のニーズに合わせて病院運営を展開してきました。

6.職員数

職員数1,169名（常勤1,021名、非常勤148名）

職種	人員数
医師（医科・歯科）	157名
看護師（助・保）	453名
准看護師	23名
介護職	81名
薬剤師	41名
臨床検査技師	37名
診療放射線技師	35名
臨床工学士	29名
理学療法士	34名
作業療法士	19名
言語聴覚士	7名
管理栄養士	10名
事務職	152名
医療相談員	11名
その他	80名

7.学会認定施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設	日本整形外科学会専門医研修施設
日本内科学会教育関連病院認定施設	日本形成外科学会認定医研修施設
日本循環器病学会専門医研修関連施設	日本脳神経外科学会専門医認定研修施設
日本小児科学会専門医研修関連施設	日本脳神経外科学会専門医認定関連施設
日本外科学会専門医制度修練施設	日本病理学会研修登録（関連）施設
日本胸部外科学会認定医指定施設	日本臨床細胞学会認定施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定基幹施設	日本臨床細胞学会教育研修認定施設
関連 10 学会構成 腹部ステントグラフト実施施設	日本臨床検査医学会認定研修施設
関連 10 学会構成 胸部ステントグラフト実施施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本乳癌学会認定医/専門医制度関連施設	日本医学放射線学会専門医修練協力機関承認施設
日本泌尿器科専門医教育施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術実施施設	日本麻酔科学会麻酔科認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院	日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設	日本心電学会認定 不整脈専門医研修施設
日本集中治療医学会専門医研修施設	日本口腔外科学会認定准研修施設

8.学会指導医、認定医、専門医

所属学会	氏名
日本救急科専門医	伊波 潔・比嘉信喜・手登根勇人・村上大道・池田武史・小畑慎也・平田 旭・友利隆一郎
総合内科専門医	比嘉信喜・轟 純平・大城義人・仲間直崇・林 耕次
日本内科学会指導医（依頼状）	比嘉信喜・比嘉健一郎・野村 悠・轟 純平
日本内科学会認定内科医	比嘉信喜・比嘉健一郎・野村 悠・小畑慎也・友利隆一郎・轟 純平・仲間直崇・小山 淳・大城義人・池間朋己
日本循環器学会専門医	比嘉信喜・比嘉健一郎・野村 悠・轟 純平
日本血液学会認定血液専門医	轟 純平
日本糖尿病学会研修指導医	池間朋己
日本糖尿病学会専門医	池間朋己
日本糖尿病協会登録医	大城義人
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医	野村 悠
日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	池間朋己
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	池間朋己
日本消化器内視鏡学会専門医	仲間直崇
日本消化器病学会専門医	仲間直崇
日本消化器内視鏡専門医	仲間直崇
日本集中治療医学会専門医	伊波 寛
日本プライマリ・ケア指導医	伊波 潔・比嘉信喜・池村 綾・江口征臣・新里勇二・宮城和史・新屋洋平
日本プライマリ・ケア認定医	伊波 潔・比嘉信喜・池村 綾・江口征臣・新里勇二・宮城和史・新屋洋平
日本プライマリ・ケア学会認定 家庭医療専門医	新屋洋平・田木聡一
日本心血管インターベンション治療学会認定医	比嘉健一郎
日本内視鏡学会専門医	仲間直崇
日本在宅医学会認定専門医	新屋洋平
日本小児科学会指導医	新里勇二
日本小児科学会専門医	新里勇二・新開 敬・池原 聡・長田博臣
日本小児感染症学会小児感染症認定医	新里勇二・新開 敬
日本小児科医会 地域総合小児医療認定医	新里勇二
日本外科学会指導医	伊波 潔・宮城和史
日本外科学会専門医	伊波 潔・宮城和史・池村 綾・江口征臣・手登根勇人・河本宏昭・宮城幹史・早川真人・仲宗根由幸
日本外科学会認定医	仲宗根由幸・池村 綾
日本消化器がん外科治療認定医	仲宗根由幸
日本腹部救急医学会腹部救急認定医	池村 綾
日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)	大城吉則

所属学会	氏名
日本胸部外科学会指導医	伊波 潔
日本胸部外科学会認定医	伊波 潔・宮城和史
日本心臓血管外科専門医	伊波 潔・宮城和史・池村 綾・早川真人
心臓血管外科専門医認定機構修練指導者認定	伊波 潔・宮城和史
日本脈管学会認定脈管専門医	池村 綾・早川真人
日本がん治療認定医機構・がん治療認定医	仲宗根由幸・江口征臣・大城吉則・立花潤子・呉屋真人・渡辺豊治
腹部ステントグラフト指導医	早川真人
胸部ステントグラフト指導医	早川真人
下肢静脈瘤レーザー焼灼術指導医	早川真人
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術指導医	早川真人
日本泌尿器科学会泌尿器科指導医	島袋浩勝・大城吉則・呉屋真人
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医	島袋浩勝・大城吉則・呉屋真人・與那嶺智子
日本泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医	島袋浩勝
日本透析医学会指導医	大城吉則
日本透析医学会専門医	大城吉則・呉屋真人
日本移植学会移植認定医	大城吉則
日本臨床腎移植学会腎移植認定医	大城吉則
日本泌尿器科学会日本内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医	呉屋真人
日本麻酔科学会指導医	伊波 寛・前 知子・與座浩次
日本麻酔科学会専門医	大湾喜市・伊波 寛・服部政治・前 知子・溜淵昌美・新垣かおる・與座浩次
日本麻酔科学会認定医	永井優子・立花潤子
麻酔標榜医	大湾喜市・田甫哲也・永井優子・服部政治・前 知子・溜淵昌美・與座浩次
日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医	服部政治・前 知子
日本整形外科学会専門医	宮田佳英・高江洲美香・奥間英一郎・宮平誉丸・小浜博太
日本整形外科学会リウマチ認定医	宮田佳英
日本整形外科学会スポーツ認定医	宮田佳英
日本整形外科学会脊椎脊髄病医	奥間英一郎
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医	國行秀一
日本脳神経外科学会指導医	新垣辰也・沖山幸一
日本脳神経外科学会専門医	新垣辰也・沖山幸一
日本脳卒中学会 脳卒中指導医	沖山幸一
日本脳卒中の中の外科学会技術指導医	沖山幸一
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	沖山幸一
日本眼科学会専門医	谷澤和之

所属学会	氏名
日本医学放射線科学会診断専門医	具志堅益一
日本医学放射線科学会放射線専門医	安木かほり
日本医学放射線科学会研修指導者認定	具志堅益一
マンモグラフィ読影認定医(評価A)	具志堅益一
マンモグラフィ読影認定医(評価B)	江口征臣・河本宏昭
日本産科婦人科学会専門医	新崎盛雄・伊波 忠・渡邊豊治
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医	渡邊豊治
日本産科婦人内視鏡学会腹腔技術認定医	渡邊豊治
日本内視鏡外科学会技術認定医(産婦人科)	渡邊豊治
日本病理学会病理専門医 研修指導医	小川真紀
日本臨床細胞学会細胞診専門医	小川真紀
日本病理学会認定病理医	小川真紀
死体解剖資格認定	小川真紀
人間ドック健診指導医	大城義人
人間ドック健診専門医	大城義人
人間ドック認定医	大城義人
日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医	新屋洋平
日本感染症学会〔ICD制度〕認定医	新里勇二
日本口腔外科学会 口腔外科認定医	村橋 信
日本有病者歯科医療学会認定医	村橋 信
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	村橋 信
日本医師会認定健康スポーツ医	大城義人
日本医師会認定 産業医	大城義人

9. 施設基準

◎基本診療科

地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算
一般病棟入院基本料 7対1
臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算
診療録管理体制加算
超急性期脳卒中加算
医師事務作業補助体制加算 20対1
急性期看護補助体制加算 250対1
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
重症皮膚潰瘍管理加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算 1
感染防止対策加算 1
患者サポート充実加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
退院調整加算
救急搬送患者地域連携紹介加算
救急搬送患者地域連携受入加算
呼吸ケアチーム加算
データ提出加算 2
特定集中治療室管理料 3
ハイケアユニット入院医療管理料
小児入院医療管理料 4
短期滞在手術基本料 1
短期滞在手術基本料 2

◎特掲診療料

心臓ペースメーカー指導管理料（植込型除細動器移行加算）

糖尿病合併管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

糖尿病透析予防指導管理料

がん患者指導管理料 1

がん患者指導管理料 2

院内トリアージ実施料

夜間休日救急搬送医学管理料

ニコチン依存症管理料

地域連携診療計画管理料（頸部骨折脳卒中）

がん治療連携指導料

肝炎インターフェロン治療計画料

薬剤管理指導料

医療機器安全管理料 1

医療機器安全管理料（歯科）

歯科治療総合医療管理料 1

在宅療養後方支援病院

持続血糖測定器加算

検体検査管理加算（Ⅰ）

検体検査管理加算（Ⅱ）

心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算

植込型心電図検査

ヘッドアップティルト試験

皮下連続式グルコース測定

ロービジョン検査判断料

小児食物アレルギー負荷検査

画像診断管理加算 1

遠隔画像診断

C T撮影及びMR I撮影（C T+MR I）

冠動脈C T撮影加算

心臓MR I撮影加算

抗悪性腫瘍剤処方管理加算

外来化学療法加算 1

無菌製剤処理料

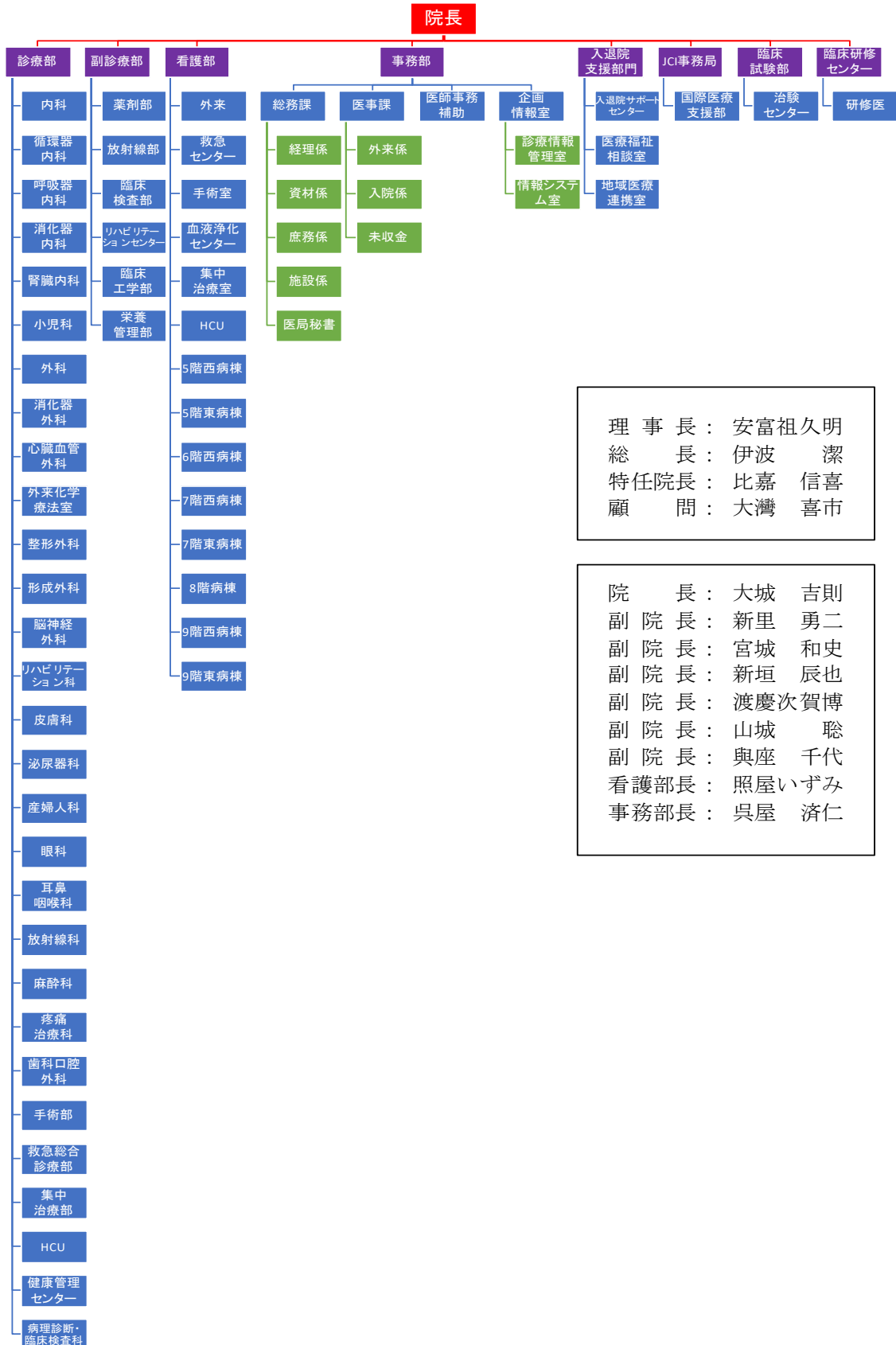
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）別添１の「第４０」の３の注５に規定する施設基準
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）別添１の「第４２」の３の注５に規定する施設基準
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
処置の休日・時間外・深夜加算１（医科点数表第２章第９部処置の通則５）
透析液水質加算２
経皮的冠動脈形成術
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
経皮的冠動脈ステント留置術
磁気ナビゲーション加算
経皮的中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び
経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）
両心室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び
両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
ダメージコントロール手術
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
手術の休日・時間外・深夜加算１（医科点数表第２章第１０部処置の通則１２）
医科点数表第２章第１０部手術の通則５及び６
輸血管管理料Ⅱ
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
内視鏡手術用施設機器加算
麻酔管理料１
クラウン・ブリッジ維持管理料
入院時食事療養（Ⅰ）

10.沿革

年 月	項 目
昭和62年 3月 4月	医療法人中部徳洲会（理事長 堀川義文）設立認可 中部徳洲会病院工事着工
昭和63年 4月 7月 8月 12月	中部徳洲会病院開院（150床）病院長 堀川義文 沖縄県沖縄市照屋3-20-1 200床へ増床 救急病院指定 300床へ増床
平成元年 4月	300床の承認
平成6年 4月 5月	介護老人保健施設おきなわ徳洲苑（併設型）開所 （入所80名、通所20名） 安富祖久明副院長 病院長就任
平成7年 2月	はとぼぼ保育所開設（院内保育所）
平成8年 12月	徳洲会ハンビークリニック開院 沖縄県中頭郡北谷町北前1-21-1
平成9年 4月 4月	新館落成・総合健診センター開設 理事長 徳田虎雄 就任
平成10年 1月 8月	日帰り手術センター開設（4床） 与勝あやはしクリニック開院（19床） 沖縄県中頭郡与那城町宇屋慶名467-111
平成11年 1月 9月 10月	よみたんクリニック開院 沖縄県中頭郡読谷村字長浜1774番地 乳幼児健康支援一時預かり事業開始（小児デイケア） 救急病床（ER）開設（10床）
平成12年 1月 4月	徳洲会伊良部診療所開院（19床） 沖縄県宮古郡伊良部町字前里添639-2 厚労省指定臨床研修病院（沖縄県民間病院第1号） 介護保険制度導入に伴う介護保険事業の開設
平成13年 4月 5月	宮古島徳洲会病院開設（55床） 沖縄県平良市宇松原552-1 高気圧酸素治療室開設
平成15年 4月 12月	ホームヘルパー養成研修事業所開設 ソフィア・メディカルサポートクリニック開設 沖縄県沖縄市安慶田3-11-30
平成16年 3月 4月 6月	中部徳洲会病院・電子カルテシステム運用開始 石垣島徳洲会病院開院（49床） 沖縄県石垣市大浜字南大浜446-1 宮古島徳洲会病院 80床へ増床
平成17年 1月 7月 7月 8月	脳・循環器センター開設 伊波潔副院長 病院長就任 安富祖久明 宮古島徳洲会病院 病院長就任 （財）日本病院機能評価機構（Ver. 4.0）認定（初回）
平成18年 6月 9月	ドクターカー稼働（沖縄県内発） 中部徳洲会病院・治験センター開設
平成20年 7月 8月	法人合併に伴い 医療法人沖縄徳洲会へ 徳洲会新都心クリニック開院 沖縄県那覇市銘苅2-2-1
平成22年 1月 2月	適合高齢者専用賃貸住宅みやとく開設 沖縄県宮古島市平良宇松原552-1（宮古島徳洲会病院敷地内） 法人合併 医療法人社団愛心会が医療法人沖縄徳洲会へ

年 月	項 目
平成22年 4月	ソフィア・メディカルサポートクリニックと本院統合 「別館」として運用開始
7月	卒後臨床研修評価（2年）認定（初回）
9月	(財)日本病院機能評価機構（Ver. 6.0）認定（2回目）
9月	中部徳洲会病院・電子カルテバージョンアップ
平成23年 2月	与勝あやはしクリニック（無床へ変更） 19床を中部徳洲会病院へ移行 19床増床（319床）
平成24年 1月	介護老人保健施設おきなわ徳洲苑移転 グループホーム美ら徳開設
4月	中部徳洲会病院病棟編成に伴い5階南病棟開設（42床）
7月	卒後臨床研修評価（4年）認定（2回目）
平成25年 5月	3南病棟ハイケア4床増床（計8床）
6月	病床数12床増床（計331床） 病棟編成に伴い5階北病棟開設36床
7月	5北病棟ハイケア4床・ハイケアユニット加算取得
平成26年 3月	中部徳洲会病院 新築移転工事 着工
6月	脳循環器センター・ハイケア増床（4床→8床） 5北病棟ハイケアを脳循環器センターへ移行
平成28年 4月	中部徳洲会病院 新築移転 開院 北中城村アワセ土地区画整理事業地内2街区1番
7月	卒後臨床研修評価（2年）認定（3回目）
10月	(財)日本病院機能評価機構（3rdG:Ver. 1.1）認定（3回目）
平成29年 2月	JCI(Joint Commission international)認証(初回)
3月	病床数16床増床（347床へ）
3月	沖縄県指定 地域災害拠点病院
10月	外国人患者受入れに関する認証制度「JMIP」認証（初回）
平成30年 4月	徳洲会ソフィアクリニック開設 沖縄県沖縄市安慶田3-11-30
7月	卒後臨床研修評価（2年）認定（4回目）
12月	医療法人湯池会 北谷病院と法人合併 医療法人沖縄徳洲会 北谷病院へ 沖縄県中頭郡北谷町字上勢頭631-4
平成31年 4月	ちゅうとく訪問看護ステーション 開設 沖縄県沖縄市安慶田3-11-30（ソフィアクリニック内1階）
11月	病院住所地番変更：沖縄県中頭郡北中城村比嘉801番地
令和2年 2月	JCI(Joint Commission international)認証(更新1回目)
9月	病床数21床増床（368床へ）
令和3年 1月	大城吉則副院長 病院長就任

組 織 図



理事長：安富祖久明
 総長：伊波 潔
 特任院長：比嘉 信喜
 顧問：大灣 喜市

院長：大城 吉則
 副院長：新里 勇二
 副院長：宮城 和史
 副院長：新垣 辰也
 副院長：渡慶次 賀博
 副院長：山城 聡
 副院長：與座 千代
 看護部長：照屋いずみ
 事務部長：呉屋 済仁

外来診療担当医師の紹介

[内科]

2021年3月現在

氏名	専門科	役職名	勤務形態
比嘉 信喜	内科	特任院長	常勤
渡慶次 賀博	呼吸器内科	副院長	常勤
大城 力	循環器内科	部長	常勤
池間 朋己	代謝内分泌内科	部長	常勤
比嘉 健一郎	循環器内科	部長	常勤
長田 祐輝	消化器内科	部長	常勤
野村 悠	循環器内科	医長	常勤
仲間 直崇	消化器内科	医長	常勤
轟 純平	循環器内科・血液内科	医長	常勤
林 耕次		医長	常勤
友利 隆一郎	救急科		常勤
小畑 信也	循環器内科		常勤
小山 淳			常勤
天野 茂太			常勤
森本 龍馬	消化器内科(専攻医)		常勤
青木 壮則	循環器内科(専攻医)		常勤
久手堅 憲太			常勤
櫻井 佑	循環器内科(専攻医)		常勤
金城 留嘉	消化器内科(専攻医)		常勤
小渡 貴司	神経内科		非常勤
猪谷 克彦	リウマチ		非常勤
安部 瞬	消化器、IBD		非常勤
座間味 亮	腎臓内科		非常勤
普久原 智里	腎臓内科		非常勤
原永 修作	呼吸器内科		非常勤
仲村 秀太	呼吸器内科		非常勤
洲鎌 千賀子	循環器内科		非常勤
渡慶次 香代利	循環器内科		非常勤
宮崎 総一郎	睡眠時無呼吸		非常勤
友利 昌平	血液内科		非常勤
今西 康次			非常勤
山本 由和			非常勤
大城 英恵			非常勤
玉城 浩			非常勤

[小児科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
新里 勇二		副院長	常勤
池原 聡		部長	常勤
新開 敬		医長	常勤
長田 博臣		医長	常勤
飯塚 千紘			常勤
伊波 徹	小児心臓外科		非常勤
長岡 秀貴	小児心理相談		非常勤

[外科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
伊波 潔	心臓血管外科	総長	常勤
宮城 和史	心臓血管外科	副院長	常勤
山城 聡	心臓血管外科	副院長	常勤
池村 綾	心臓血管外科	部長	常勤
仲宗根 由幸	消化器外科	部長	常勤
江口 征臣	消化器外科	部長	常勤
河本 宏昭	胸部外科	部長	常勤
手登根 勇人		医長	常勤
宮城 幹史		医長	常勤
早川 真人	心臓血管外科	医長	常勤
安部 貴之			常勤
池原 康一	乳腺		非常勤
玉榮 剛			非常勤
上門 あきの			非常勤

[泌尿器科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
大城 吉則		院長	常勤
島袋 浩勝		部長	常勤
呉屋 真人		部長	常勤
與那嶺 智子			常勤
上間 南海子			常勤
町田 典子			常勤

[整形外科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
宮田 佳英		部長	常勤
奥間 英一郎		部長	常勤
小浜 博太		部長	常勤
高江洲 美香		医長	常勤
宮平 誉丸			常勤
勝木 亮			常勤
大槻 健太			常勤
水田 康平			常勤
普天間 朝上			非常勤
仲宗根 哲			非常勤

[脳神経外科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
新垣 辰也	副院長	部長	常勤
沖山 幸一		部長	常勤
豊田 玲奈			常勤
石内 勝吾			非常勤
久志 助光			非常勤

[耳鼻咽喉科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
又吉 博紀			非常勤
安慶名 信也			非常勤
比嘉 輝之			非常勤
近藤 俊輔			非常勤
田中 克典			非常勤

[婦人科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
新崎 盛雄			常勤
渡邊 豊治		部長	常勤
佐久本 哲男			非常勤

[形成外科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
久場 良吾			非常勤
石原 千尋			非常勤

[歯科口腔外科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
比嘉 優		部長	常勤
仲川 真紀			常勤
村橋 信			常勤
新崎 章			非常勤
伊佐 美歌奈			非常勤
村橋 佳代子			非常勤

[眼科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
谷澤 和之		部長	常勤
新垣 淑邦			非常勤
谷地森 隆二			非常勤
仲嶺 盛			非常勤
松永 美絵			非常勤

[放射線科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
具志堅 益一		部長	常勤

[皮膚科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
國行 秀一		部長	常勤

[救急科]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
友利 隆一郎			常勤

[ペインクリニック]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
服部 政治		部長	常勤
前 知子		部長	常勤
立花 潤子		副部長	常勤

[研修医 2 年次]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
浦本 孝幸			常勤
兼島 充基			常勤
辛 路徳			常勤
鈴木 祥恵			常勤
竹野 巨樹			常勤
長間 華衣			常勤
宮里 実幸			常勤
村上 優太			常勤
吉田 樹			常勤

[研修医 1 年次]

氏名	専門科	役職名	勤務形態
石川 桐子			常勤
梶原 悠			常勤
喜瀬 真行			常勤
塚原 崇夫			常勤
都丸 翔			常勤
堀内 朱音			常勤
宮城 基			常勤
安水 眞惟子			常勤
山本 夢己			常勤
吉田 裕介			常勤

外来診療体制

内科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝 診	8:30~12:00						担当医
	9:00~11:30 13:00~16:30				渡慶次賀博 (予約のみ)	渡慶次賀博 (予約のみ)	渡慶次賀博 (予約のみ)
	9:00~12:00	大城英恵 (紹介は予約のみ)	大城英恵 (紹介は予約のみ)	大城英恵 (紹介は予約のみ)		大城英恵 (紹介は予約のみ) 玉城 浩	大城英恵 (紹介は予約のみ)
	10:00~12:00	比嘉信喜		比嘉信喜	比嘉信喜	比嘉信喜	比嘉信喜
紹介・二次 検診外来 /内科予約	8:30~10:30	休 診	休 診	林	櫻 井	青 木	担当医 (初診・紹介のみ)
健康診断 ・結果のみ	11:00~12:00	櫻 井	櫻 井	林	櫻 井	青 木	
健康診断 【検査のみ】	14:00~15:00	担 当	担 当	担 当	担 当	担 当	
神経内科 専門外来	10:00~11:00					小渡貴司 (第1)	
内科・ リウマチ外来	9:00~11:00	猪谷克彦 (予約のみ) ※第3・5もしくは1	猪谷克彦 (予約のみ) ※第3・5もしくは1	猪谷克彦 (予約のみ) ※第3・5もしくは1	猪谷克彦 (予約のみ) ※第2・4	猪谷克彦 (予約のみ) ※第2・4	猪谷克彦 (予約のみ) ※第2・4
	14:00~16:00	猪谷克彦 (予約のみ) ※第3・5もしくは1	猪谷克彦 (予約のみ) ※第3・5もしくは1		猪谷克彦 (予約のみ) ※第2・4	猪谷克彦 (予約のみ) ※第2・4	
昼 診	14:00~16:00	比嘉信喜 (予約のみ)		比嘉信喜 (予約のみ)	比嘉信喜 (予約のみ)	比嘉信喜 (予約のみ)	
禁煙外来	14:00~15:00				渡慶次賀博 (予約のみ)		
腎臓内科専門 (コンサルトのみ)	9:00~11:00	普久原智里 (琉大)		座間味 亮 (琉大) (予約のみ)			
総合診療	9:00~12:00					友 利 (予約のみ)	
内分泌代謝外来	9:00~11:00		池 間 (予約のみ)	池 間 (予約のみ)	池 間 (予約のみ)		
	13:30~15:00		池 間 (予約のみ)				
血液内科外来	9:00~11:00 血液内科/ リウマチ外来	轟 (予約のみ)				轟 (予約のみ)	
	9:00~11:30				友利昌平 (琉大) (予約のみ)		
	14:00~16:00				轟 (予約のみ)		
循環器新患外来	9:00~11:00	比嘉健一郎	青 木	櫻 井	轟	櫻 井	比嘉健一郎

循環器専門	9:00～11:00	比嘉健一郎 轟	青木	比嘉健一郎	轟	櫻井	
	9:00～11:00		洲鎌千賀子	洲鎌千賀子 (第4のみ)			
	13:00～14:30		洲鎌千賀子				
	13:30～15:30				渡慶次香代利		
不整脈外来	8:30～11:00		大城力 野村		大城力 野村		
ペースメーカー外来	9:00～11:00			野村(第2) 担当医(第3)		野村 (第1)	
呼吸器専門	9:00～11:00	原永修作 (琉大) (予約のみ)			原永修作 (琉大) (予約のみ)	仲村秀太 (琉大) (予約のみ)	
睡眠外来 (無呼吸・不眠)	9:00～11:00			月1 宮崎総一郎 (予約のみ)			
消化器専門	9:00～11:00			森本	仲間 森本	仲間 (9:00～10:00)	
	9:00～11:30	長田祐輝	長田祐輝				
IBD外来	11:30～12:00					安部 瞬	
※ダイエット外来 (生活習慣病)	午後診・夕診 14:00～17:00				今西康次 (第1・3) (再診のみ)		
※成人の ワクチン接種	14:00～17:00				今西康次 (第1・3)		
夕診 (予約のみ)	17:00～19:00	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	

脳神経外科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝診	8:30～11:00	新垣 豊田	新垣 (予約・紹介のみ)	沖山 豊田	手術日	沖山 新垣	久志助光
昼診	14:00～16:00	石内勝吾(琉大) (13:30～14:30) (初診・予約のみ)				沖山 (予約のみ)	
夕診	17:00～19:00		新垣 (予約のみ)	沖山 (16:00～18:00) (予約のみ)			

泌尿器科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝診	8:30～11:00	担当医	町田典子	島袋 呉屋 上間	大城吉則 呉屋 與那嶺	大城吉則 島袋	
夕診	15:30～17:00			與那嶺	呉屋		

口腔外科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝診	8:30~11:30	比嘉 優 仲川/村橋 新崎 章	比嘉 優 仲川/村橋 伊佐美歌奈	比嘉 優 仲川 村橋	比嘉 優 仲川/村橋 村橋佳代子	比嘉 優 仲川 村橋	比嘉 優 仲川/村橋 伊佐美歌奈
昼診	14:00~16:30	比嘉 優 仲川/村橋	比嘉 優 仲川/村橋			比嘉 優 仲川/村橋	
夕診	17:00~18:30		比嘉 優/仲川			村橋	

整形外科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝診	9:00~11:00	宮田 (予約のみ)	担当医	宮田	宮田 (予約・紹介のみ)	担当医	担当医
		高江洲		高江洲	小浜 (予約・紹介のみ)	勝木	
		宮平 (予約のみ)		水田		宮平 (予約のみ)	
		大槻					
	9:30~11:00		仲宗根 哲 (琉大)			普天間朝上	
昼診	14:00~15:30	宮田		宮田	宮田 (予約のみ)		
		水田		勝木			
		小浜		大槻			
夕診	15:30~17:00	高江州 (予約のみ)		高江州 (予約のみ)			
		宮平 (予約のみ)		宮田			
		宮田		勝木			
		小浜		大槻			
		水田					

形成外科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝診	9:00~11:00		久場良吾 (琉大)		石原千尋 (琉大)		

外科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝 診	8:30~11:30	伊波 潔 宮城和史 池 村 早 川	仲宗根 江口 河 本 宮城幹史	池 村 早 川 安 部	江 口 河 本 手登根 宮城幹史	宮城和史 仲宗根 手登根 宮城幹史	江 口
		担当医					
二次検診外来	8:30~10:30	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
化学療法	8:30~12:00	轟 担当医	宮城幹史	仲宗根	仲宗根	河 本 担当医	宮城幹史
禁煙外来	9:00~12:00		河 本		河 本		
足病外来	9:00~11:30						上門あきの (琉大) 第1・3・5
昼 診	13:00~15:00					担当医	
夕診(予約のみ)	17:00~19:00	河 本	手登根	村上優太	池 村	河 本	

心臓血管外科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝 診	8:30~11:30	伊波 潔 宮城和史 池 村		池 村 早 川		宮城和史	山 城 (予約のみ)
大動脈瘤外来	8:30~11:30	山 城		山 城	山 城		
弁膜症外来	8:30~11:30	山 城		山 城	山 城		
下肢静脈瘤外来	14:00~16:00	池 村					

皮膚科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝 診	9:00~11:00	國 行	國 行	國 行	國 行	國 行	
昼 診	14:00~15:00	國 行	手術日		手術日	國 行	
夕 診	16:00~17:00			國 行			

眼科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝 診	9:00~11:00	谷 澤	新垣淑邦 (琉大) (予約のみ)	谷 澤	谷地森隆二 (琉大)	谷 澤	仲嶺 盛 (琉大)
昼 診	14:00~16:00	検査 (予約のみ)	検査 (予約のみ)	松永美絵	検査 (予約のみ)	検査 (予約のみ)	

婦人科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
初診・再診 紹介・2次検診	8:30～11:30	渡 邊		渡 邊		渡 邊	
ドック婦人科健診 市町村検診	8:30～12:00	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
初診・再診 コンサルト (病棟のみ)	14:00～16:00	渡 邊		渡 邊		渡 邊	
婦人科外来 栄養外来 (完全予約制)	14:00～16:00		伊波 忠		伊波 忠		
子宮筋腫・ 放射線外来	17:00～19:00			具志堅			

小児科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝 診	9:00～11:30	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
心エコー	9:00～12:00						伊波 徹 第一のみ
夕 診	16:00～18:00	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
予防接種 (予約のみ)	14:00～15:00		担当医			担当医	
乳児健診 (予約のみ)	14:30～15:30	担当医					
小児心理相談	10:00～18:00					長岡秀貴 第二のみ	

耳鼻咽喉科

	受付時間	月	火	水	木	金	土
朝 診	9:00～11:00	又吉博紀 (琉大)	安慶名信也 (琉大)	比嘉輝之 (琉大)	近藤俊輔 (琉大)		田中克典 (琉大)

ペインクリニック

	受付時間	月	火	水	木	金	土
昼 診	14:00～16:00	服 部 前 (コンサルトのみ)		服 部 立 花 (コンサルトのみ)			

各委員会・会議

会議・委員会名	開催	責任者	参加部署	主たる目的
管理会議	週1回	院長	医局・看護部 事務部	運営・経営・各種委員会の決議事項、諸問題の最終決定機関
病院運営会議	月1回	院長	医局・看護部・ コメディカル・事務部	運営上の主要事項を報告し、各部署、委員会に周知徹底を図るとともに、意見の交換あるいは業務上の連絡を図る
診療部長会議	月1回	院長	医局・看護部・ コメディカル・事務部	診療部門における問題点の解決と将来の方針について議論し、診療部の活性化と患者サービスの向上へ発展させる。
QIセンター会議	年4回	院長	医局・看護部・ コメディカル・事務部	病院において改善を目的としたデータ収集を行い、継続的に改善策の効果を調査し質を向上させる。
業務改善委員会	月1回	医師	医局・看護部・ コメディカル・事務部	病院業務の改善策を検討し、医療の質の向上、患者及び家族へのサービス、職員の待遇の改善を図る。
研修管理委員会	年3回	院長	医局・看護部・ コメディカル・事務部	当院における卒後臨床研修の実施計画、研修医の採用と修了認定、指導医の評価など卒後臨床研修を円滑に実施する。
医療事故対策委員会	随時	院長	医局・看護部 事務部	当院において医療事故の可能性のある事例が発生した際の迅速かつ適切な対応を目的とする。
警鐘事象検討委員会	随時	院長	医局・看護部・医事課・ 総務課	警鐘事象発生時に迅速かつ適切な対応、対策を行う。
医療安全管理委員会	月1回	医師	医局・看護部・ コメディカル・事務部	当院におけるインシデント・アクシデント報告の収集・分析、医療事故の防止を図る。
医療機器安全管理委員会	月1回	医師	医局・看護部・ コメディカル・事務部	医療機器の安全使用の体制確保。
透析機器安全管理委員会	月1回	副院長	医局・看護部・ 臨床工学部	透析機器の安全使用の体制確保。
医薬品安全管理委員会	月1回	薬局長	医局・看護部 薬局	医薬品に係わる安全管理の為に体制を確保し対策および職員教育等を行う。
医療安全推進委員会	月1回	看護師長	看護部・ コメディカル・事務部	院内の医療安全推進状況の監視およびインシデント・アクシデント報告から特に原因分析が必要な事例検討と対策の周知。
院内感染対策委員会	月1回	副院長	医局・看護部 コメディカル・事務部	院内感染を防止し、患者の安全を職員の健康を守る。チーム医療としての組織的運営を経済性にも配慮する。
感染制御チーム	月1回	副院長	医局・看護部・ コメディカル	病院で策定された感染対策の指針に基づき実施計画の策定および諸感染対策活動を実施する。
抗菌薬適正使用支援チーム	月1回	副院長	医局・看護部・ コメディカル	院内で患者に投与される抗菌薬使用の適正化を図るためモニタリングを行い、必要な助言、指導を行う。
感染リンクスタッフ委員会	随時	看護師長	看護部・ コメディカル・事務部	院内感染対策を円滑に実施する上で必要な教育や訓練、対策の実施に際し部署横断的な活動を実施する。

会議・委員会名	開催	責任者	参加部署	主たる目的
透析送迎委員会	月1回	看護師長	看護部・MSW ・事務部	当院において透析治療を必要とする患者様に対して経済的、身体的、独居等の理由により自身で通院が困難な方へ送迎を提供する適応について協議し判断する。
排尿自立化委員会	月1回	看護師長	看護部	患者の円滑な排泄の自立に向けた院内における看護指導の質の向上、標準化を目指す。
口腔化委員会	月1回	歯科医師	医局・看護部・言語聴覚士・歯科衛生士	病院における術後感染予防、早期退院、歯周疾患・誤嚥性肺炎の予防、患者のQOLの向上を図る。
物品管理委員会	月1回	事務部長	医局・看護部 コメディカル・事務部	医療機械・器具・各種消耗品等の効率的購入、使用・在庫状況の適正化。
医の倫理委員会	月1回	副院長	医局・看護部 事務部・薬局 検査室・院外委員	院内において発生する倫理的問題について議論を行い、意見を公表する事を通じて、職員が適切な倫理観を保持できる様にする事。
個人情報保護委員会	月1回	院長	医局・看護部・ コメディカル・事務部	病院が収集・利用・保有する、患者とその関係者等及び職員等の個人情報に関する取り扱いについて必要な事項を定め、その適切な運用を図る。
接遇委員会	月1回	医師	医局・看護部・コ メディカル・地域連携 室・事務部・健診	院内におけるご意見・ご要望を収集、職員へ周知し、患者様に満足と安心を提供できるよう、職員一人一人の意識を高め接遇の向上を図る
キャンサーボード委員会	月1回	医師	医局・看護部・ コメディカル・医事課	当院におけるがんの予防、検診、診断、治療、緩和、看護、研究、教育など各方面にわたり、チーム医療を原則にそれぞれに係る行為の円滑な実施を推進する。
緩和化委員会	月1回	医師	医局・薬剤部・ 看護部・MSW	重い病を抱える患者や家族の身体や心などのつらさを少しでも緩和し、生活の質の向上を図る。
クリニカルパス委員会	月2回	医師	医局・看護部 コメディカル・事務部	チーム医療の推進・治療の標準化と均質な医療の提供・インフォर्मドコンセントの充実を図る。
こども虐待委員会	月1回	副院長	医局・看護部・ MSW・医事課・総務 課	虐待を受けたと思われる子どもの早期発見及び発見後の適切な対応が可能な院内システムの構築。
院内教育委員会	月1回	副院長	医局・看護部 コメディカル・事務部	病院内全体における教育計画の策定、診療の質の向上、高度医療技術に対する適応、患者サービスの向上。
診療録管理委員会	月1回	医師	医局・看護部 コメディカル・事務部	診療録（電子カルテを含む）の適正な記録・管理運営を図る。
RST委員会	月1回	医師	医局・薬剤部・ 看護部・臨床工学 部・リハビリテーション部	病院における呼吸理学療法や吸入療法、酸素療法などの呼吸療法的確な実施と、その機器の管理、患者指導等の質の向上と標準化を図る。
介護・補助者委員会	月1回	看護師長	看護部	介護・補助者業務の改善を行い、サービス向上への活動を行う。

会議・委員会名	開催	責任者	参加部署	主たる目的
CPR委員会	月1回	看護師長	医局・看護部	院内の救命・救急がよりの確に迅速にできるようスタッフ教育に努める。
手術室運営委員会	月1回	医師	医局・看護部	当院における手術が円滑かつ安全に実施できるよう管理・運営する。
ICU委員会	月1回	医師	医局・看護部・工学部・医事課	危篤な急性機能不全の患者を収容して強力かつ集中的に治療を行い、ICUの機能的運営を期する。
外来委員会	月1回	看護師長	医局・看護部・コメディカル・事務部	各部署の連携がスムーズに行われ、患者様が満足する医療サービスの提供ができるよう努める
安全衛生委員会	月1回	事務長	検査室・総務課	労働災害の防止の為の危害防止基準の確立、職員の安全と健康を確保、快適な作業環境の整備を目的とする。
災害対策委員会	月1回	副院長	医局・看護部・コメディカル・事務部	病院における防災管理、必要な訓練の策定・実施、人命の安全ならびに被害の防止・軽減を図るとともに医療行為の適切な遂行を図る。
施設安全管理委員会	月1回	事務長	看護部・コメディカル・事務部	施設の安全管理・運用に係る事項の協議、運用法の策定などを行い、職員に対する教育、訓練を実施する。
医療ガス安全対策委員会	年1回	副院長	看護部・工学部・総務課	医療ガス(診療用に供える酸素、各種麻酔ガス、医療用圧縮空気窒素をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。
医師・看護職員負担軽減及び処遇改善委員会	年4回	院長	医局・看護部・コメディカル・事務部	病院の医師、医療関係職員(看護師・コメディカル)及び事務職員等の役割分担、負担軽減、処遇改善に関する審議、計画の策定等を行う。
褥瘡対策委員会	月1回	医師	医局・看護部・コメディカル・事務部	全患者の褥瘡の危険因子を評価し、褥瘡の発生、予防に努める。入院患者の褥瘡発生状態を把握し対策を立てて看護の質の向上を図る。院内で統一した処置が展開できる。
輸血療法委員会	月1回	医師	医局・看護部・検査室・薬局事務部	適正使用の徹底・輸血療法に伴う事故や副作用・合併症対策等について検討する。
臨床検査適正委員会	月1回	医師	医局・看護部・検査室・事務部	医療補助としておこなわれるもので疾病の診断・治療・予後を判断するための検査情報を提供する。
薬事委員会	月1回	院長	医局・看護部・薬局・医事課	薬品の適正な管理運営を図る。
栄養管理委員会	月1回	医師	医局・看護部・栄養室	病院における、栄養管理の充実と向上と、適正な運営を図る。
NST委員会	月1回	医師	医局・看護部・コメディカル・ケースワーカー	患者様に対して栄養状態の評価・判定を行い、適切な栄養補給・栄養管理を行うことにより患者様のQOLの向上、治癒の促進、合併症予防を目的とする。

統計

外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外来患者数	15,527	14,858	20,531	22,005	18,755	19,861	22,409	20,701	21,672	20,190	19,161	22,810	238,480
発熱外来患者数	575	290	165	412	704	579	619	417	486	431	303	367	5,348
外来1日平均	518	479	684	710	605	662	723	690	699	651	684	736	653
総紹介件数	638	817	1,246	1,227	827	991	1,386	1,208	1,199	1,068	1,112	1,320	13,039
新患者数	583	726	1,117	1,172	779	874	1,087	1,021	840	698	674	935	10,506
初診算	1,901	1,962	2,366	3,160	2,418	2,542	3,185	3,031	2,620	2,497	2,304	2,886	30,872
人間ドック(件)	298	436	851	967	926	996	1,160	1,005	1,175	1,055	1,048	1,212	11,129
健診(件)	391	508	1,052	1,095	1,031	1,143	1,300	1,128	1,318	1,191	1,293	1,669	13,119
院外健診	0	1	1,886	2,036	245	206	186	151	403	113	0	95	5,322
在宅登録数(月)	43	40	37	36	35	31	28	29	29	28	29	28	392
訪問診療	57	58	74	81	85	67	69	87	87	72	67	51	855
救急搬送	355	365	447	479	466	476	450	439	490	490	413	502	5,372
透析登録(月)	148	152	157	156	156	151	153	154	159	154	155	152	1,848
透析施行件数	1,944	1,991	2,078	2,118	2,121	1,914	2,075	1,943	2,155	2,067	1,872	2,078	24,356

入退院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院患者数	8,975	9,376	10,538	11,123	10,652	10,530	10,996	10,471	10,657	11,341	10,092	11,196	125,947
1日平均	299	302	351	359	344	351	355	349	344	366	360	361	345
新入院	714	765	980	935	892	900	956	941	896	917	795	949	10,640
外来から入院	400	370	505	479	456	436	431	478	406	395	380	455	5,191
紹介から入院	135	166	233	221	193	226	282	230	229	263	203	231	2,612
救急から入院	179	229	242	235	243	238	243	233	261	259	212	263	2,837
新型コロナウイルス感染症	4	0	0	5	30	28	45	36	35	54	23	26	286
退院人数	803	681	963	971	871	892	964	939	933	877	798	933	10,625
平均在院日数	11.8	13.0	10.8	11.7	12.1	11.8	11.5	11.1	11.7	12.6	12.7	11.9	11.8

診療科別 1 日平均外来患者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	93	84	99	111	107	104	126	110	113	124	95	122	107
消化器 内科	16	18	34	29	23	25	33	30	31	30	27	37	28
循環器 内科	47	48	63	71	59	59	69	59	66	69	60	73	62
小児科	29	21	44	46	30	30	47	54	49	36	33	39	38
外科	46	53	62	70	61	63	70	64	65	70	60	71	63
心臓血管 外科	15	13	21	19	17	19	20	19	20	15	14	20	18
整形外科	52	51	71	77	67	69	74	66	72	74	66	82	68
脳神経 外科	29	25	27	37	27	30	36	27	29	37	26	34	30
皮膚科	13	16	22	22	17	11	20	17	16	19	17	20	17
泌尿器科	35	36	42	45	39	39	45	37	44	45	38	43	41
眼科	12	14	16	17	14	16	16	14	15	15	13	18	15
形成外科	2	1	4	3	3	3	4	4	3	4	3	4	3
透析	58	59	57	59	61	54	61	56	61	65	54	63	59
口腔外科	27	26	32	32	33	30	36	31	32	31	30	38	31
耳鼻科	7	8	12	11	7	9	12	11	11	11	10	13	10
産婦人科	1	2	6	6	5	6	11	9	9	9	8	7	6
疼痛 治療科	—	—	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
通所 リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ テーション科	6	2	17	20	17	17	22	20	18	19	18	22	16
訪問看護 ・介護	2	2	2	3	3	2	2	3	3	3	2	2	2
人間ドック	10	15	28	31	31	32	39	32	38	38	34	40	31
健 診	3	3	5	4	4	24	6	5	4	8	11	12	7
合 計	501	495	662	710	625	641	747	668	699	721	618	760	654

癌登録・外来化学療法件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
癌登録数	52	60	77	72	62	50	93	73	65	49	60	107	820
化学療法	133	150	165	177	170	170	226	170	189	210	167	167	2,094

臨床検査・レントゲン撮影・リハビリテーション件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
胃カメラ	183	366	944	1,032	725	876	1,027	898	917	797	809	1,024	9,598
大腸 ファイバー	78	110	256	255	158	185	224	215	228	205	189	268	2,371
内視鏡 手術	64	73	146	139	88	84	97	96	95	102	103	105	1,192
CT	2,015	2,337	2,892	3,068	2,724	2,789	3,067	2,816	2,945	2,972	2,745	3,276	33,646
MRI	650	683	892	884	745	759	947	796	874	849	840	999	9,918
RI	42	33	55	59	58	49	60	55	73	62	57	60	663
一般撮影	3,191	3,491	5,519	5,824	4,459	4,795	5,835	5,104	5,405	5,138	4,964	5,733	59,458
血管造影	29	18	20	33	32	24	32	28	37	28	26	30	337
心臓カテ	76	70	100	109	96	93	100	97	94	94	113	104	1,146
心エコー	489	580	903	857	678	797	917	740	811	767	798	888	9,225
胸腹 エコー	1,132	1,465	2,160	2,365	2,029	2,234	2,545	2,220	2,586	2,271	2,362	2,835	26,204
医師実施 エコー	168	267	365	407	261	289	354	340	292	303	332	364	3,742
検体検査	9,515	11,050	13,834	14,899	14,043	14,463	15,912	14,244	15,198	15,124	13,797	15,669	167,748
PCR施行 件数	0	0	2	4	145	134	274	349	359	478	253	553	2,551
服薬指導	1,805	1,789	2,291	2,283	2,012	2,085	2,223	2,192	2,326	2,211	2,032	2,377	25,626
調剤件数	23,019	21,820	24,693	27,726	25,071	25,064	28,417	24,277	29,157	26,427	24,202	27,664	307,537
栄養指導	270	400	675	679	576	624	628	582	673	642	564	634	6,947
理学療法 (単位)	5,770	6,194	7,055	7,329	7,260	7,131	7,328	6,899	7,310	6,904	7,056	7,341	83,577
作業療法 (単位)	3,524	4,092	5,307	5,416	5,530	5,411	5,529	5,417	5,477	5,365	5,606	6,057	62,731
言語療法 (単位)	1,985	1,914	2,197	2,220	2,237	2,166	2,276	1,844	1,816	1,749	1,760	1,736	23,898

全身麻酔・手術室使用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全麻件数	167	159	199	222	206	183	214	199	229	192	189	230	2,389
手術室 利用計	377	327	473	477	425	417	480	408	469	433	409	482	5,177

総紹介件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総紹介 件数	639	831	1,257	1,231	828	989	1,383	1,209	1,202	1,066	1,114	1,319	13,068

紹介元内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
200床 以上	130	151	176	190	158	163	203	147	160	125	162	197	1,962
200床 未満	50	70	99	104	81	80	101	92	102	75	87	106	1,047
有床 診療所	1	4	7	17	8	9	13	16	14	9	5	6	109
無床 診療所	280	302	458	466	367	381	518	421	396	420	374	428	4,811
老健	16	26	42	49	24	34	37	43	35	30	29	32	397
特養	4	9	10	15	8	10	14	4	9	11	12	9	115
老人 ホーム	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	5
学校 検診	0	0	16	15	11	6	6	5	2	1	1	0	63
検診	37	59	124	114	32	104	161	191	203	170	205	217	1,617
当院 検診	33	103	170	112	14	62	157	134	117	92	96	133	1,223
歯科	77	100	139	128	122	131	160	121	149	123	138	161	1,549
身障者 施設	6	4	9	15	3	6	9	5	8	6	2	6	79
その他	5	2	7	5	0	3	4	30	7	3	2	23	91

紹介からの入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院数	137	184	244	241	198	232	286	235	238	270	203	234	2,702
入院率	21.4%	22.1%	19.4%	19.6%	23.9%	23.5%	20.7%	19.4%	19.8%	25.3%	18.2%	17.7%	20.7%

紹介率・逆紹介率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初診算定数	719	903	1,675	1,555	957	1,122	1,585	1,487	1,306	1,206	1,141	1,421	15,077
紹介患者数	230	284	457	436	341	359	495	473	432	378	419	494	4,798
紹介率	32.0%	31.5%	27.3%	28.0%	35.6%	32.0%	31.2%	31.8%	33.1%	31.3%	36.7%	34.8%	31.8%
逆紹介患者数	446	333	406	717	555	383	452	381	440	446	408	526	5,493
逆紹介率	62.0%	36.9%	24.2%	46.1%	58.0%	34.1%	28.5%	25.6%	33.7%	37.0%	35.8%	37.0%	36.4%

救急搬送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
患者数	354	364	446	473	464	477	444	437	485	486	410	498	5,338
帰宅	172	120	196	230	211	229	195	201	224	217	185	219	2,399
入院	178	231	242	232	243	240	239	231	251	255	213	262	2,817
転送	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6
死亡	2	11	5	9	10	5	9	4	7	10	11	16	99

消防別搬送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
沖縄市	194	193	253	231	230	261	231	219	242	241	212	269	2,776
中北消防	40	36	38	71	53	44	53	57	53	54	45	48	592
ニライ消防	62	59	76	91	99	87	82	74	85	105	89	82	991
宜野湾市	42	56	66	56	50	51	45	59	74	51	40	73	663
うるま市	12	12	10	17	24	20	23	17	25	20	18	16	214
金武消防	2	1	2	2	6	8	3	2	1	9	2	2	40
那覇市	0	2	0	3	0	1	2	5	4	4	2	1	24
浦添市	0	3	0	1	2	2	4	1	0	0	0	3	16
東部消防	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
その他	2	2	1	0	0	1	1	3	1	2	2	4	19
計	354	364	446	473	464	477	444	437	485	486	410	498	5,338

年齢別搬送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10歳未満	6	6	5	3	10	7	8	10	8	3	7	8	81
20歳未満	4	5	23	21	13	15	17	13	15	7	8	14	155
30歳未満	11	10	19	37	32	17	23	27	34	20	17	42	289
40歳未満	24	22	20	27	16	26	26	23	17	23	20	23	267
50歳未満	26	22	41	40	34	41	38	43	36	23	32	36	412
60歳未満	38	27	38	38	43	41	47	27	57	48	41	53	498
70歳未満	47	53	60	66	74	65	58	44	54	59	56	65	701
70歳以上	198	219	232	241	242	263	227	250	264	303	229	257	2,925

時間別搬送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0時～4時	34	35	57	46	47	57	41	46	48	39	33	57	540
4時～8時	32	31	41	51	35	49	53	53	41	42	42	52	522
8時～12時	78	88	112	104	110	95	95	84	100	116	102	101	1,185
12時～16時	91	81	87	103	98	103	103	99	107	82	85	100	1,139
16時～20時	66	71	86	96	99	101	101	95	113	126	82	111	1,147
20時～24時	53	58	63	73	75	70	51	60	76	81	66	77	803

看護部報告



看護部長 照屋いずみ

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、当院でも院長を本部長とする対策本部が発足し、院内感染対策チームを中心に日々、院内における感染対策を検討。看護部においては、発熱外来の開設と病床編成を行い、コロナ患者の入院受け入れ体制を整備し、看護部全体で新型コロナウイルス患者の受け入れに尽力しました。

2020年9月1日、コロナ陽性受け入れ病床として、沖縄県からの委託を受け、6階東病棟（21床）を開棟。コロナ感染が急拡大する中で新病棟開棟は急ピッチに進捗し、全国の徳洲会グループ病院より、看護師応援の支援を受け、無事に病棟を開棟することができました。

病院全体としては県内の流行状況を鑑み、病床変更を幾度となく余儀なくされ、その度、院内における新型コロナ専用病床への看護師応援体制を調整し、新型コロナ専用病床の運用を継続しました。

新型コロナ専用病床で勤務する職員は、隔離状況下での看護を経験し、感染症看護を学ぶ貴重な経験となりました。防護服着脱の基本を習得し、看護ケアを提供していましたが、普段以上の業務量と精神的負担が強いられたと思います。看護職員はコロナ禍においても徳洲会の理念に沿い、地域の患者様の安心・安全な医療の提供に尽力することができたと思います。職員一人ひとりの病院・看護部運営への協力と尽力に感謝致します。新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない中、現在も新型コロナウイルス感染症への対応が続けられています。新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、コロナ専用病床で従事する看護師のメンタルヘルスサポートも喫緊の課題です。引き続き看護部全体で支援できるように体制を構築していきたいと考えています。

2020年度は、コロナ禍で看護師の院内研修も計画通り実践できない状況でした。2021年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下での研修方法を検討し、人材育成の構築を図っていききたいと思います。

【看護部】

【2020年度採用状況】

■新卒・既卒別	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
新卒					39				39	
既卒					21				21	
計	0	0	0	0	60	0	0	0	60	0

【2020年度退職状況】

■常勤・非常勤別	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
常勤	3		34		37
非常勤			2	1	3
計	3	0	36	1	40

【2020年度離職率】

看護師：9.22%（新卒：2.63%） 看護補助者：5.55%

【2020年度離島支援状況】

宮古島徳洲会病院・石垣島徳洲会病院・与論徳洲会病院・沖永良部徳洲会病院へ離島応援を継続的に支援した。応援人数 延べ18名、応援日数延べ1,554日。3ヶ月ローテーションで離島医療・看護に携わり、徳洲会の原点である離島医療を経験することで看護実践能力の向上に繋がり、看護師としての成長の寄与に大きく貢献。

【2020年度看護部目標】

1. 医療・看護の価値を高め安心・安全な看護を提供する。
2. チーム医療の推進と環境のイノベーションを整える。
3. 看護実践能力と看護管理者育成の強化

【特定行為研修修了者】

研修修了者	修了区分	研修修了施設
外間 美智代	在宅パッケージ	南部徳洲会病院
城間 由加	呼吸器（気道に関わるもの）関連	琉球大学病院
	創部ドレーン管理	
	動脈血液ガス分析関連	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	
安里 徳明	動脈血液ガス分析関連	南部徳洲会病院

【2020年度の取り組み・実績】

2020年度の取り組みについては、看護部BSCで計画・実践・評価を実施（2020年度BSC参照）。

看護部看護管理者を中心に、日本看護協会版クリニカルラダーに準じた教育プログラム冊子の見直しを図ることができた。新人教育については、ラダー新人担当チームが教育・研修を企画・運営し、3月末全教育プログラムを修了することができた。各ラダー担当者は、研修の企画・運営を実践し、看護管理者として人材育成に関与し、看護管理者として成長する姿が伺えた。

次年度はさらに教育実践のフィードバックの方法を模索し、教育内容の質を高めていくことが課題である。

看護師特定行為研修では、3名の研修修了者を育成することができた。2021年度4月には看護師特定行為研修指定医療機関としての開講に向けての準備を進め、2021年3月看護師指定医療機関の認可を受けることができた。

2021年度は「ろう孔管理関連」「栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射カテーテル管理）関連」「術後疼痛管理関連」の3区分の研修をスタートする予定。

【2021年度への課題・展望】

- ① 日本看護協会版クリニカルラダーの教育・実践の評価
- ② 看護補助者の活用推進（介護福祉士の活用について検討）
- ③ 看護管理者のマネジメント能力の向上の推進（マネジメントラダーの活用と評価）
- ④ 看護職員の看護実践能力の向上と看護の質向上
- ⑤ 看護職の働き方改革への取り組み（時間外労働の削減への取り組み）
- ⑥ 看護師特定行為研修の指定医療機関の継続と研修修了者の活用への取り組み

【入退院サポートセンター】

【部署長】 看護師長 桑江朝美

【人 員】 看護師長1名、看護師2名、(非)看護師1名、理学療法士1名

【入退院サポートセンターの概要】

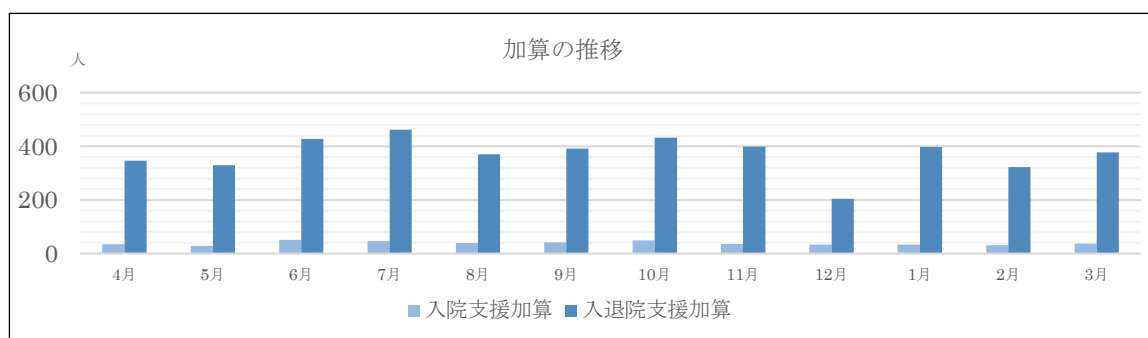
超高齢社会に突入し、生活背景に問題を抱える患者が増え、退院困難な患者が増加している。退院後の生活を視野に入れた看護実践の提供や在宅で利用可能な医療・福祉サービスのスムーズな連携が強く望まれ、それらの患者・家族の意思を取り入れた上での退院支援の質の向上が求められる。

入退院支援加算の算定により担当看護師4人の配置となった。入院前から支援することで患者の不安なく入院に望めること、入院前から退院を視野に入れることで、早い段階から退院支援に取り組むことができるようになった。また、退院支援におけるカンファレンスの充実を図り、入院後、早期から多職種で情報共有することで、連携を深め多職種で退院への意識を高めることを目的としている。

【目 標】

- ① 医療、看護の価値を高め、安心、安全な看護を提供する。
- ② チーム医療の推進とイノベーション環境を整える
- ③ 病棟看護師と連携し、入院支援を充実させる
- ④ 効果的な病床管理

【2020年 入退院支援加算】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院支援加算	35	29	51	46	39	42	49	36	34	34	31	37
入退院支援加算	347	330	428	462	370	392	432	399	204	398	323	378

【2020年の取り組み】

当院は、入退院支援加算に伴い、入院3日目以内に退院困難だとアセスメントした患者に対して、退院支援カンファレンスを実施している。カンファレンスは、入院後、早期から多職種で情報共有することで各職種が役割を確認でき、質の良いチーム医療を展開して限られた在院日数の中で退院支援を充実させること。カンファレンスの運用方法として入退院サポートセンター看護師、病棟看護師、MSWが各病棟週2回行い、記録は入退院サポートセンター看護師が行い、退院支援計画書を作成、病棟看護師が退院に向けて退院支援計画書の説明を行い、患者、家族からサインをもらっている。

【今後の課題・展望】

- ・病棟看護師とのカンファレンスの充実
- ・病棟との連携と業務改善を目的に記録の共有するツールを作成する。
- ・看護師、MSWが連携し入退院支援の充実を図る
- ・長期入院患者の減

【外 来】

【部署長】 副看護部長 桃原敦子

【人 員】 副看護部長 1名 看護師長1名、看護副主任2名、看護師27名、(非)看護師10名、
クラーク9.5名、看護補助者3名

【外来の概要】

<一般診療科>

一般内科、循環器内科、消化器内科、脳神経外科、泌尿器科、口腔外科、整形外科、
形成外科、一般外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、婦人科

<特殊外来>

禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、小児科予防接種、ストーマ外来、女性外来、
化学療法外来、疼痛外来

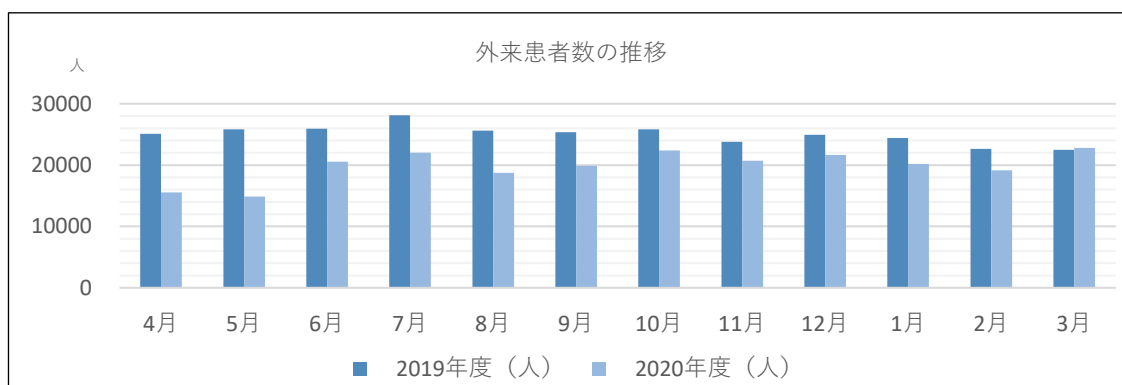
<内視鏡室>

GF、CF、ESD、EMR、ERCP等

【目 標】

- ① 1日平均外来患者900名
- ② 接遇の徹底でクレームの軽減に努める
- ③ 手指衛生の遵守率100%を目指し、感染防止へ対応する
- ④ WLBの推進で離職率の軽減
- ⑤ 外来委員会を中心に待ち時間の短縮に努める

【外来患者状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度	25,108	25,839	25,915	28,149	25,613	25,334	25,852	23,780	24,931	24,431	22,621	22,466
2020年度	15,527	14,858	20,531	22,005	18,753	19,861	22,408	20,701	21,672	20,190	19,165	22,810

【2020年度の取り組み・実績】

外来は、15科の一般診療科、7科の専門外来に加えて、内視鏡や化学療法・訪問看護も行っています。

2020年はコロナ禍で外来患者数は減少傾向となりましたが、外来スタッフは救急外来看護師が担当する放射線業務とドライブスルー（PCR検査）の業務が追加となり、かなり負担となりました。外来には時間短縮勤務者や非常勤職員が多いですが、コロナの発生で業務拡大となり忙しい1年となりました。

このような中、スタッフが安心・安全に業務することができるよう業務の整理、改善に取り組みました。スタッフ一同協力して外来機能は低下させることなくチームワークで業務を行うことが出来ました。

【今後の課題・展望】

- ① 感染拡大予防（院内でのコロナ個別接種）へ積極的に取り組む
- ② 初期対応アセスメントの能力の向上
- ③ 接遇向上のための教育
- ④ AI問診を活用し、待ち時間短縮に努める
- ⑤ 経営効果に繋げる業務改善の継続

【救急センター】

【部署長】 看護主任 長嶺 あずさ

【人 員】 看護主任1名、看護副主任2名、看護師17名、准看護師2名、(非)看護師 1名

【救急センターの概要】

病院の理念に基づき、「24時間救急患者を断らない」をモットーに、救急科専属の救急を中心に、各専門診療科と病棟及び、ICU、HCU、手術部門、との連携を図りながら救急医療強化に努めています。

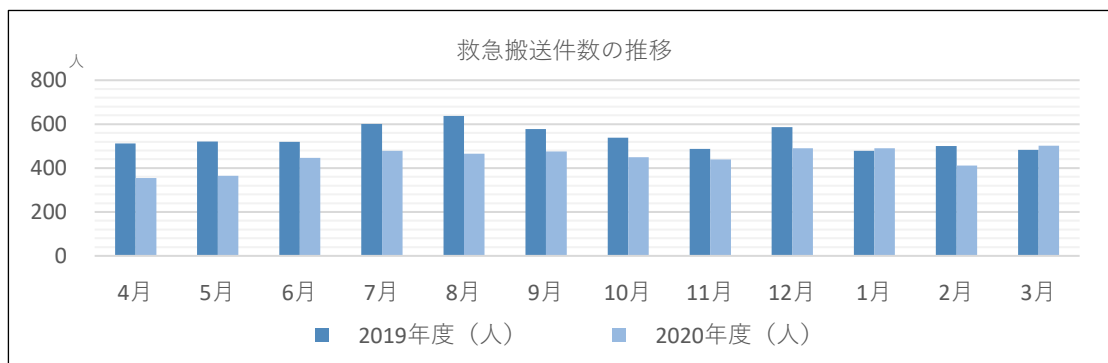
ドクターカーの運用も行っており、救急要請と共にいち早く現場に向い迅速で安全に病院前救護を行い、救命率向上のために活動しています。又、全てのドクターへりを受け入れており、”いつでも、どこでも、誰もが最善の医療を受け入れられる”救急医療を目指しています。

全ての患者様に、心のこもった安心・安全な質の高い救急看護を提供できるよう、より良い救急医療をめざし、チームワークを大切にスタッフ一同取り組んでいます。

【目 標】

- ① 質の高い救急看護が実践できるように自己の専門的知識、技術の維持・向上に努める
- ② 患者の立場（気持ち）になって行動する
- ③ 状況にあった迅速な対応、感染対策の強化を図る
- ④ 救急でのトリアージ強化
- ⑤ 看護実践能力の教育プログラムに基づき評価を行い、自立した人材育成に努める
- ⑥ 働きやすい職場環境の改善を図り、魅力ある職場づくりに努力する

【救急搬送件数状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度（人）	512	521	519	601	638	577	538	487	587	479	500	483
2020年度（人）	355	365	447	479	465	476	450	439	490	490	412	502

【2020年度の取り組み・実績】

前年度は、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、安全に救急患者様を受け入れるために早急な環境整備、ゾーニング、個人防護具（PPE）の着脱方法など繰り返し訓練、救急医と共に勉強会を行いました。

又、他部署とも検査から帰宅するまでの流れを検討・調整を行い、安心して患者様が受診できるように行うことができました。救急スタッフ一丸となって業務を遂行し、誰一人感染することなく1年を終えることができました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症を視野に入れ、これまで以上に救急患者様を受け入れ、接遇面でも強化し、目標達成に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。

【今後の課題・展望】

- ・救急看護師一人一人の救急専門的知識、技術の向上。
- ・救急搬送受入れ傍受ゼロ
- ・接遇向上のための教育（患者様の立場を考えた行動が図れる）

【血液浄化センター】

【部署長】 看護師長：天願和美

【人 員】 看護師長1名、看護主任1名、看護副主任1名 看護師13名、准看護師1名
(非)看護師2名、(非)准看護師1名、看護補助者1名

【概 要】

血液浄化センター

ベッド数40床 透析装置40台 透析装置（補助）3台

外来患者数約 2029名/月

入院患者数約 8名/月

新規透析患者数 42名

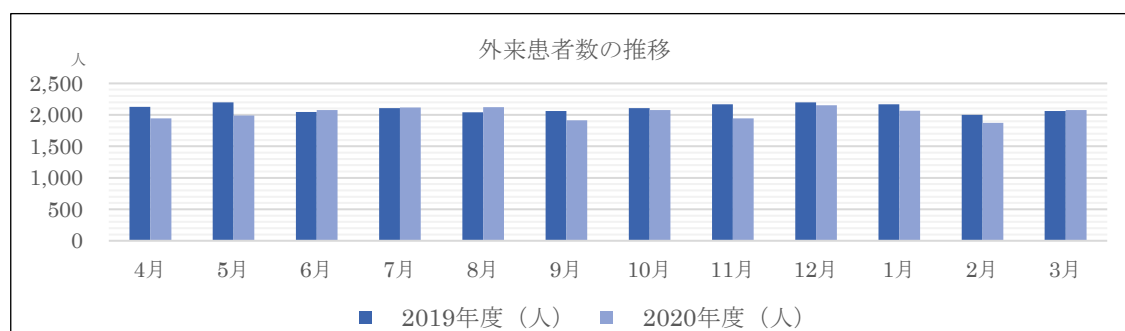
旅行透析 0名

腹膜透析 2名

【目 標】

- ① 安全な体外循環の提供
- ② 転倒転落予防対策の維持
- ③ 感染防止対策の意識を高める
- ④ 専門的知識の向上
- ⑤ 働きやすい環境作り

【外来患者状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度 (人)	2,126	2,200	2,044	2,108	2,041	2,060	2,105	2,169	2,197	2,168	2,000	2,062
2020年度 (人)	1,944	1,991	2,078	2,118	2,121	1,914	2,075	1,943	2,155	2,067	1,872	2,078

【2020年度の取り組み・目標からの実績】

- ・IPSG6項目の遵守により医療安全に対する意識が向上しインシデントの発生を防ぐことができる
 - ⇒透析終了後の転倒評価に応じた、患者搬送の対応・帰宅ルートの見直し患者教育
退出者確認の報告（防災センターへ） ⇒転倒発生件数0件
 - ⇒指示・薬剤のインシデント低減に向けた業務内容の見直し
- ・ブラッドアクセスからの感染を防ぐ事ができる
 - ⇒シャント感染は1件（アルコールアレルギー患者）消毒剤の内容変更。手指衛生遵守率の強化
- ・下肢病変の早期発見・悪化防止ができる
 - ⇒下肢病変外来へのスタッフ介入・フットケアチームの活動支援・早期介入へのスタッフ教育
 - ⇒早期介入により足病変へ意識は高まったが、創傷よりアンブタに至ったケース2件
- ・透析関連の診療報酬加算を取得できる
 - ⇒登録患者数139名以上維持・下肢静脈管理加算100%取得
- ・クリニカルラダーに応じた研修プログラムに参加できる
 - ⇒COVID19感染影響にて研修参加できでならず
- ・透析関連認定資格を取得できる ⇒COVID19感染による認定研修なく取得できず
- ・職員の満足度が向上し離職率防止につなげることができる ⇒離職者が2名。離職理由を見直し、WLBや職員の健康維持・やりがいのある職場作りにつとめる
- ・感染対策⇒COVID19感染対策⇒出入り口の検温・発熱時対応教育・環境整備・自宅検温の患者教育

【今後の課題・展望】

- ・転倒転落アセスメントの評価を維持、転倒を起こさせない環境作り
- ・シャント閉塞に移行しない、シャントアクセスのアセスメント評価・早期介入
- ・下肢病変の早期発見・悪化防止に努め、維持できる看護支援
- ・治療に関するインシデントの低減・システムバージョンUP・透析記録をペーパーレス化
- ・腎代替療法の活動再開と強化
- ・腹膜透析の訪問看護協働支援を行う
- ・クリニカルラダー教育研修に参加し看護技の質の向上につげる
- ・スタッフの意欲を落とさずWLBを維持し協働できる

【集中治療室：I C U】

【部署長】 看護師長 宮里典子

【人 員】 看護師長1名、看護主任1名、看護副主任1名、看護師26名、看護補助1名、
看護事務1名

【概 要】

病床数：10床

診療科：内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・心臓血管外科・脳神経外科・
消化器外科・呼吸器外科・整形外科・形成外科

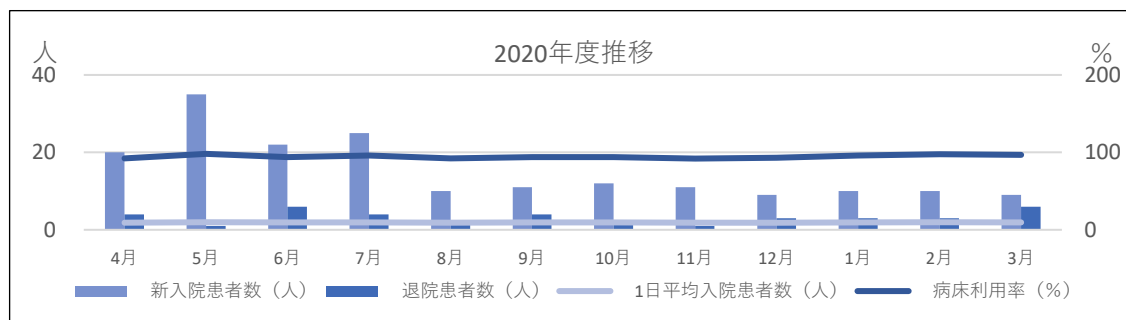
生命を急激に脅かす重度の侵襲に苛まれた患者に対して様々な生体反応を緩和し、現在ある機能を最大限に高めていくため複数のメディカルスタッフと連携し集中的に検査・治療・看護を行う部門です。患者は身体的苦痛と言語的コミュニケーションの手段の制限や障害があり、自己表現できない場合も多く、また、家族と隔絶されているために心理的危機状態にもあります。患者の特徴を十分に理解し、特に命に直結する疾患や病態と苦痛の理解、それに伴う異常の早期発見・対処が必須となります。安心・安全で質の高い医療・看護を提供できるよう取り組んでいます。

施設基準：特定集中治療室管理料1

【目 標】

- ① 患者が安全に安楽に過ごせる環境の提供に努める
- ② 非日常性の中で日常性を維持するための援助を行う
- ③ 専門領域での個人の知識・技術を深めることで看護サービス提供の質を高める
- ④ 臨床での気づきと提言を相互につなぎ看護の質向上に努める
- ⑤ 重篤化の回避と早期回復に向けた諸機能維持と向上のためのアプローチができる

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数 (人)	9.2	9.8	9.4	9.6	9.2	9.4	9.4	9.2	9.3	9.6	9.8	9.7
新入院患者数 (人)	20	35	22	25	10	11	12	11	9	10	10	9
退院患者数 (人)	4	1	6	4	2	4	2	1	3	3	3	6
病床利用率 (%)	92.3	98.1	94.0	95.8	92.3	94.0	93.9	92.0	93.2	95.8	97.5	96.8

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数 (人)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0
看護必要度 (%)	85	88	91	95	85	92	89	92	97	93	93.0	92

【2020年度の取り組み・実績】

本年度は新型コロナウイルス感染症流行に伴い患者受け入れ後の対応を特に意識し、医師と相談しながら取り組みました。また、感染状況に合わせてながらゾーニングを行い、個人防護具（PPE）の着脱方法を再確認しながら安全に通常の患者受け入れを行い、感染を起すことなく業務を遂行することが出来ました。

病床稼働率95%以上とし効率的なベットコントロールを実施してきました。しかし、稼働率は94%と達成できませんでした。MEWSの運用は主体的に実践でき院内のCPR件数軽減につながっています。

計画的に勉強会の開催、集中治療医学会にオンライン発表することもできました。

今後も患者の尊厳・プライバシー・権利を尊重し、安心・安全で質の高い看護の提供を目指して取り組んでいきたいと考えています。

【今後の課題・展望】

- ・役割を認識し患者、家族を尊重した看護を提供する
- ・教育の充実と看護の質向上に向けた取り組みを継続する
- ・感染予防対策の徹底

【4階HCU】

【部署長】 看護主任 與古田 めぐみ

【人 員】 看護主任1名、副看護主任1名、看護師20名、看護補助1名

【概 要】

病床数：16床

診療科：全科

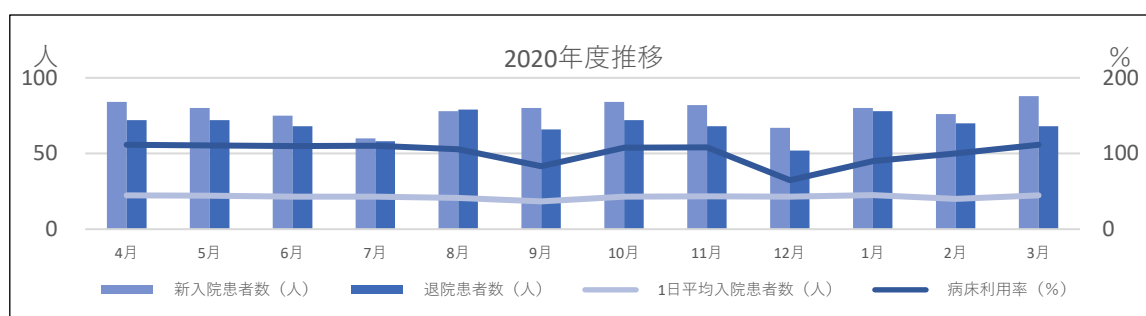
急性期、あるいは重症、高度治療を必要とする患者を受け入れている。当病棟はHCU管理加算16床であり循環動態が不安定な患者や人工呼吸器管理を要する患者、夜間の急性期の患者を受け入れている。

入退院が多く、慌ただしい日々ではあるが、医療・看護の充実を図り、患者に安心した検査、治療の提供が日々ではあるが、医療・看護の充実を図り、患者に安心した検査、治療の提供が出来るよう取り組んでいます。

【目 標】

- ① 新人教育を充実し、チームメンバーとしての役割を理解し、業務ができる
- ② 重症患者に必要な看護の知識・技術を習得し、統一したケアを提供できる
- ③ おもいやりのある看護を目指してホスピタリティをもって行動できる

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数 (人)	44.6	44.3	42.9	43.0	41.2	36.7	43.1	43.3	43.0	45.0	40.0	44.6
新入院患者数 (人)	84	80	75	60	78	80	84	82	67	80	76	88
退院患者数 (人)	72	72	68	58	79	66	72	68	52	78	70	68
病床利用率 (%)	111.5	110.8	110.0	110.3	105.6	83.3	107.7	108.2	64.7	90.0	100.0	111.5

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数 (人)	19.8	18.0	12.0	10.7	10.0	9.8	16.2	14.0	12.0	15.0	13.6	12.0
看護必要度 (%)	35	31.1	33.1	38.5	32.5	31	32.1	33	37	32	35.0	39

【2020年度の取り組み・実績】

本年度は中等症COVID疑似症の救急受入れを中心とした業務を担い、感染対策や疑似症重症患者の対応など円滑に業務できるよう業務改善したいと考えています。

新人教育では4月に中途入職があり、日々を振り返り経験した看護技術をレポートに記録しフィードバックしていこうと思います。しかし、看護記録やアセスメント力、退院支援の関わりの難しさが今後の課題となりました。

急性期病院の中等症、重症患者の看護をICUと連携して運営していけるようにしたいと思います。

【今後の課題・展望】

- ・HCUの役割を認識し、感染症対策に取り組む
- ・業務改善に向けた取り組みを継続する
- ・働き方改革を推進する

【手術室】

【部署長】 看護主任 大湾美由紀

【人 員】

手術室 看護主任1名、看護副主任1名、看護師25名、(非)看護師2名、
看護補助者1名、委託業者20名

日帰り手術センター 看護師3名、(非)看護師1名

【手術室の概要】

<診療科>

一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、
循環器内科、歯科口腔外科、疼痛治療科、形成外科、皮膚科、眼科、婦人科

<部屋数>

手術室10部屋（ハイブリッド手術室含む）、心臓カテーテル検査室、アンギオ室、
中央材料室、日帰り手術センター10床

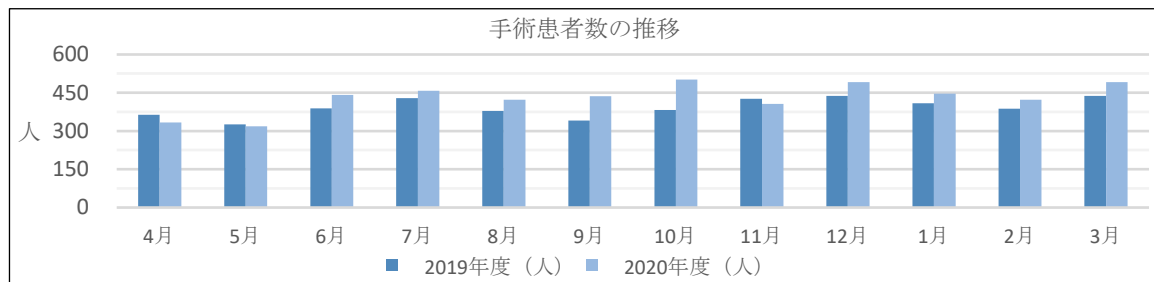
当手術室は予定手術に加え、大動脈瘤解離や脳出血、急性心筋梗塞など緊急性の高い手術にも、年中無休・24時間オンコール体制で対応しています。

日帰り手術センターでは、外来手術や比較的侵襲の少ない症例の患者を対象に安全に手術が受けられるよう入院から退院までのサポートを行っています。

【目 標】

- ① JCIスタンダードを遵守し、安心安全な看護を提供する
- ② 患者様・ご家族を尊重した思いやりのある看護の提供
- ③ 診療報酬に対応した健全な病院経営への参画
- ④ 日本看護協会版クリニカルラダーに沿った教育計画を実施し、看護師の人材育成の構図を図る
- ⑤ 看護職員の働きやすい職場環境の構築への取り組みを開始する
- ⑥ 看護の質を追求し、より良い看護実践を高めることができる
- ⑦ 品質改善に積極的に取り組み、医療の質を向上させる

【手術患者状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年度 (人)	364	326	389	429	379	341	383	426	438	409	387	438
2020年度 (人)	334	318	441	458	423	436	502	406	492	446	423	492
日帰り手術総件数	82	65	84	89	95	92	95	88	119	114	117	137

【2020年度の取り組み・実績】

- ・4月より婦人科医師着任。6月より婦人科手術開始。専用器械の整備・管理、手術手順書の改定を行った。
- ・EOGガス滅菌の廃止。これまでガス滅菌を行っていたものをステラッド滅菌へ切り替え、対応できないものは使用製品の見直しを行い、人体に対する安全性を確保した。
- ・手術室におけるCOVID-19対策。手術を受ける患者へ1週間前からの体調管理と感染防止に対する患者教育を行い、術前スクリーニングを用いて感染防止対策を行った。
また、COVID陽性患者を想定したマニュアルを作成し、職員教育を行い、統一した対応が取れるよう整備した。
- ・手術室における医療事故防止対策への取り組み。モニタリング画面の一部変更やディスプレイポータブル気管支鏡の購入、手術室における挿管介助のマニュアル改定。

【今後の課題・展望】

- ・手術室における医療事故防止対策への継続的な取り組み（セカンドチェック）
- ・業務改善に向けた取り組み（オペラマスターの導入）
- ・働き方改革の推進

【5階東病棟】

【部署長】 看護師長 仲里久美子

【人 員】 看護師長：1名、看護主任：1名、保健師：3名、看護師：23名、
介護福祉士：4名、看護補助者：3名、看護事務：1名

【概 要】

病床数：44床

診療科：脳神経外科

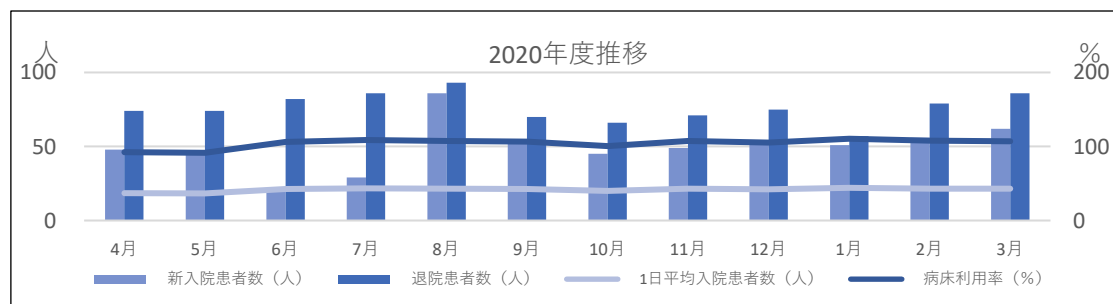
急性期脳卒中患者をはじめ、脳腫瘍・頭部外傷患者を受け入れている。脳卒中では、脳梗塞の割合が多く、次いで脳出血・クモ膜下出血が多くなっている。基礎疾患をもった高齢者だけではなく近年では若年層の脳卒中患者も多くなっており、麻痺のある患者だけではなく高次脳機能障害のある患者など、退院支援を含めた関わりが必要となっている。

その為、回復期病院への転院待ち患者もおり、リハビリと協働しADL拡大に向けた取り組みを開始し、慌ただしい日々ではあるが、医療・看護の充実を図り、患者に安心した検査・治療の提供が出来るよう取り組んでいます。

【目 標】

- ① 患者・家族のニーズに合わせた思いやりのある看護を提供する
- ② 患者・加増に対して教育・指導を充実し質の高い看護の提供
- ③ 計画的な退院支援・退院調整をし、在院日数の短縮に繋げる
- ④ 院内の教育プログラムに添って、研修へ積極的な参加ができ自己研鑽する

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	37.0	36.6	42.4	43.5	43.0	42.6	40.2	43.0	42.1	44.2	43.1	42.9
新入院患者数(人)	48	46	22	29	86	52	45	49	53	51	56	62
退院患者数(人)	74	74	82	86	93	70	66	71	75	57	79	86
病床利用率(%)	92.5	91.5	106.0	108.9	107.4	106.4	100.5	107.5	105.2	110.5	107.9	107.2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	24.0	20.0	20.0	21.0	19.0	19.0	19.0	21.0	21.0	22.0	21.0	20.0
看護必要度(%)	27	26	28	23	30	25	21	20	25	23	26.0	29

【2020年度の取り組み・実績】

本年度は転倒転落の低減に向け業務改善に取り組みました。

脳血管疾患から神経症状の悪化によりADL低下から転倒リスクが高い事から、転倒リスクのある患者の環境調整や指導、ベッドサイドにはシグナルの掲示などに取り組み若干ではあるが軽減する事ができました。

新人教育では4月に5名の入職があり、毎週1回症例検討会や勉強会を開催してきました。

また、急性期病棟としての入退院支援に対し回復期病院と毎週1回患者カンファレンスを開催し退院支援を充実させ、継続看護に繋げていきました。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため下半期に開催が中断されたので次年度は開催を旨ざしたいと思います。

【今後の課題・展望】

- ・在院日数の短縮と計画的な退院支援と取り組み
- ・業務改善に向けた取り組みを継続する
- ・教育の充実と看護の質向上

【5階西病棟】

【部署長】 看護主任 喜屋武郁恵

【人 員】 看護主任1名、看護副主任1名、保健師2名、看護師23名、准看護師2名、
介護福祉士5名、看護補助2名、看護事務1名

【概 要】

病床数：44床

診療科：整形外科

主に外傷（大腿骨近位部骨折・骨盤骨折）や、頰椎・腰椎疾患、膝・股関節疾患が多く入院されています。

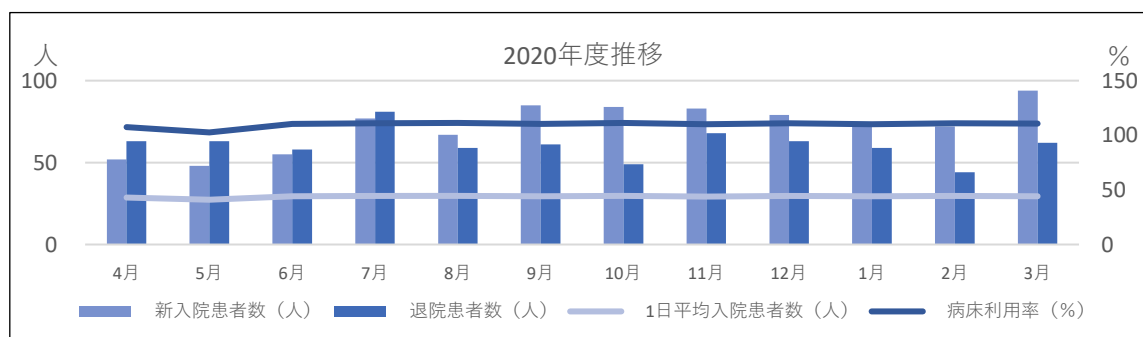
手術適応疾患が多く、月100/件以上を実施しているため、看護必要度も高い現状です。

急性期看護・周手術期看護を主に、患者の安全・安楽な、医療・看護を提供。又、在宅復帰をめざしリハビリ・MSW多職種と一緒に取り組んでいます。

【目 標】

1. JCIスタンダードを遵守し、安心安全な看護を提供する
2. 患者・家族を尊重した思いやりのある看護を提供する
3. 医療の質・業務改善に取り組む
4. ラダー別人材育成へ取り組む
5. 働きやすい職場環境づくりに取り組む

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	43.0	41.0	44.1	44.4	44.5	44.1	44.5	44.0	44.4	44.1	44.4	44.3
新入院患者数(人)	52	48	55	77	67	85	84	83	79	74	72	94
退院患者数(人)	63	63	58	81	59	61	49	68	63	59	44	62
病床利用率(%)	107.5	102.6	110.3	111.0	111.3	110.3	111.2	110.0	110.9	110.2	111.0	110.7

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	21.0	23.0	24.0	21.0	21.0	20.0	21.0	20.0	20.0	20.0	21.0	21.0
看護必要度(%)	49	42	43	53	43	47	60	46	62	53	49.0	53

【2020年度の取り組み・実績】

- ・本年度は、DVT低減に向け、DVTパスの活用を行い業務改善に取り組み、強化を行った。下肢エコー後のフットポンプ再装着までのタイムロスを減らすために、検査部にも協力を得て目に見て表記する事・DVTパスを活用する事で、看護師の意識向上にも繋がった。
- ・骨折患者が多く、自宅退院が困難なケースがあり、在院日数が長期化する傾向があります。退院調整に向けてMSW・多職種と連携を図り、退院支援に対する連携を強化したいと考えています。又、骨折後の継続治療が出来るように、骨粗鬆症リエゾンチームで患者のサポート、治療に繋げていく事が今後の課題です。

【今後の課題・展望】

- ・リエゾンチーム活動の強化
- ・業務改善に向けた取り組みを継続する
- ・働き方改革を推進する
- ・残業低減に努める

【6階東病棟】

【部署長】 看護師長 與古田美智代

【人 員】 看護師長1名、看護副主任1名、看護師13名、准看護師1名 看護補助1名

【概 要】

病床数：21床

診療科：新型コロナウイルス感染病床

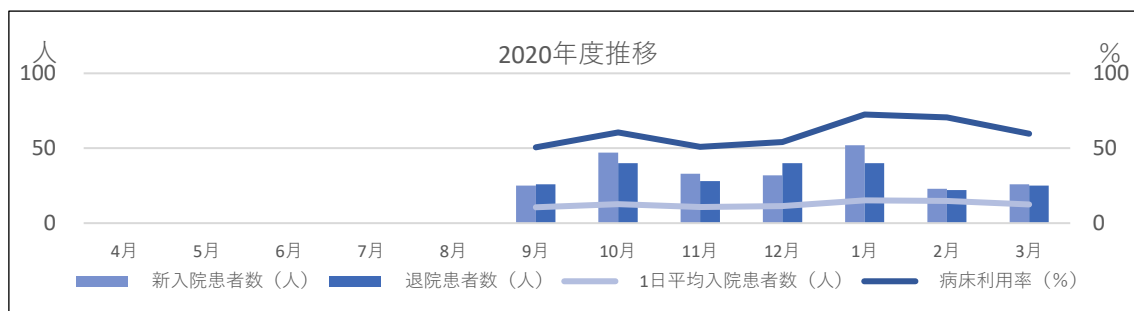
当病棟は、新型コロナウイルス感染拡大により、沖縄県からの依頼を受け2020年9月より新設された病棟である。

軽症～中等度の新型コロナウイルス陽性患者の受け入れを行っている。

【目 標】

- ① 即席に構成された病棟スタッフチームワークを高める
- ② 隔離生活を送る患者の身体的、精神的負担を考慮した看護の提供
- ③ 患者と会えない状況下にある家族の心情に寄り沿った看護サービスの提供
- ④ 職員の感染リスクの危険回避教育（PPEの着脱技術）

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数 (人)						10.6	12.7	10.7	11.4	15.2	14.8	12.5
新入院患者数 (人)						25	47	33	32	52	23	26
退院患者数 (人)						26	40	28	40	40	22	25
病床利用率 (%)						50.6	60.5	51.0	54.2	72.5	70.6	59.6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数（人）						12.0	10.0	10.0	10.0	10.0	12.0	13.0
看護必要度（%）						40	29	46	51	45	67.0	47

【2020年度の取り組み・実績】

新型コロナウイルス感染患者数の増加に伴い、沖縄県からの依頼で9月に新設された。

病棟スタッフが新たなメンバーでの構成、コミュニケーションを取りチーム力を高める必要があった。病棟運用も皆で意見を出し合い、整備を図った。

新型コロナウイルス感染対応の見直しを行い、対策の整備と過剰な対策の排除など対策の見直しを図る必要があった。

新型コロナ感染症病床に配属された看護師スタッフの安全の確保と精神的負担が最小限にとどめるための教育、職員サービス提供の調整の必要があった。

【今後の課題・展望】

- ・6階東病棟の役割を認識し、感染症対策に取り組む
- ・業務改善に向けた取り組みを継続する
- ・働き方改革を推進する

【6階西病棟】

【部署長】 看護師長 當山 夕香

【人 員】 看護師長1名、看護副主任2名、保健師1名、看護師25名、看護補助7名

【概 要】

病床数：39床

診療科：循環器内科、心臓血管外科

循環器内科、心臓血管外科の治療とする患者を受け入れています。また不整脈の根治術法であるアブレーション治療やペースメーカー挿入術の患者を受け入れています。

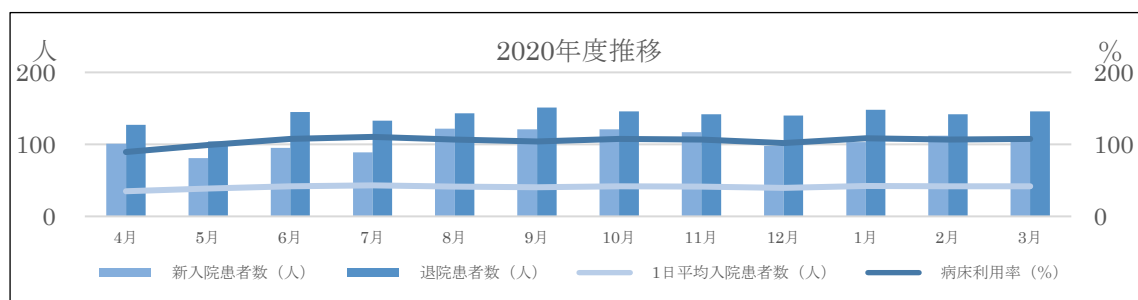
当病棟の看護師は、一般病棟の入院患者の対応だけではなくアブレーション室も兼任しています。

循環器疾患の多くは、生活習慣との関わりが深いため、生活習慣を見直すことができるよう患者・家族の指導を日々行っています。患者が安心して心臓検査や治療が受けられるようにチームで連携を取り、質の高い看護を提供できるように取り組んでいます。

【目 標】

- ① 循環器に特化した専門的知識習得・技術向上を図り、統一したケアを提供することができる。
- ② 患者・家族のニーズに合わせて計画的な退院支援を行い、在院日数短縮化を図る。
- ③ 身体拘束率低減に向けた取り組みの強化を図る。
- ④ 感染対策を意識し、手指衛生5つのタイミング遵守率を向上させる。
- ⑤ クリニカルラダー教育プログラムに沿って積極的に研修に参加し、自己研鑽することができる。

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	34.9	38.7	42.0	43.1	41.5	40.5	41.9	41.5	39.7	42.3	41.6	42.0
新入院患者数(人)	101	81	95	89	122	121	121	117	98	103	112	110
退院患者数(人)	127	104	145	133	143	151	146	142	140	148	142	146
病床利用率(%)	89.4	99.2	107.8	110.4	106.5	103.9	107.4	106.5	101.8	108.4	106.6	107.8

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	10.0	11.0	11.0	11.0	10.0	10.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0
看護必要度(%)	33	30	32	31	32	35	37	33	40	36	42.0	32

【2020年度の取り組み・実績】

今年度は、患者の身体拘束率低減に向けた取り組みを強化した。看護師だけではなく看護補助者とも連携を取り、患者の倫理的配慮を考慮し業務改善を行った。

その結果、当院の身体拘束率目標値20%を下回り、当病棟では14%と目標達成することができた。

しかし、急性期病院であることから、治療が優先となり、身体拘束をやらざるを得ない状況も発生していることから、次年度はさらに身体拘束率低減に向けた業務改善を図りたいと考えます。

また、心臓カテーテル治療を受ける患者・家族に対し、生活習慣を見直すことができるよう個別的な退院指導や心臓リハビリテーションの必要性についての指導を継続していきました。

【今後の課題・展望】

- ① 在院日数の短縮と計画的な退院支援に向けた取り組みを行う。
- ② 院内感染対策に対する意識の向上を図り、手指衛生5つのタイミング遵守率の向上を目指す。
- ③ 働き方改革に向けて、業務改善を積極的に行い時間外削減に努める。
- ④ 専門的知識・技術習得に向けて、積極的に院内・院外研修に参加することができる。

【7階東病棟】

【部署長】 看護主任（師長代行） 兼松 久美子

【人 員】 看護主任1名、看護副主任1名、看護師26名、准看護師2名、介護福祉士3名、看護補助3名、看護事務1名、障害雇用1名

【概 要】

病床数：39床

診療科：泌尿器科、口腔外科

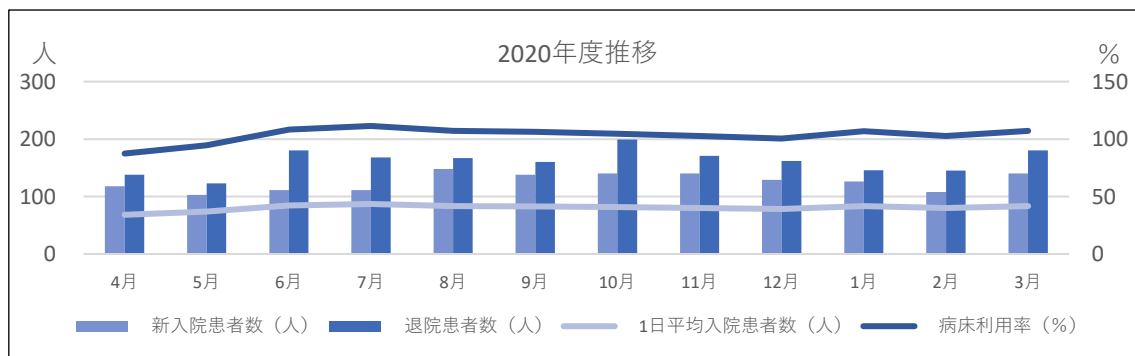
泌尿器科、口腔外科を専科とした病棟です。泌尿器科では前立腺癌や膀胱癌、前立腺肥大症など周術期の急性期にある患者様から、化学療法・終末期にある患者様まで入院しています。また、口腔外科では埋伏歯で手術目的に入院される患者様が多くいます。

当病棟は在院日数が8日と短いため入退院が多く、慌ただしい日々ではありますが、スタッフ間で協力し合い、患者様の立場に立った看護ニーズの提供ができるように心がけています。患者様に安心・安全な医療・看護の提供が出来るように日々取り組んでいます。

【目 標】

- ① 患者・家族のニーズに配慮し安心・安全な看護を提供します
- ② 患者・家族のニーズに合った患者教育・指導を行います
- ③ 地域連携機能の強化を図り、計画的な退院支援・退院調整を行います
- ④ 専門職としての自覚を持ち、積極的に研修に参加し自己研鑽に努める
- ⑤ 接遇の向上

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	34.1	36.9	42.2	43.5	41.7	41.4	40.7	40.1	39.2	41.7	40.0	41.8
新入院患者数(人)	118	103	111	111	148	138	140	140	129	126	108	140
退院患者数(人)	138	123	180	168	167	160	199	171	162	146	145	180
病床利用率(%)	87.4	94.6	108.2	111.4	107.0	106.2	104.5	102.8	100.4	106.9	102.6	107.1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	8.0	8.0	8.0	8.0	9.0	9.0
看護必要度(%)	27	32	29	39	30	30	42	37	32	30	31.0	41

【2020年度の取り組み・実績】

業務改善では排尿自立ケアの充実を図るため、スタッフ教育を行った事で患者リストの漏れが軽減し排尿ケアチーム介入による指導やアドバイスを看護に繋げることができた。

医療安全の観点からは、ヒヤリハット・インシデント報告が少なく、アクシデントも起きていることから、スタッフにヒヤリハットの必要性や意味について勉強会を実施した。患者に安全な療養環境を提供するため、12月より病室環境ラウンドを実施している。その結果、少しずつではあるがヒヤリハットの報告も増え、安全に対する気づきが増えてきたので継続して取り組む。

今年度はコロナウイルス感染拡大に伴う病棟編成や人事異動、入退院の増加に伴い時間外も増えたことで病棟の勉強会がほとんど出来ていない状況である。看護の質の向上を図るうえでも業務改善を行い、計画的な教育計画をたて実施していく必要がある。

急性期病棟としての入退院支援に対する看護師の意識は向上しており、リーダー看護師以外でも入院時よりケースワーカー介入に繋げることが出来ている。引き続き他部署との連携を図り退院支援に繋げていく。

【今後の課題・展望】

- ・時間外が多いため、業務改善を図る
- ・働き方改革の推進
- ・患者安全に対する業務改善の取り組みを継続する
- ・スタッフ教育の充実（病棟勉強会の実施）

【7階西病棟】

【部署長】 看護師長 島袋 操

【人 員】 看護副主任1名、看護師28名、看護補助者9名

【概 要】

病床数：44床

診療科：消化器内科 消化器外科 胸部外科 疼痛治療科

消化管（食道・胃・大腸）、肺、肝臓・胆嚢・膵臓疾患を診療および内視鏡検査・治療などの看護に努めています。

消化器外科の特徴として術前からの関わりを大切にし、術後合併症の予防などに努めています。

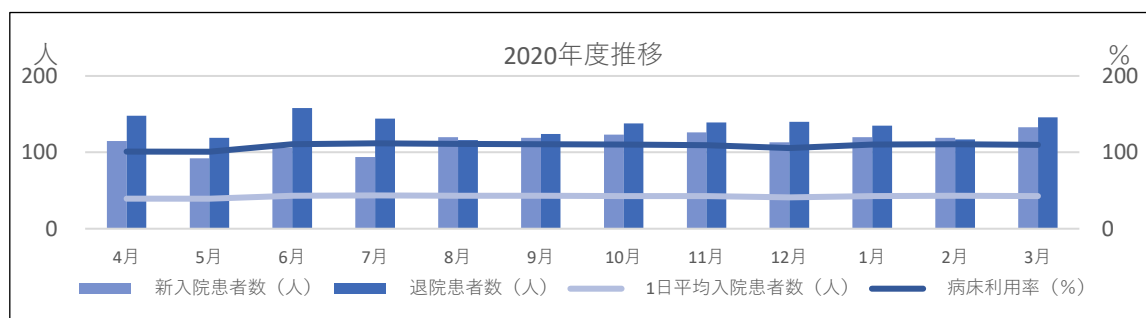
また、退院後の生活の質を落とさないよう退院時の指導を日々実践しており、特にストマーケアは力を入れています。

がん患者の終末期医療も行っており、疼痛のコントロール（疼痛治療科）や病棟に在籍する緩和ケア認定看護師を中心に患者に寄り添いながら精神的な支えを担っています。

【目 標】

1. 医療安全対策・院内感染予防・褥瘡予防の意識を高め、安心・安全な看護を提供する
①インシデントレポート（goodcatch）20件/月 ②手指衛生遵守率 100%
③褥瘡発生件数 0件/年
2. クリニカルパスの使用率アップ
3. 計画的な退院支援、退院調整を推進する
4. 接遇の更なる強化を図る

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	39.4	39.3	43.1	43.6	43.3	43.1	42.9	42.7	41.2	42.9	43.2	42.8
新入院患者数(人)	115	92	106	94	120	119	123	126	113	120	119	133
退院患者数(人)	148	119	158	144	116	124	138	139	140	135	117	146
病床利用率(%)	100.9	100.8	110.6	111.8	111.1	110.6	110.1	109.5	105.7	110.0	110.7	109.8

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	11.0	11.0	10.0	11.0	11.0	12.0	11.0	11.0	10.0	10.0	11.0	10.0
看護必要度(%)	36	40	39	47	39	37	36	39	46	39	50.0	38

【2020年度の取り組み・実績】

今年度は、前年度から継続して手指衛生遵守率に向けた取り組みを強化した。

前年度の看護研究発表（手指衛生遵守率の向上）の取り組みをQI担当者が引き継ぎモニタリングを実施。

今年度はICTメンバーとも協働し業務改善を行った。病棟独自で「点滴時の手指衛生3つのタイミング」「処置時の3つのタイミング」を考案し、朝の申し送り時に総リーダーが唱和し、場面での意識向上に繋がっている。

全体の遵守率は70%と横ばいだが、消毒剤使用量は少しずつだが上昇している。

次年度にはスタッフも唱和に参加し、さらなる意識向上を図る。

【今後の課題・展望】

- ① 医療安全対策（goodcatchレポート）の件数増加を図り、周知活動行いインシデント件数を減らす
- ② 身体拘束に関わるカンファレンスの件数増加（5件/月）
- ③ 更なる在院日数の短縮と退院促進に向けた取り組みを行う
- ④ 退院指導の充実（パンフレットの作成）
- ⑤ プライマリー方式の再編（ストマー患者へプライマリー担当をつける）

【8階病棟】

【部署長】 看護師長 崎原 真弓

【人 員】 看護師長1名、看護副主任2名、看護師28名(応援除く)、介護福祉士2名、看護補助4名、看護事務1名

【概 要】

病床数：44床

診療科：西側：小児科、成人女性 東側：COVID-19陽性者・疑似症患者

2018年7月に小児科病棟と救急病棟が合併。西側と東側が統合され、新たな病棟として運営開始。西側は、小児(全科対象)、成人の女性患者を受け入れている。

東側は、病棟編成当初は全科対象(重症患者を除く)で、夜間の入院を受け入れる一泊入院の病床で、入院の継続が必要な場合は翌日専科へ転棟の調整をしていた。

2020年、COVID-19の発生により、東側はCOVID-19関連患者を受け入れる病棟となった。感染状況に応じて病棟編成が適宜行われ、東西病棟の病床数変更や他部署からの応援者の人員配置など、それらに伴った運営・管理を行っている。

当病棟は年齢も疾病も様々な患者が入院されるため、スタッフひとり一人が看護力と技術力が高められるよう、定期的に勉強会を行い、治療や看護に活かしている。

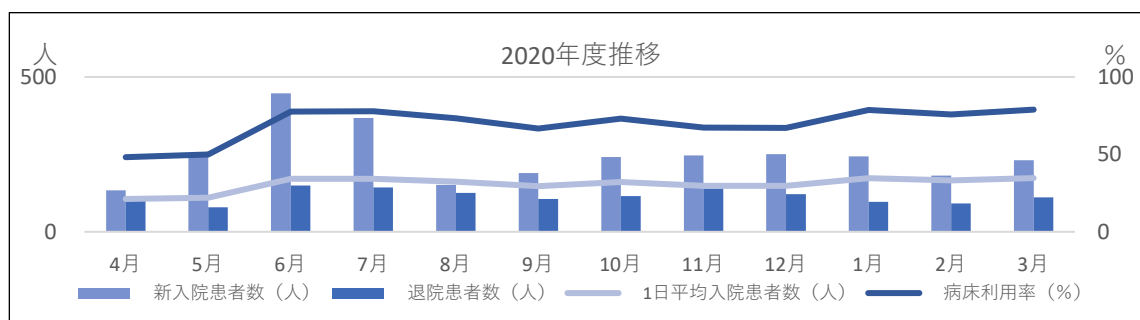
また、COVID-19に加え、小児も感染症疾患の患児も多く、感染予防対策に努めている。

患者・家族の気持ちに寄り添う看護を心がけ、安心・安楽な入院生活を提供できるよう取り組んでいる。

【目 標】

- ① 院内感染対策に対する意識の向上と、手指衛生の5つのタイミングの完全遵守
- ② 転倒・転落防止に関する意識の向上と、安全対策の強化を図る
- ③ 褥瘡発生防止対策の強化
- ④ 計画的退院へ向けて多職種と情報を共有し、連携の強化を図る
- ⑤ クリニカルラダーシステムに沿った教育計画に自主的に参加する

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	21.2	22.0	34.2	34.3	32.3	29.4	32.2	29.7	29.6	34.6	33.3	34.7
新入院患者数(人)	134	252	447	368	151	190	241	247	251	244	181	231
退院患者数(人)	100	79	149	143	126	106	115	140	122	97	92	111
病床利用率(%)	48.2	49.9	77.7	77.9	73.3	66.7	73.1	67.4	67.2	78.7	75.7	78.9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	7.0	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0
看護必要度(%)	14	17	20	28	19	34	40	38	46	41	28.0	29

【2020年度の取り組み・実績】

本年度は、COVID-19感染者の状況に応じた病棟編成が何度かあり、それらに対応した運営/管理を行った。

東側の運用では、自部署だけではなく他部署からの応援体制がとられたが、応援者は2-3ヶ月で入れ替わる為、スタッフが安心・安全に業務できるためのオリエンテーションや教育の実施・情報共有に努めた。しかし、統一した教育ができなかったため、マニュアルや教育システムを構築することが今後の課題となった。

COVID-19だけでなく小児では感染症疾患も多いため、感染予防対策を徹底し院内感染が発生しないよう努めた。

小児科ではPEWS(小児早期警告スコアリング・システム)の導入が決まり、システム構築から始め運用開始。

実際の運用では病棟のQI指標に掲げ、啓蒙活動を行い、スタッフ皆で取り組むことができた。

【今後の課題・展望】

- ・小児科/急性期の全領域の疾患に対応できる看護力と技術力の向上
- ・自己学習意欲を高め知識/技術を向上させる
- ・COVID-19についての知識向上に努め、患者家族にとって安全/安心な看護を提供できる
- ・感染予防対策の徹底
- ・応援スタッフへの教育システムの構築
- ・患者・家族を尊重した看護を提供

【9階東病棟】

【部署長】 看護主任（師長代行） 山川 敦子

【人 員】 看護主任1名 看護副主任1名 看護師23名 准看護師1名 介護福祉士3名
看護補助3名 看護事務1名

【概 要】

病床数：44床

診療科：呼吸器内科 眼科 消化器内科 一般内科

9階東病棟は、平成30年7月より、旧8階東病棟が移動となり、新しい病棟として稼働開始となりました。専門診療科は、呼吸器内科、眼科、一般内科で、2021年3月より新たに消化器内科も受け入れています。

呼吸器科では、誤嚥性肺炎の入院が最も多く、急性期から慢性期・終末期までの幅広い看護の展開と、退院支援を含むチーム医療の推進に心がけ日々看護を実践しています。

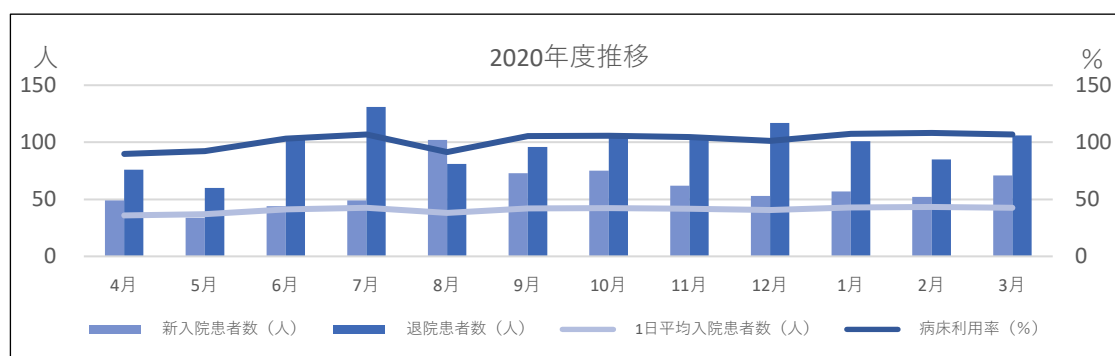
眼科では白内障や斜視の術前・術後看護に力を入れています。

消化器内科では急性期から慢性期までの消化器疾患（急性膵炎・消化管出血・肝硬変）のあらゆる患者が入院し、内視鏡検査やERCP等の処置対応や苦痛の緩和に努めています。

【目 標】

- ① 患者・家族・医療スタッフとの信頼関係を築き、互いに協力し合える職場環境を構築する
- ② 専門的知識・技術向上を図り、患者のニーズに合った、患者教育・退院指導ができる
- ③ 入院時より他職種と連携を取り、日常生活動作の維持・拡大と退院に向けての支援を行う
- ④ 専門職としての責任と自覚を持ち、知識・技術を深め自己啓発に努める
- ⑤ 接遇の強化を行う

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	35.9	36.9	41.3	42.7	38.0	42.1	42.2	41.8	40.5	43.0	43.3	42.7
新入院患者数(人)	49	34	44	49	102	73	75	62	53	57	52	71
退院患者数(人)	76	60	104	131	81	96	106	103	117	101	85	106
病床利用率(%)	89.8	92.2	103.3	106.9	91.5	105.3	105.6	104.6	101.2	107.4	108.2	106.7

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	23.0	22.0	21.0	20.0	18.0	17.0	17.0	17.0	16.0	17.0	18.0	18.0
看護必要度(%)	26	38	26	20	22	21	18	23	18	23	31	21

【2020年度の取り組み・実績】

今年度は、感染力の強い新型コロナウイルスが猛威を振るい、医療が危機的状況になっていることから、病床が逼迫している現状であった。そのため、早期からの退院調整支援が必要でMSWや多職種と連携を図り、病床コントロールを行うことができた。

病棟スタッフは新人からベテラン、子育て世代と年齢層は幅広く、新型コロナ感染拡大の影響で、沖縄県内緊急事態宣言発令による公立学校の休校や体調管理不足もあり、急な病休から時間外に繋がることも多かった。

日頃より様式9を意識して、毎週木曜日の白内障手術日にスタッフを多く配置し、安全な術後管理に取り組む事ができました。

スタッフ教育に関しては、呼吸器内科病棟として呼吸療法士の資格取得に向けて必要な講習は、3名参加し点数を確保することができた。次年度、3名のスタッフが呼吸療法士資格試験を受け、呼吸器内科病棟としての看護の質向上に取り組み、スタッフ教育に活かしていきたいと考えています。

【今後の課題・展望】

- ・2021年3月より、消化器内科病棟も9階東病棟の診療科に加わったため、消化器内科としての病棟内での勉強会を企画し、知識・技術の向上に向けて取り組んでいく
- ・時間外の削減に向けて、業務改善を行い、有給取得率の向上を目指す
- ・働き方改革を推進する
- ・コロナ感染拡大防止の観点から、手指衛生の遵守率の向上を目指し、患者に安全な医療の提供を目指す

【9階西病棟】

【部署長】 看護師長 ジョンソン美智子

【人 員】 看護師長1名、看護副主任1名、保健師1名 看護師23名 介護福祉士5名
看護補助2名 看護事務1名

【概 要】

病床数：44床

診療科：血液内科 一般内科

当病棟は、血液内科、一般内科の治療とする患者を受け入れている。大部屋：22床、重症個室：4床、一般個室：11床、準クリーンルーム：4床、クリーンルーム：1床が設けられており、化学療法や輸血治療などの看護実践を行っている。

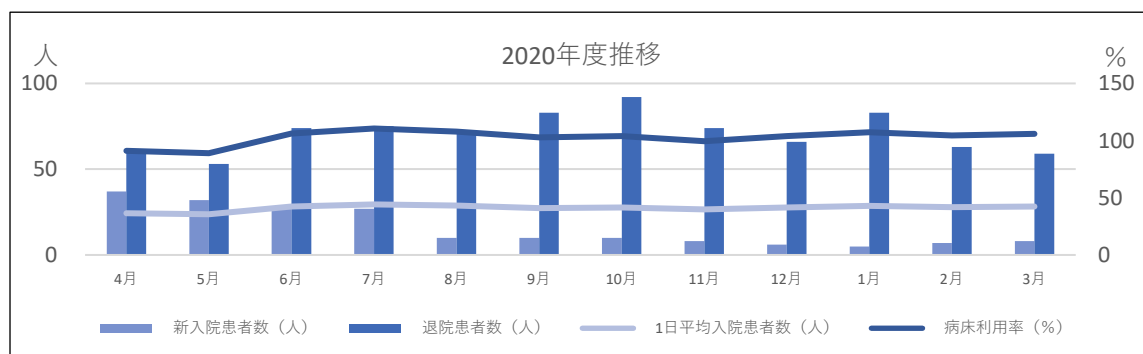
血液内科病棟にて、感染予防の観点から新規入院は血液内科の患者のみとして、患者に安心した主に他病棟からの転床受け入れにて、病床コントロールを行っている。

医療・看護の充実を図り、検査、治療の提供が出来るよう取り組んでいます。

【目 標】

- ① 医療安全・院内感染の意識を高め安心と安全な看護を提供します
- ② 患者様の治療、ケアに対しての責任を持ち、心を込めて寄り添う看護を提供します
- ③ 入院時より退院へ向けて、計画的退院調整ができるよう関わって行きます
- ④ 専門職として能力を高め、質の高い看護を提供します
- ⑤ 患者様の尊厳を守り、接遇の更なる強化を図ります

【2020年度病棟稼働状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均入院患者数(人)	35.9	36.9	41.3	42.7	38.0	42.1	42.2	41.8	40.5	43.0	43.3	42.7
新入院患者数(人)	49	34	44	49	102	73	75	62	53	57	52	71
退院患者数(人)	76	60	104	131	81	96	106	103	117	101	85	106
病床利用率(%)	89.8	92.2	103.3	106.9	91.5	105.3	105.6	104.6	101.2	107.4	108.2	106.7

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数(人)	25.0	26.0	24.0	25.0	27.0	27.0	26.0	25.0	28.0	30.0	31.0	32.0
看護必要度(%)	29	33	29	29	15	12	13	15	18	15	14	14

【2020年度の取り組み・実績】

2019年度より準無菌室の開設を行い、血液内科患者の化学療法の件数増加、スキルチェック表をもとにスタッフの教育、指導プログラムの作成を行った。スキル評価の分類としてG1、G2、G3の3グループに編成されており医師、師長、主任、リーダーを交えてグループ決定を行っている。G1：主としてケモの管理できる。G2：指導をうけてケモの管理ができる。G3：ケモの補助ができる G1：9人 G2：4人 G3：17名の構成となっている。

昨年度は、血液疾患患者のインフルエンザ院内感染が1事例あったことから、今年度より血液疾患患者の入院は個室収容とし感染防止対策の徹底を行った。また、スタッフの手指衛生の徹底を行い、今年度は院内感染は見られなかった。

コロナ感染拡大に伴い、血液疾患患者以外の新入院の制限を行い、他病棟からの感染リスクの低い患者の受け入れを行い病床管理の実践ができた。

個人面談において、特定行為看護師研修（栄養に関わるカテーテル管理）への資格習得希望者を選出することができた。

【今後の課題・展望】

- ① 感染予防対策の徹底
- ② 化学療法認定看護師を中心に、血液疾患における化学療法の病棟勉強会を開催しスタッフのスキルアップに取り組む
- ③ 効果的な無菌室、準無菌室の稼働を目指していく
- ④ 特定行為看護師研修参加者への実務研修への勤務調整を行い、資格取得を目指していく

【医療安全管理室】

【令和2年度（2020年）総括】

医療安全管理室はヒヤリハット・事故報告の管理・運用、職員研修の企画・運営、安全情報の提供、医療事故防止マニュアルの周知徹底などが主な業務であり、各種委員会、医薬品・医療機器安全管理者等と連携して医療安全管理や推進活動を行ってきました。

令和2年度はヒヤリハット（GoodCatch）・事故報告例の原因分析と予防策の検討、各部署の医療安全に関する問題提起とその対策の検討と実施、安全ラウンドでの指摘事項への改善確認などを実施しました。

【スタッフ】

医療安全管理室長：宮城 和史（外科統括部長、副院長）

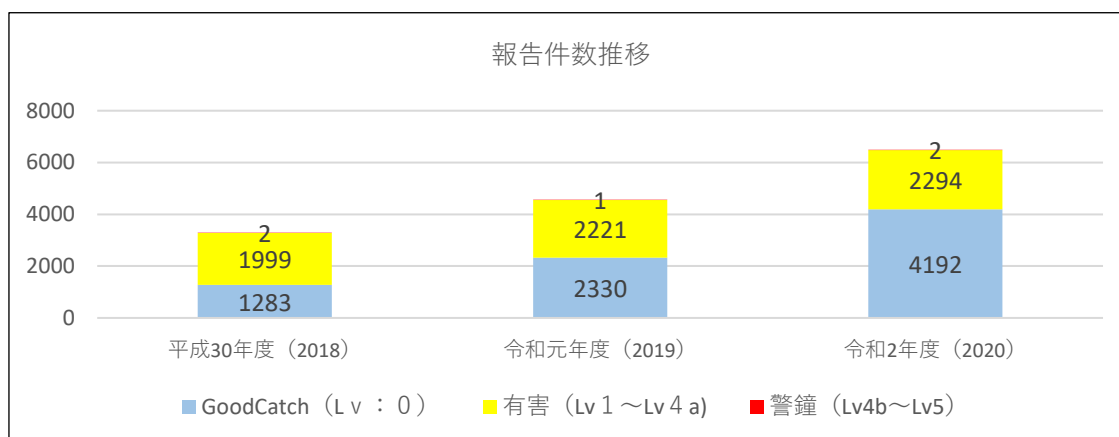
医薬品管理者：喜多 洋嗣（薬局長）

医療機器安全管理：仲地 勝弘（臨床工学技士長）

専従医療安全管理者：外間 千春（看護師長）

【年度別GoodCatch（ニアミス）、事故報告の件数】

	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
GoodCatch (Lv : 0)	1283	2330	4192
有害 (Lv 1 ~Lv 4 a)	1999	2221	2294
警鐘 (Lv4b~Lv5)	2	1	2



【令和2年度ヒヤリハット、事故報告の種類別件数】

種類	件数	種類	件数
転倒転落	1073	表皮トラブル	382
検査	257	輸血	22
ラインチューブ類	795	指示エラー	64
薬剤	3029	患者間違い	299
食事	77	治療処置	186
医療機器	138	無断離院	37
タイムアウト	23	申し送り	21
麻薬（管理薬）	38	その他	196

【今後の課題・展望】

- ① 医療事故を防止し、医療の質の向上を図る
- ② 医療事故防止マニュアルの改訂
- ③ コロナ過で困難であった、医療安全対策に関する他の医療機関との連携の調整・実施
- ④ レベル0、1の報告から現状分析し、早期に対応することで有害事象への発展を防ぐ

インシデント報告数の推進の為に、レベル0をGoodCatchとネーミングし、報告を推進したことで、年々報告数の増加が見られました。報告されたニアミス事例から、報告数の多い項目から現状分析し早期に対策、システム化、手順を確認し対策していくことで、有害事象への発展を減少させる取り組みを行います。

(特に報告数の多い、薬剤関係、転倒転落、ラインチューブ類など)

【感染対策室】

【令和2年度（2020年）総括】

2020年度はCOVID-19の流行によって、感染対策が大きな役割を担った。感染管理の目的として患者さん・医療従事者訪問者を守ることが挙げられ、感染拡大を防止するためにCOVID-19対策のPPEの着脱を含めた標準予防策の徹底に努めた。

耐性菌をはじめとした医療関連感染対策は重要であり、病院長直下機関としてICC（院内感染対策委員会）を組織し実動部隊としてICT（感染制御チーム）、感染リンクスタッフが感染対策活動を行っている。耐性菌やデバイス関連感染SSI（手術部位感染）サーベイランスを実施し、日常の感染症発生状況を把握しアウトブレイクの早期発見に努めている。また、手指衛生サーベイランスを実施し、普段の感染対策状況を評価している。

感染制御チームメンバー

委員長（医師）：渡慶次 賀博

医師：新里 勇二、轟 純平

看護師：喜友名 秀俊、與古田 美智代

薬剤師：仲村 亮太

検査技師：下地 翼、西 航

1、感染管理システム

- ① 感染対策委員会・感染リンクスタッフ会・ICT委員会・AST委員会（各12回/年開催）
- ② 感染制御チームラウンド（病棟環境ラウンド：毎週実施）
- ③ 抗菌薬適正使用ラウンド（毎週実施）

2、サーベイランス

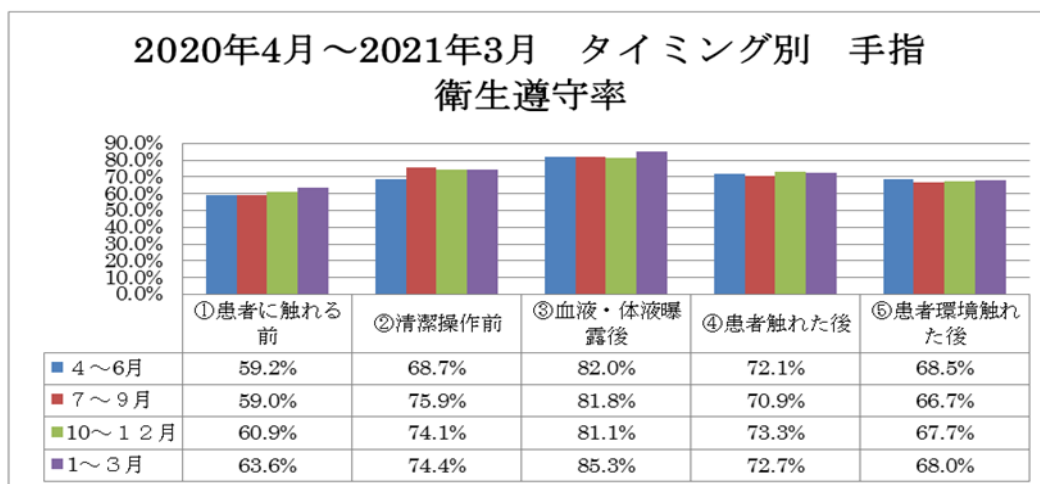
① 耐性菌サーベイランス

	2019年度			2020年度		
	持込	院内発生	発生密度率	持込	院内発生	発生密度率
MRSA	174	66	0.51	105	65	0.52
ESBL	165	56	0.43	149	33	0.26
CRE	26	15	0.12	12	14	0.11
C.difficile toxin	15	11	0.08	5	12	0.09

② 流行性サーベイランス（COVID-19）

年度	職員	患者（入院）	備考
2020年度	8名	1名	患者は持ち込み、職員の院内発生は4件

③ 手指衛生サーベイランス



3、 感染管理教育

日時	対象	内容	参加数	講師
2020年4月2日	新入職員	標準予防策、職業感染予防、感染性廃棄物、感染経路別予防策、汚染リネン、身だしなみ	96名	與古田 美智代
2020年4月5日	新入職員(看護部)	手指衛生、PPEの着脱、職業感染予防	43名	喜友名 秀俊 與古田 美智代 感染リンクナース
2020年5月～6月	全職員	Eラーニングにて開催 ゾーニングとフル PPE の着脱方法	843人	喜友名 秀俊
2020年7月～8月	医師、看護師、薬剤師、検査技師	Eラーニングにて開催 バンコマイシン TDM	461人	仲村 亮太(薬剤師)
2020年10月～11月	全職員	Eラーニングにて開催 標準予防策	851人	Safetyplus
2021年1月	全職員	Eラーニングにて開催 COVID-19	910人	琉球大学呼吸器内科 仲村 秀太先生

【今後の課題・展望】

- ・耐性菌に関しては前年度と同程度であり、手指衛生遵守率を向上し低減する必要がある
- ・手指衛生遵守率は向上しているが、「患者に触れる前」のタイミングが低いため今後の課題である。
- ・今年度はCOVID-19を中心とした研修を多く取り入れた。患者さんの院内発生は0件であったため、研修の効果はあったと評価する。しかし、職員の院内発生が4件発生したためPPEの着脱の強化、職員間の交差感染予防を強化する必要がある。

【褥瘡対策チーム】

【褥瘡専従管理者】 看護師長 外間美智代

【人 員】 専任医師1名、看護師長1名、褥瘡リンクナース22名

【2020年度総括】

チーム活動として、入院患者すべてにおいて褥瘡リスクアセスメント実施と褥瘡リスクの高い患者への診療計画書の実施及び評価を実施。

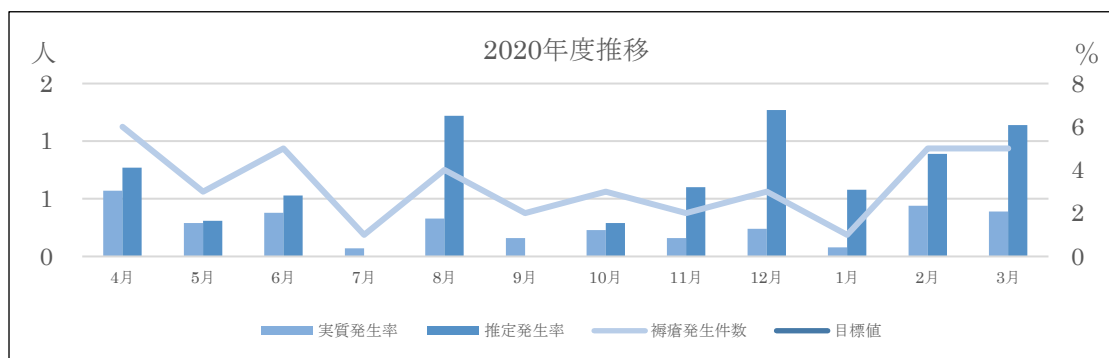
定期的に専任医師と褥瘡管理者、褥瘡リンクナース、薬剤師、栄養士、と褥瘡回診を行い適切な治療の提供と予防介入に努めてきた。また院内褥瘡発生を軽減させるため、褥瘡回診やカンファレンスを通して知識・技術の向上を図ってきた。

さらに、コロナ禍において集合研修が実施できず、e-ラーニングによる褥瘡予防対策研修を行い、少人数での演習研修を実施してスタッフのスキル向上を図ってきた。

【目 標】

- ① 体圧分散用具の充足率90%以上にする
- ② 褥瘡推定発生率を0.4%以下にする
- ③ カンファレンスを行い褥瘡に対する知識・技術を習得する
- ④ 褥瘡対策研修会の企画・運営をおこない、スタッフの褥瘡に対する知識・技術の向上を図る。

【2020年度褥瘡発生状況】



① 月別発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
褥瘡発生件数	6	3	5	1	4	2	3	2	3	1	5	5
実質発生率	0.57	0.29	0.38	0.07	0.33	0.16	0.23	0.16	0.24	0.08	0.44	0.39
推定発生率	0.77	0.31	0.53	0	1.22	0	0.29	0.6	1.27	0.58	0.89	1.14
目標値	0.4											

② 病棟別発生状況

2020年度	ICU	HCU	5E	5W	6E	6W	7E	7W	8F	9E	9W
褥瘡発生件数	4	1	4	6	1	3	0	3	4	3	3

【2020年度の活動・実績】

- ・毎月第4木曜日に褥瘡対策委員会を開催し、院内褥瘡発生件数の周知、症例検討報告を実施、さらに院内の褥瘡対策研修会の企画・運営を行いコメディカルの参加率が低かった。
- ・褥瘡回診は第1～4水曜日14：30から実施し、DESIGN-R評価や治療方法について専任医師と検討を図り褥瘡予防対策の指導を実施できた。
- ・回診後に症例検討会を実施し褥瘡リンクナースのスキル向上を図ってきたが褥瘡推定発生率は0.62%となり目標達成できなかった。
- ・体圧分散用具はエアマットレスのリース等により充足率95%となった。

【今後の課題・展望】

- ・褥瘡研修の参加率の向上とスタッフ個々のスキルアップのためにOJT教育の強化を図る。
- ・各部署のリンクナースのスキル向上を目指し、褥瘡リンクナースの育成強化を図る。

コメディカル報告

【薬剤部】

部署長：喜多洋嗣（薬剤部長）

人 員：薬剤師41名（常勤41名）

事務2名（常勤2名）

助手5名（非常勤5名）

概 要：外来調剤業務

処方監査、外来患者への、医薬品の調剤、監査、交付。

入院調剤業務

処方監査、入院患者への、医薬品の調剤、監査、交付。

院内製剤業務

院内規定に基づいて、特殊医薬品の調製。

定期処方管理業務

定期処方の処方設計、持参薬から当院処方への変更等を、医師と協働で行う。

抗がん剤混注業務

安全キャビネットを使用した、徳洲会グループ統一レジュメン、または院内キャンサーボードが定めるレジュメンに従った注射用抗がん剤及び免疫抑制剤のミキシング。

無菌製剤業務

クリーンベンチを使用した、ブドウ糖換算で10%濃度を超える高カロリー輸液のミキシング。

外来薬剤管理指導

インスリン、その他血糖調整薬、成長ホルモン、免疫抑制薬、骨粗鬆症治療薬、エピネフリン製剤などの自己注射指導、吸入指導、自己血糖測定指導、ピークフローメーター指導。

病棟薬剤管理指導業務

入院患者への、薬物療法に関する教育や服薬指導、薬効発現、副作用、相互作用、中毒症状、コンプライアンスなどに関する情報収集、薬物療法の管理、持参薬の管理、泌尿器科との合同回診。

I C U業務

I C U専任薬剤師による、I C U患者の服薬指導、薬効発現、副作用、相互作用、中毒症状、コンプライアンスなどに関する情報収集、薬物療法の管理、持参薬の管理、I C Uカンファレンスへの参加

抗菌薬適正使用支援業務

感染対策委員会と連携して、抗菌薬の使用状況の把握、抗菌薬適正使用のガイドライン作成、A S T回診。

栄養管理支援業務

N S Tと連携して、医薬品による栄養管理の情報提供を行う。

TDM解析業務

注射用塩酸バンコマイシン、テイコプラニン注射液などの血中濃度解析。

医薬品情報管理業務

添付文書の改訂、安全性情報などの医薬品情報の電子カルテへの掲載や資料配付、医薬品集作成、薬局新聞の作成。

医薬品安全管理業務

医薬品関連インシデントの解析、安全対策の検証と啓蒙。

薬品管理業務

薬事委員会開催、医薬品の購入、品質や期限の管理、用事購入管理、徳洲会本部への採用依頼の提出、棚卸し。

目 標：E Rにおける薬剤師常駐による救急外来業務の支援

緩和チームにおける薬剤師業務の拡充

抗菌薬適正使用支援業務の拡充

研修センター認定資格の取得

専門、認定資格の取得

C R C薬剤師の育成

コロナワクチン業務の支援

2020年度の取り組み・実績：

フォーミュラリの導入による持参薬の処方支援を行うようになった。それにより、入院処方の50%以上を薬剤師が処方支援するようになり、安全の向上や医師の業務負担軽減に貢献した。また、コロナ禍、コロナ治療薬の情報管理、医薬品の調達にも貢献した一年であった。

外来処方箋枚数：193.3枚／日

入院処方箋枚数：198.1枚／日

入院注射調剤本数：710.4本／日

病棟薬剤管理指導件数：2140.0件／月

外来化学療法混注件数：233.9件／月

学術業務：日本医療薬学会、日本緩和医療薬学会、日本中毒学会、日本臨床栄養代謝学会総会、日本腎薬物療法学会、徳洲会中毒研究会、徳洲会糖尿病研究会、徳洲会オンコロジー実務者会議、医薬品安全管理研修会2020年度、徳洲会薬剤部臨床業務研究会主催研修会、2020年度放射性医薬品取扱いガイドライン講習会、日本臨床救急医学会学、くすりと糖尿病学会、日本化学療法学会、徳洲会薬剤部会救急薬剤師研究会

【放射線部】

部署長：當山賢（技師長）

人 員：放射線科医師2名、診療放射線技師34名、助手1名。

概 要

1 階

RI室（SPECT装置：シーメンス Symbia Evo Excel）

2 階 放射線部

撮影室1番（TV：島津 SONIALVISION G4）

撮影室2番（骨塩定量：東洋メディック HOLOGIC DISCOVERY C）

撮影室3番（一般撮影：島津 RAD speed、パノラマ装置：朝日レントゲン Hyper-G/CM）

撮影室4番（一般撮影：キャノン MRAD-A80S/10）

撮影室5番（CT：キャノン Aquilion ONE 320列）

撮影室6番（CT：キャノン Aquilion PRIME 80列）

撮影室7番（一般撮影：キャノン MRAD-A80S/10）

撮影室9番（MRI：GE横河 SIGNA Explorer 1.5T）

撮影室10番（MRI：シーメンス MAGNETOM VERIO 3.0T）

3 階 健診センター

胸部一般撮影室（キャノン MRAD-A50S/25）

TV室（キャノン Plessart 50）

マンモグラフィ室（シーメンス MAMMOMAT Fusion）

3 階 女性外来

マンモグラフィ室（シーメンス MAMMOMAT Inspiration）

3 階 内視鏡室

TV室（キャノン ZEXIRA）

4 階 手術室・血管造影室

心カテ室1番（キャノン Infinix Celeve-I INFX-8000V）

心カテ室2番（島津 Trinias C8/F8）

アンギオ室1番（シーメンス Artis zee BA TWIN）

手術室10番（CT：シーメンス SOMATOM Definition AS 128列、
血管造影：シーメンス Artis zeego）

外科用イメージ（島津 OPESCOPE ACTENO 2台、東洋メディック Biplanar 500e 1台、
シーメンス ARCADIS Avantic 1台、）

ポータブル撮影装置（島津 MobileArt Evolution32 2台）

目 標：撮影技術の向上と新しい技術の取得。
透視検査担当技師・MRI検査担当技師の育成。
放射線科医師の増員。

2020年度の取り組み・実績：

2011年から稼働した内視鏡室透視撮影装置を日立:CUREVISTAに更新。
ポータブル撮影装置 FUJI:CALNEO AQR0を新規に1台導入。
医学物理士に1名合格。

実 績：単純撮影：59458件（健診胸部：12195件、マンモグラフィ：3090件）
ポータブル撮影：8756件
骨塩定量検査：3070件
UGI：1842件（健診UGI：1828件）
CT単純：29477件。CT造影：4169件。
冠動脈3D-CT：693件。 3D-CT処理：4055件。
MRI単純：9103件。MRI造影：815件。
心臓カテーテル検査：1196件（PCI:655件）
その他血管造影検査：334件（IVR:322件）
核医学検査：663件

【臨床検査部】

部署長：伊波敬（技師長）

人 員：総数38名

主任5名（検体3名・生理2名）

副主任8名（検体6名・生理2名）

一般検査技師24名

助手2名

概 要：外来採血室／月～金7：30～19：00

土7：30～12：30

検体検査室／24時間体制（当直制）

検査項目：尿一般、血液、生化学、免疫血清、ホルモン検査、輸血検査、細菌検査、病理検査解剖介助

生理検査／月～金7：30～20：00

土7：30～13：00

超音波検査。精密呼吸機能検査、心電図検査、運動負荷検査(TM)、ホルター心電図検査(解析)、ABI検査、脳波検査、誘発電位

目 標：患者様サービスの向上（エコー、検体検査の時間短縮）

信頼される検査室（検査結果の継続的な質の確保）

2020年の取り組み・実績：

- ・新規採用者に向けての病院採用案内を全国学校に送付
- ・病院取組のJCI取得に向けての作業
- ・検査部の体制構築
- ・（日臨技、沖縄県医師会、日本医師会）精度管理調査参加
- ・認定技師資格取得 超音波検査 4名取得
- ・内外の応援体制の強化
- ・COV19の院内検査対応

導入機器

全自動遺伝子解析装置 SmartGene(COV19 対応用 1台)

遺伝子分析装置 (TRC-)

【臨床検査部・病理診断科】

部署長：伊波敬（技師長）

病理医：小川 真紀

人 員：病理診断科4名（2021年2月より3名）

概 要：病理検査解剖介助

目 標：検査件数・解剖件数の増加

2020年の取り組み・実績：

剖検実施件数：5件

◎各種検査数

2020	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検体	13947	14962	15396	1623 7	15621	16305	15401	14536	15271	14820	12995	13371	178863
心超 音波	1026	999	971	995	970	916	890	779	807	759	709	708	9569
腹超 音波	2786	2858	2801	3072	3192	2793	2996	2743	3052	2888	2499	2522	34202
行政 PCR	0	8	11	252	745	563	637	475	514	888	416	515	5024
COV TRC	0	2	4	0	137	81	193	283	257	332	131	342	1762
迅速 PCR	0	0	0	0	0	45	69	58	92	131	119	195	709

◎病理検査数

2019	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病理 検査	241	233	343	423	326	291	345	301	314	291	266	340	3714
細胞診 検査	163	215	336	375	370	405	479	433	548	456	414	444	4638

【臨床工学部】

部署長：仲地 勝弘

人 員：臨床工学技士29名、事務職1名

学会認定

透析技術認定士3名

認定血液浄化臨床工学技士1名

3学会合同呼吸療法認定士3名

4学会合同体外循環技術認定士3名

不整脈治療専門臨床工学技士1名

概 要：臨床工学部は2020年4月に1名の新入職者を迎え臨床工学技士は29名となりました。業務量は不整脈治療領域や医療機器管理などを主に増加傾向となりました。手術室業務では日曜待機態勢やNO吸入などを導入し、業務の幅も広がっています。また今年度はCOVID19の影響により、緊急手術や呼吸療法などすべての業務で多難を伴うも、大きな支障なく業務を遂行することができたことは、スタッフ一人ひとりの心がけと行動の賜物であり、感謝の尽きない一年となりました。

業務内容：1. 臨床支援業務

- ・血液浄化業務
- ・集中治療・呼吸療法関連業務
- ・医療機器管理業務
- ・手術室関連業務
- ・高気圧酸素治療業務（第Ⅰ種装置）
- ・人工心肺を含む体外循環業務
- ・心臓カテーテル治療関連業務
- ・不整脈治療関連業務（植込み型含む）
- ・内視鏡関連業務
- ・24時間常駐体制（準深勤務）と緊急手術に対するon call体制
- ・関連施設の応援

部署目標：①良い医療の提供 ②安全な医療の提供 ③医療技術の向上

実績：（臨床工学技士が従事した業務件数）

- ① 血液浄化業務：24000件
- ② 高気圧酸素治療業務：861件
- ③ 医療機器管理業務：32225件
- ④ 心臓カテーテル関連業務：805件
- ⑤ 不整脈治療関連業務：3480件
- ⑥ 体外循環業務：119件
- ⑦ 手術支援関連業務：886件
- ⑧ 呼吸療法業務：2496件
- ⑨ 内視鏡関連業務：12119件

その他活動：委員会活動

- ・医療安全管理委員会
 - ・医療機器安全管理委員会
 - ・透析機器安全管理委員会
 - ・RST委員会
 - ・医療ガス安全管理委員会
 - ・FMS委員会
- 学会発表

【栄養管理部】

人 員：管理栄養士8名、栄養士2名
管理栄養士副主任2名、栄養士副主任1名
NST専従1名、ICU専任2名、入退院サポートセンター所属1名
調理師16名、厨房員4名、食器洗浄員4名

概 要：病棟業務

- ・栄養アセスメント、栄養評価、プランニング（経管栄養調整、食事内容調整）
- ・栄養管理計画書作成
- ・栄養食事指導（個人）
- ・NST 栄養治療計画書作成、回診、カンファレンス、委員会
- ・ICU専任業務 栄養評価、回診、モニタリング記録確認

外来業務

- ・栄養食事指導（個人）

給食業務

- ・献立作成・発注
- ・約束食事箋管理・個人対応食
- ・行事食提供（子供の日、七夕、十五夜、クリスマス、正月、節分、ひなまつり）
- ・喫食調査（毎月）
- ・嗜好調査（年2回）

目 標：癌患者への食事指導の強化

ICU患者に対する早期栄養介入の充実

2020年度の取り組み・実績：

1、栄養管理実績

- ・栄養食事指導（個人・入院）加算3099件、非加算916件
- ・栄養食事指導（個人・外来）加算334件、非加算31件
- ・健診栄養指導 2564 件
- ・栄養サポートチーム加算 472 件
- ・早期栄養介入加算2119件
- ・消化器癌患者に対する入院栄養指導件数

2、地域への貢献

- ・健康講座 6 回（今年度はいずれもオンライン）

【リハビリセンター】

部署長：川崎達哉（副室長）

人 員：理学療法士：29名、作業療法士：16名、言語聴覚士：6名、助手：1名

施 設：施設基準：脳血管（I）、運動器（I）、呼吸器（I）、心大血管（I）、がん
理学療法・作業療法・言語聴覚療法養成校臨床実習指定施設
リハビリテーション室：386.65 m²、心臓リハビリ室：82.92 m²

■理学療法（PT）

急性期のリハビリテーションを積極的に展開し、患者様に質の高いリハビリテーションを提供するため、一昨年・昨年度と人員増加を図っています。これにより、患者様一人一人にリハビリテーションを提供できる時間が増え、リハビリの質の向上を図ることが出来ています。

昨年度に比べ、年間を通して外来の患者数が減少していますが、入院件数が増加しています。特に運動器リハビリテーションの割合が増え、一患者あたりの実施単位数も増加傾向にあります。外来患者数の減少分を入院へシフトすることにより、業務を補うことが出来ました。

引き続き、がん・心臓リハビリテーション・早期離床リハビリテーション（ICU）の各専門チームを中心として、多職種連携を重視した専門的なリハビリテーション医療の提供に努め、急性期からの安心安全なリハビリテーションを実施できる体制を作っていきます。

■作業療法（OT）

急性期病院での院内の働きとして、関連チームの一員として、入院、外来患者の評価・訓練・指導をはじめ、初期カンファレンス・定期カンファレンス会議への参加、リハビリテーションの計画を立て、家族指導の実施。新卒作業療法士への指導・研修、学生への作業療法臨床実習。自宅退院前の患者に対して、住宅訪問での評価・指導・助言などを行っています。

経験の浅い職員が多数在籍しているので、入院、外来患者の多種多様な疾患、症状に対応できるスタッフを育てて、患者満足度向上を目標に、職員教育を充実できるように行っています。

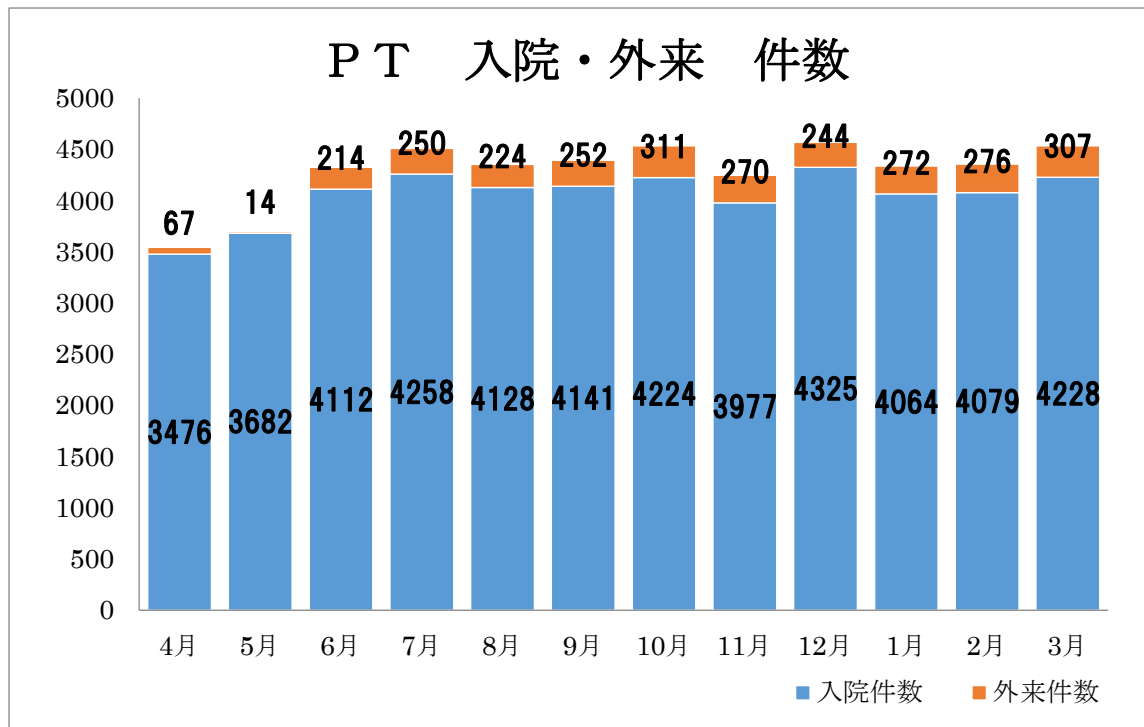
今年度より、病棟と連携してADLへのアプローチに力を入れています。より専門性を活かした取り組みで、患者様と関わっていきたいと思います。

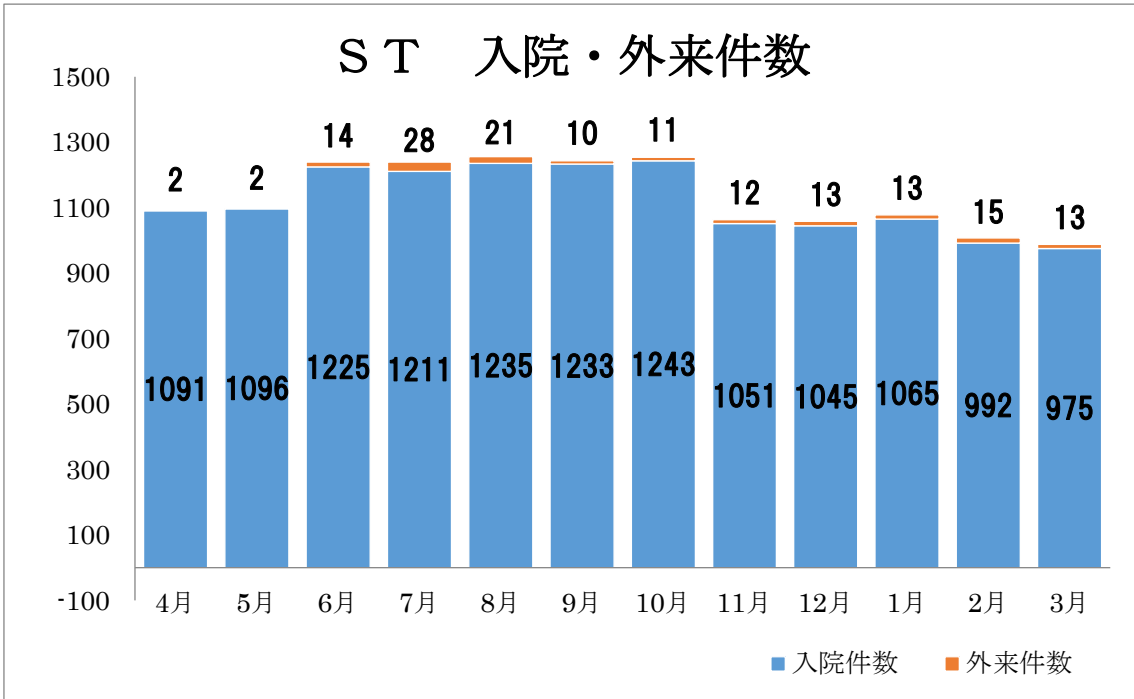
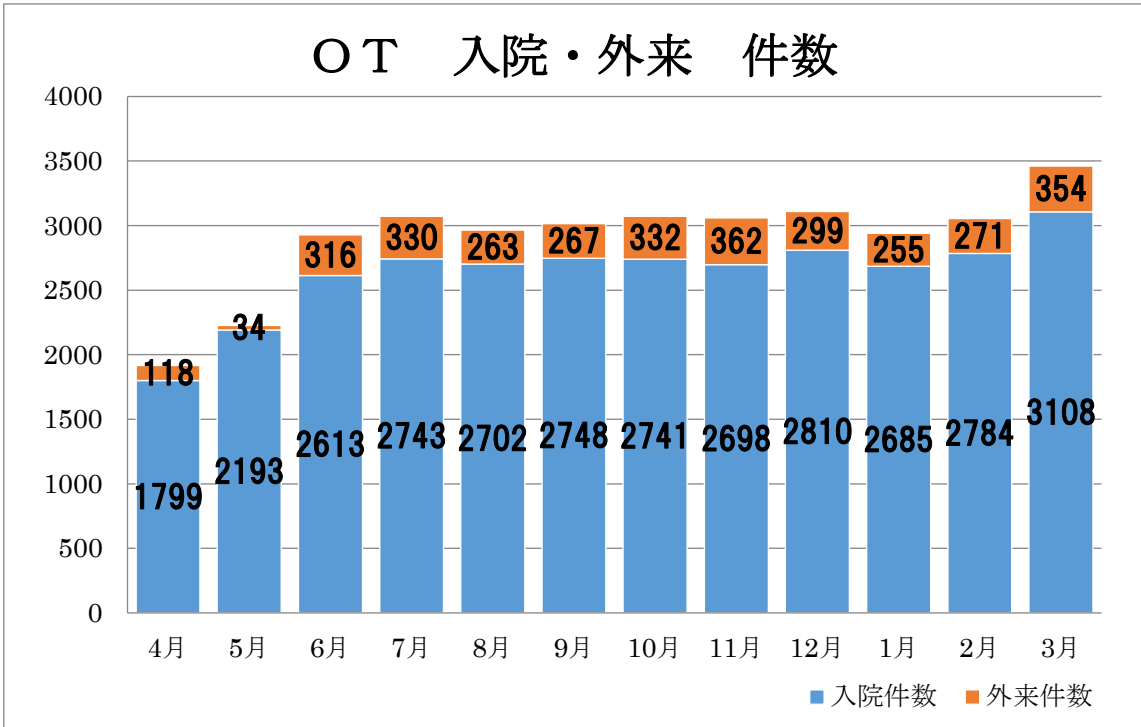
■言語聴覚療法（ST）

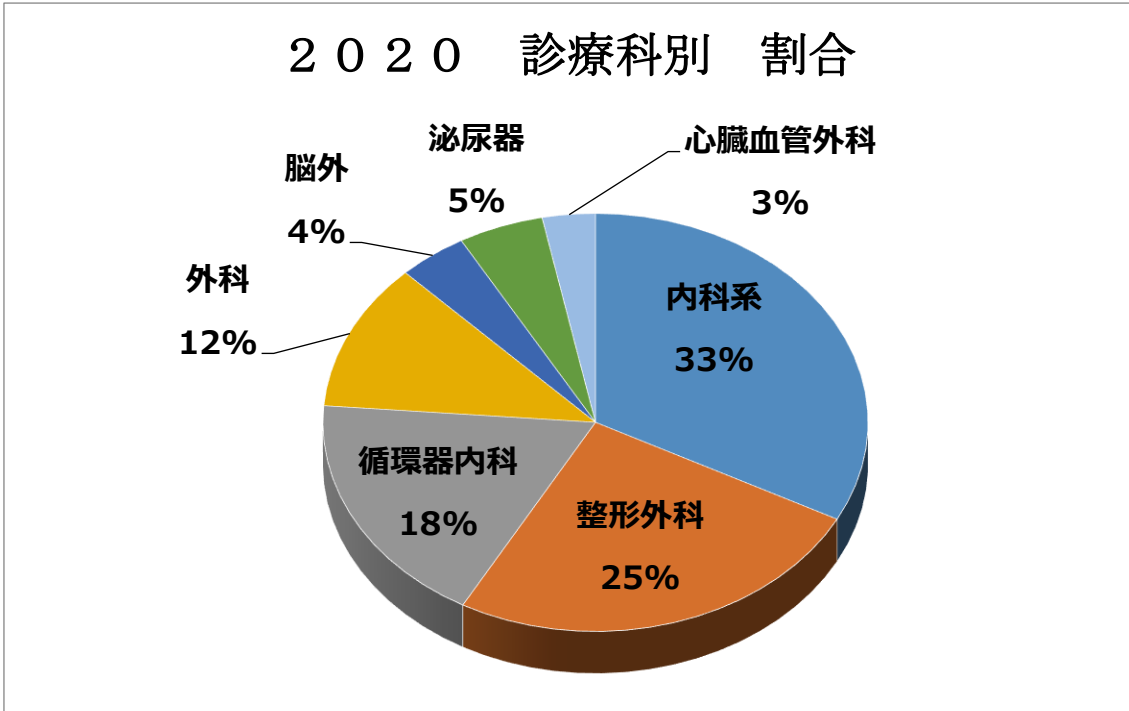
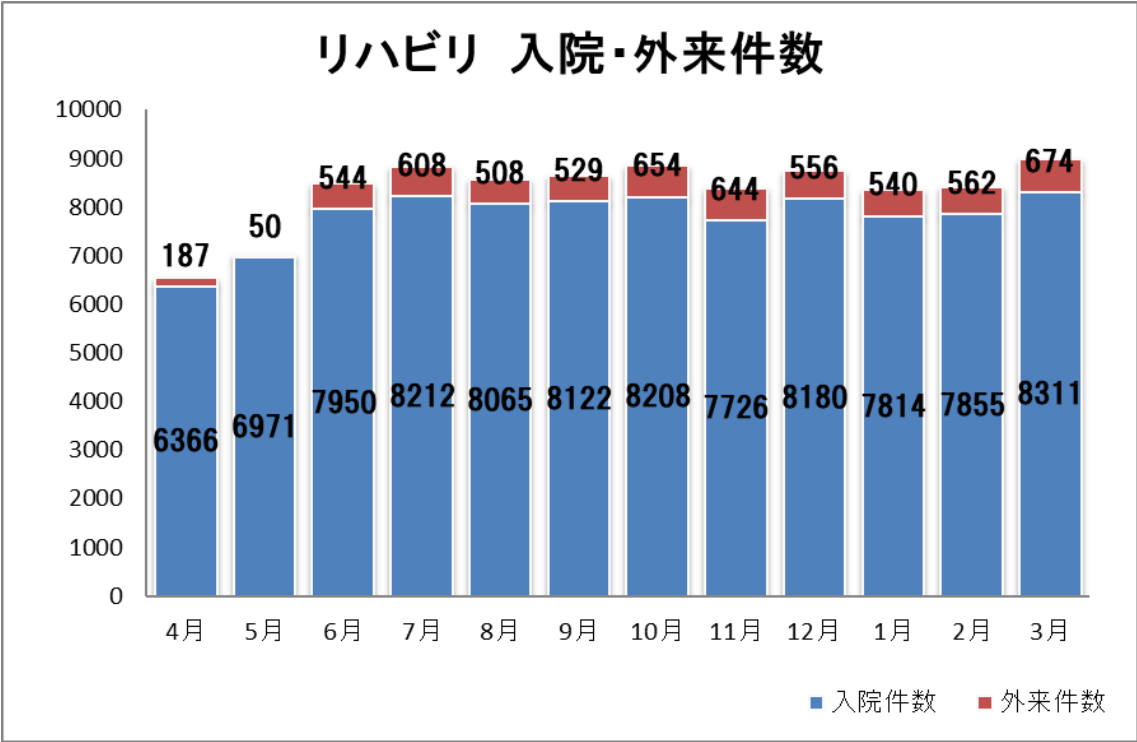
言語聴覚士は音声や言語、聴覚等のコミュニケーションに関わる様々な障害や、摂食嚥下障害のある方の評価・訓練・指導を行い、機能の回復や障害の軽減を図ります。対象とする障害には失語症・構音障害・摂食嚥下障害・高次脳機能障害・音声障害等があります。とくに嚥下に関しては発症初期からSTが介入し評価や食事の調整を行い、合併症の予防努めています。

他職種との連携も取りながら、誤嚥性肺炎の予防、安全な栄養摂取方法の確立、コミュニケーション方法の確立など患者様一人一人のニーズにあったリハビリを行っていきます。療法士の在籍人数も増加しており、互いに技術・知識の向上・共有を行い、患者様へよりよいリハビリが提供できるよう、取り組んでいきます。

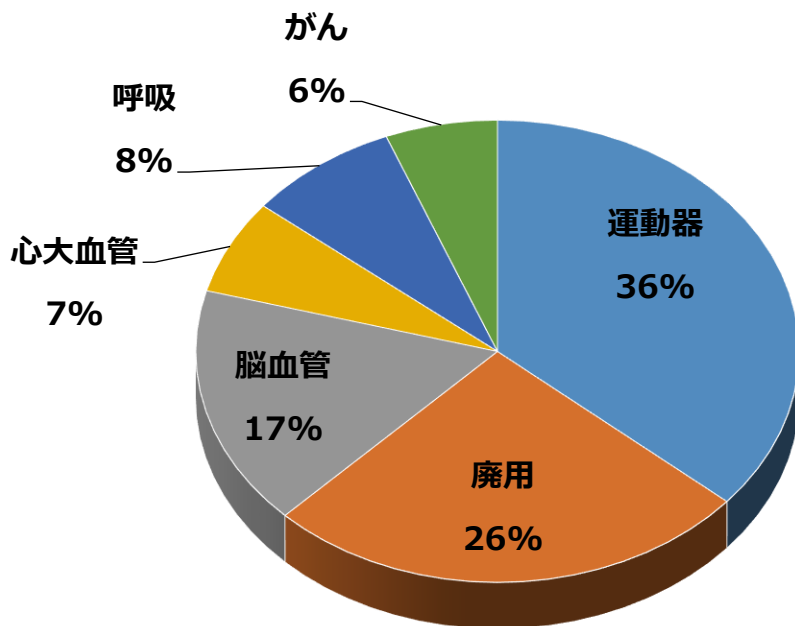
◎利用者統計（入院・外来）



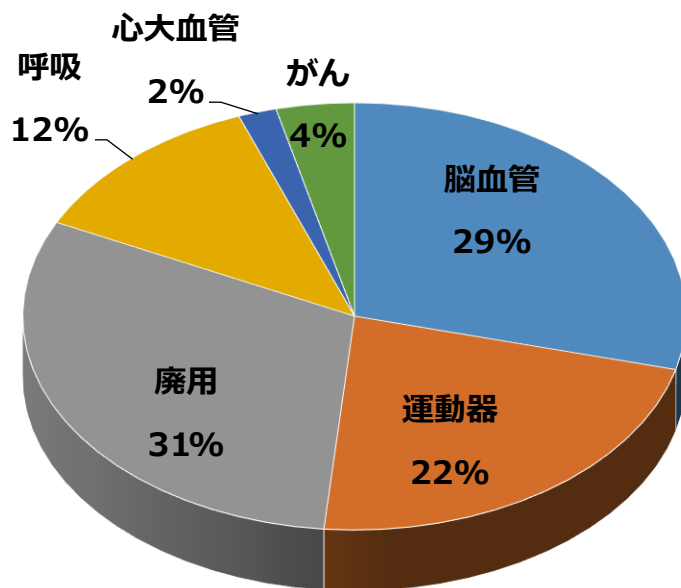




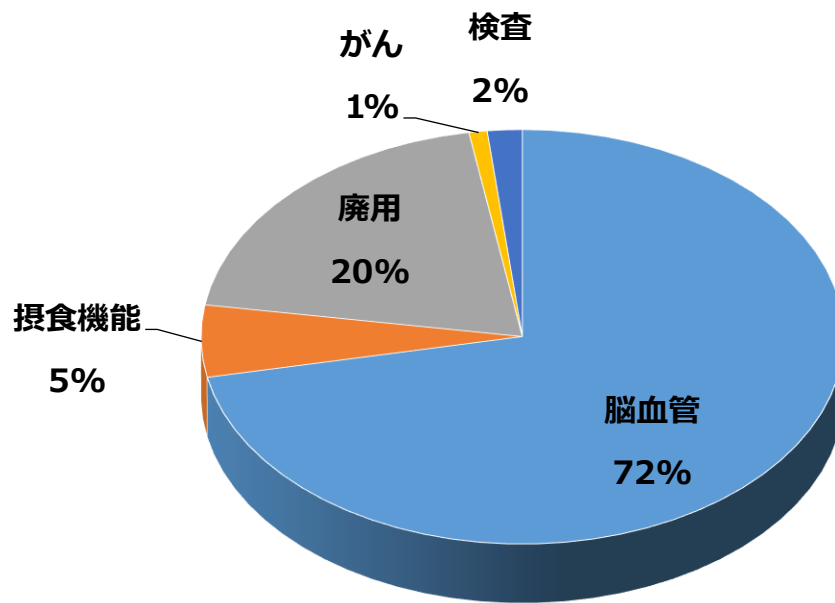
PT 算定別割合



OT 算定別 割合



S T 算定別割合



【臨床試験部】

部署長：伊禮武（治験センター長）

人 員：・CRC（専任）7名：薬剤師2名、看護師1名、臨床検査技師4名
・CRC（兼任）2名：薬剤師1名、看護師1名
・事務局1名：総務課1名

概 要：治験とは、新しい薬を開発するためにはさまざまな試験が行われ、その最終段階では人での有効性や安全性を確認する必要があります。そのための試験を「治験」といいます。「治験」は医薬品として国から承認をうけるために必要な試験で、現在使われている薬もこのような過程を経て世に出ています。

治験コーディネーター（CRC）の主な業務は被験者のケアを中心とし、治験参加のための同意取得補助、来院日程等のスケジュール管理、診察の立会い、有害事象の確認や発生時の迅速な対応、被験者の問合せに関する対応などを行います。また、検査データの収集や症例報告書の作成補助、モニタリングなどの治験依頼者の対応を行います。

事務局では主に、治験の受託から終了までの文書作成・保管管理、治験依頼者と治験担当医師との連絡打ち合わせ調整、治験審査委員会の資料作成などの事務作業を行っています。

目 標：治験業務をさらに向上させると共に臨床研究の支援も積極的に行います。また、業務全体を見直し、プロセス管理による業務の効率化と試験データの品質の向上に取り組んでいくことを目標としております。

2020年度の取り組み・実績：

2020年度は、継続中の治験5件と新規に脂質異常症の治験を開始し、新型コロナウイルス感染症関連の治験にも参加しております。また、臨床研究では、直腸癌、アルコール性肝硬変、尿路結石症などの研究やレジストリー研究に参加し、修復腎移植の徳洲会グループ共同研究も開始しております。

治験実績

	フェーズ	診療科	対象疾患	初回契約数	実施症例数	備考
2018年	Ⅲ	泌尿器科	腎性貧血	3	3	終了
	Ⅲ	泌尿器科	腎性貧血	1	1	終了
	Ⅲ	内科	慢性心不全	3	1	終了
	Ⅲ	内科	慢性心不全	8	8	実施中
2019年	Ⅱ	脳神経外科	脳梗塞	3	1	実施中
	Ⅲ	内科	うっ血性心不全	4	3	終了
2020年	Ⅱ	内科	COVID-19	12	5	実施中
	Ⅱ	内科	慢性心不全	2	0	実施中
	Ⅲ	内科	脂質異常症	4	0	実施中
製造販売後調査		高血圧症、肺高血圧症、糖尿病、抗不整脈、抗てんかん薬、抗菌薬、抗悪性腫瘍薬、脳梗塞、脳血管疾患、ステント、慢性腎臓病、抗リン血症、全身性エリテマトーデス、尿路上皮癌、関節リウマチ、白血病、潰瘍性大腸炎、クローン病、再生不良性貧血				
臨床研究		SNP解析共同研究、高血圧症、COPD、膀胱がんペプチドワクチン療法、修復腎移植、脂質異常症、糖尿病網膜症、PGx研究（ワルファリン、カルバマゼピン、タモキシフェン）、インフルエンザ、乳がん、大腸がん、胃がん、肺がん、STS（シャントトラブルスコアリング）、MEWS（修正早期警戒システム）、夜尿症、ATL（成人T細胞白血病・リンパ腫）、PHN（発作性夜間ヘモグロビン尿症/SUPREMACY）、CDI（クロストリジウム・ディフィシル腸炎）、糖尿病（SUCRE試験）、肺がん（LC-SCRUM）、糖尿病（EMBLEM試験）、リチウム中毒、NEWS-RRS（ナショナル早期警戒システム）、カテーテルアブレーション（KYU-RABLE研究）、深部静脈血栓症、コンパートメント症候群、後腹膜線維症、冠動脈疾患コホート、冠動脈疾患ゲノムコホート、先天奇形症候群、疾患ゲノムコホート、脊椎手術、COVID-19、透析患者調査、経肛門的直腸切除、アルコール性肝硬変				

事務部報告

ご挨拶



事務部長 呉屋 済仁

当院は30年以上にわたり地域の方々から暖かいご支援をいただき、医療活動を通じて社会貢献に邁進し厚い信頼を培ってまいりました。

2019年の日本病院会の調査で全病院の8割超、自治体病院の9割が赤字であると報告がされています。更に我が国では少子高齢化が世界に類を見ないスピードで進展し、人口減という時代に入っています。

この厳しい時代を生き残るには時代の変化に対応できる組織に変わらないといけません。今、猛烈なスピードで世の中が変わっています。

2025年に向けた病院経営の原則は、「質の高い医療提供と継続」であり、このためには「明確な理念、運営方針の存在」のもとに「十分な集客」「費用対効果を意識した運営」そして「優秀な職員の養成」を行い、内部・外部の「顧客満足度」を獲得して一定の利益を確保し、職員・社会へ還元すると共に再生産資金を留保し、制度の変更や環境の変化も勘案して事業を継続する必要があると言われています。

私たち事務部も病院経営のマネジメント役としての重要な役割を担う病院の活性化と地域に求められる病院づくりに取り組んでまいります。

個人的には事務部のトップとして院内外情報の検証による適時、的確、迅速な経営判断を行いつつ地域の中で合併・吸収などの統合も視野に入れ事業拡大と経営に特化した病院運営に取り組む所存です。

【総務課】

人 員：事務部長1名 事務長1名 事務次長2名 課長2名 課長補佐2名
係長6名 主任7名 副主任8名 係員15名 計 44名

概 要：課内には6つの係（経理・庶務・資材・施設・情報システム・医局秘書）を配し、病院の事業計画や資金管理、人事・労務・行政手続き、医療機器・事務備品の調達、施設の保守管理、コンピュータ機器およびITシステムの保守管理、また、医師の学会や専門資格の手続きや把握、初期臨床研修医・専攻医の募集・研修プログラムの管理などの業務を行っています。

目 標：・患者満足度の向上（待ち時間対策・駐車場対策）
・業務の効率化（時間外労働の短縮・有給休暇の取得率向上）
・職員の離職率低下（適正な人員配置・教育の充実）

2020年度の取り組み・実績：

- ・新入職員を96名採用した（医師22名・歯科医師1名・薬剤師4名・看護（准看護）師40名・医療技術職15名・介護職4名・事務職10名）
- ・上記のうち、初期研修医10名の採用があった。
- ・コロナ禍で様々な院内行事の縮小、自粛で多大な影響を受けた。特に新入職員の交流が著しく制限され、その促進をどのように行うかが課題となった。
- ・新入職員合同によるオリエンテーションを期間短縮し1日間のプログラムで実施した。
- ・新入職員中間研修を中止した。
- ・3年次職員フォローアップ研修を中止した。
- ・マグロ解体ショーや職員研修旅行（県外・県内）等、多彩な互助会行事を自粛した。
- ・日本医療マネジメント学会へ多職種による発表を自粛した。
- ・日本医療評価機構による第三者評価受審を延期した。
- ・初期臨床研修医9名の修了を認定した。

【経理係】

人 員：課長補佐 1名 係長 1名 副主任 3名 係員 3名 計 8名

概 要：経理の主な業務は財務諸表等の作成を行う「経理」、資金の管理及び資金計画等の「財務」、決算申告や納税に係る「税務」と大きく3の役割を行っています。

当院の特徴としては、関連するグループ病院、クリニック等の施設の経理処理を当院で行っています。

病院4施設、クリニック6施設、介護関連施設5施設、その他2施設の計17施設の経理業務を分担し、経理業務を行っています。

目 標：・関連施設との連携強化

- ・内部統制の強化
- ・業務の効率化

2020年度の取り組み・実績：

関連施設が多く連携の重要性が求められる事から、当院及び関連施設での経理業務に係わる内部統制を強化した事により、施設間の連携が強くなっています。

紙ベースで管理していた資料をデータ化した事により、業務の効率化・スペースの確保に繋がりました。

【庶務係】

人 員：次長1名 課長1名 課長補佐1名 係長1名
 副主任2名 一般職5名 合計 11名

概 要：庶務の主な業務として、人事労務管理、福利厚生・安全衛生、各官公庁への行政
手続等を行っており、職員の働きやすい職場環境づくりに努めています。

また、当病院を中心にして沖縄の関連施設である病院3施設、介護施設3施設、
クリニック6施設の管理を行うと共に、情報の共有化を図り業務の有効化を図る
べく業務に取り組んでおります。

- 目 標：・情報の共有化を図り業務の効率化を上げる
- ・人事交流を図り業務内容を統一する
 - ・人事システム・給与システムの導入
 - ・新築移転に伴う「人事労務管理」「行政手続等」の構築

2020年の取り組み・実績：

- ・システム管理を構築し、人事労務管理業務の効率化を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症における職員の労務・体調管理を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の整備。

【資材係】

部署長：西江 徳喜（課長補佐）

人 員：課長補佐1名、係長1名、主任2名、事務職1名

概 要：当資材課は、院内で使用するあらゆる物品の流通に関わる位置にあり、各部署への医療材料・一般消耗品・事務用品の安定供給及びコスト削減・使用物品の標準化、定数管理を目標に日々業務を行なっている。また、医療機器の購入、保守契約、委託業者契約、固定資産管理など様々な業務も担っております。

1. 物流管理

院内SPDシステムにおける医療材料、消耗品、事務用品の発注から払い出し業務全般。診療科別消費実績、各部署単位での消費実績、定数管理での運用、購入実績からの薬剤集計、消費実績からの薬剤集計、滅菌期限管理業務。棚卸後の定数見直しや変更業務。

2. 一般消耗品の発注管理

一般消耗品の発注、払い出し全般、価格交渉

3. 手術室、血管造影室、放射線にて使用する高額医療材料の委託管理

持ち込み材料の使用確認。

4. マスター管理

SPDシステム・電子カルテのマスター管理
診療報酬改定、徳洲会グループの価格変動の修正

5. 医療機器の購入

新規プロジェクトや新しい医師及び診療科に特化した医療機器の選定・購入・保守契約

6. 委託業者契約

人材派遣・リネン・清掃・医療廃棄物・産業廃棄物・一般廃棄物・検査委託など多数

7. 固定資産管理

当院で購入した物品（20万円以上）に該当する物を固定資産とみなし、システムにて資産管理

- 目 標：1. 診療報酬改定に伴う医療材料償還引き下げへの価格交渉。
 2. 一般消耗品の価格交渉、現購入から3%減
 3. 各部署へ在庫削減
 4. 長期医療在庫の見直し
 5. 委託業者契約の見直し
 6. 医療材料の委託への交渉

2020年度の取り組み・実績：

1. 徳洲会本部が推奨する医療材料への切り替え
2. 一般消耗品、医療材料の価格交渉
3. 各部署の在庫削減
4. 長期医療在庫の見直し
5. 委託業者の契約単価の見直し
6. 診療科別医療材料消費実績の分析

令和2年度消耗品消費実績(診療科別)

月	外科	産婦人科	形成外科	歯科口腔外科	耳鼻咽喉科	循環器科(内科)	小児科	消化器科	呼吸器	消費総額												
4月	8,488,944	7%	213,032	0%	31,908	0%	637,641	1%	36,177	0%	48,655,091	40%	249,436	0%	3,702,337	3%	593,783		62,014,566	4月	122,435,182	
5月	8,498,375	8%	56,567	0%	32,743	0%	523,843	1%	37,660	0%	49,955,293	49%	199,946	0%	3,387,598	3%	330,270		62,692,025	5月	101,390,923	
6月	9,725,613	7%	199,613	0%	102,288	0%	860,831	1%	19,000	0%	63,735,592	45%	329,710	0%	4,796,864	3%	420,580		79,769,511	6月	143,209,482	
7月	10,435,712	7%	261,964	0%	38,091	0%	913,504	1%	53,352	0%	76,154,152	54%	296,860	0%	4,010,727	3%	530,383	0%	82,259,033	7月	140,311,844	
8月	10,855,117	8%	378,793	0%	37,627	0%	740,876	1%	24,088	0%	63,049,433	48%	365,063	0%	3,439,231	3%	358,447		78,890,228	8月	131,945,543	
9月	10,653,982	8%	262,013	0%	68,586	0%	677,555	1%	41,553	0%	57,295,048	43%	283,089	0%	3,114,811	2%	513,653		72,396,637	9月	133,059,424	
10月	11,037,719	7%	771,575	0%	89,738	0%	802,057	1%	72,514	0%	79,296,093	51%	559,330	0%	3,540,415	2%	508,319		96,169,441	10月	155,526,583	
11月	13,222,065	10%	526,415	0%	37,631	0%	823,040	1%	54,692	0%	60,408,896	47%	446,371	0%	4,244,359	3%	463,505		79,763,469	11月	128,613,007	
12月	14,800,285	10%	338,940	0%	33,084	0%	671,601	0%	38,789	0%	64,919,742	43%	506,843	0%	3,886,986	3%	718,314		85,196,270	12月	150,836,060	
1月	10,964,763	8%	1,287,846	1%	53,496	0%	779,237	1%	49,647	0%	60,558,539	44%	436,066	0%	3,510,506	3%	685,847		77,640,100	1月	137,843,619	
2月	12,632,380	9%	547,791	0%	37,620	0%	477,564	0%	32,807	0%	69,931,460	49%	378,631	0%	4,040,988	3%	447,780		88,079,241	2月	143,592,973	
3月	14,279,270	10%	104,895	0%	49,866	0%	667,464	0%	45,417	0%	58,561,356	40%	377,760	0%	3,968,227	3%	826,168		78,054,255	3月	145,064,795	
年間費	135,594,225	8%	4,949,444	3%	612,678	0%	8,575,213	1%	505,696	0%	752,520,695	46%	4,429,105	0%	45,643,049	3%					年間消費	1,633,829,435
対前年度		0%		0%		0%		0%		0%		0%		0%							月平均	136,152,453

心臓血管外科	人工透析科	整形外科	内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	眼科	疼痛治療	消費総額	前年度対比												
4月	12,561,352	10%	2,997,747	2%	29,676,377	24%	3,271,745	3%	4,546,488	4%	6,292,563	5%	70,287	0%	1,004,057	1%	162,295		60,420,616	前年度対比	+ -11,543,088	
5月	7,162,904	7%	3,219,701	3%	12,881,312	13%	4,126,351	4%	4,887,374	5%	6,033,434	6%	95,461	0%	292,361	0%	87,436		38,698,898			
6月	15,244,665	11%	3,267,533	2%	26,729,945	19%	4,218,314	3%	2,010,079	1%	7,727,146	5%	76,942	0%	1,493,658	1%	2,671,689		63,439,971			
7月	12,107,691	9%	3,349,995	2%	24,140,621	17%	5,744,477	4%	3,118,837	2%	7,959,817	6%	99,986	0%	1,531,387	1%	182,717		58,052,811			
8月	14,419,834	11%	3,431,050	3%	17,592,398	13%	4,114,251	3%	3,937,352	3%	7,889,442	6%	108,192	0%	1,562,796	1%	40,414		53,055,315			
9月	15,096,146	11%	2,998,715	2%	25,083,095	19%	4,753,541	4%	4,590,487	3%	6,821,164	5%	70,823	0%	1,248,816	1%	245,785		60,662,787			
10月	10,009,517	6%	3,307,693	2%	28,958,615	19%	4,670,643	3%	3,482,022	2%	7,032,834	5%	102,413	0%	1,793,405	1%	212,064		59,357,142			
11月	12,386,574	10%	3,303,467	3%	18,499,613	14%	4,148,291	3%	2,520,523	2%	7,046,087	5%	53,307	0%	891,676	1%	189,573		48,849,538			
12月	13,834,391	9%	3,213,425	2%	27,384,844	18%	4,899,399	3%	6,863,875	5%	7,638,102	5%	97,882	0%	1,707,872	1%	98,695		65,639,790			
1月	11,784,481	9%	3,197,618	2%	23,737,805	17%	4,566,530	3%	9,150,417	7%	6,149,125	4%	78,324	0%	1,539,219	1%	28,675		60,203,519			
2月	12,572,657	9%	3,485,283	2%	23,971,603	17%	4,565,024	3%	3,398,306	2%	6,528,343	5%	78,747	0%	913,769	1%	701,210		55,513,732			
3月	26,159,808	18%	4,089,758	3%	19,768,428	14%	4,067,736	3%	2,093,328	1%	9,092,541	6%	113,630	0%	1,625,311	1%	249,569		67,010,540			
年間費	163,340,020	10%	39,861,985	2%	278,424,656	17%	53,146,302	3%	50,599,088	3%	86,210,598	5%	1,045,994	1%	15,604,327	1%						
対前年度		0%		0%		0%		0%		0%		0%		0%								

【施設係】

人 員：3名

概 要：施設係は、中部徳洲会病院及び関連施設の 北谷病院、ソフィアクリニック、ハンビークリニック、与勝あやはしクリニック、よみたんクリニック、新都心クリニック、介護老人保健施設おきなわ徳洲苑の建物内に設置してある機械設備、電気、弱電、空調、衛生設備の維持管理を365日（日中）、緊急時の対応を行っています。各設備、法令に基づいた、点検整備、日常点検を行っています。

1. 受水槽・高架水槽清掃（1回/年）
2. 簡易水道検査（1回/年）
3. 環境測定（2回/年）
4. 医療ガス点検（CE1回/年、アウトレット2回/年）
5. 清浄度測定（1回/年）
6. 地下タンク定期点検（1回/年）
7. 第一種圧力容器性能検査（1回/年）
8. 害虫駆除（3回/年）
9. 消防設備点検（2回/年）
10. 防火対象物点検（1回/年）
11. 防災対象物点検（1回/年）
12. ばい煙測定（2回/年）
13. 特殊建築物定期点検（建築1回/3年、設備1回/年）
14. その他各種保守業務

- 目 標：1. アメニティの充実
2. 水道光熱費削減
 3. 患者、スタッフの環境整備等
 4. 災害ゼロ

2020年度の取り組み・実績：

1. 与勝あやはしクリニック改修工事

【企画情報室】

人 員：課長1名、主任3名、副主任1名

概 要：情報システム室は、当院におけるサーバー、クライアントPC、多岐にわたる業務システムの管理、導入、職員へのコンピュータ操作指導を担う部署である。

IT技術の医療現場導入により、その活動範囲は拡大している。

◎業務内容

情報システム室の主な業務は、院内で使用されるシステム全般の管理及び関連機器やネットワーク機器の保守管理を行っている。

医療現場の状況に即して柔軟な対応を必要とするが、医師・看護師・技師とソフトウェアメーカーとの間に立ち、密接なコミュニケーションにより、円滑な運用を心がけている。それ以外にもデータ管理という重要な役割も果たしている。その主なものがデータのバックアップやウイルス・個人情報漏洩対策等がある。

目 標：・セキュリティ強化・個人情報漏洩対策
・ウイルス対策・パソコン環境整理

2020年度の取り組み・実績：

- ・医師、看護師、技師、事務業務軽減に伴う環境整備
- ・脳波簡易ファイリングシステム(日本光電工業)導入
- ・発熱外来・コロナ対策対応
- ・AI問診システム(Ubie)導入
- ・Newtonsmobile(SSI)導入
- ・新褥瘡管理システム(SSI)導入
- ・調剤ピッキングサポートシステム(ユヤマ)導入
- ・電子カルテ、沖縄津梁ネットワークシステム(沖縄県医師会)接続作業
- ・遠隔読影システム(医知倍)導入
- ・線量管理システム(NOBORI)導入作業
- ・細菌検査システム更新(バイオメリュー社からベックマンコールター社へ移行)作業
- ・新透析システム(SSI)導入作業
- ・評価管理システム(SSI)導入作業
- ・手術室動画システム(デージーエスメディカル)バージョンアップ
- ・与勝あやはしクリニック 電子カルテ導入作業
- ・北谷病院 発熱外来設置対応

【医事課】

部署長：高江洲 基樹（次長）

人 員：外来担当 29名

課長補佐1名、主任2名、副主任5名 男性17名 女性12名

入院担当 16名

課長1名、課長補佐1名、係長2名、主任2名、副主任2名 男性9名 女性7名

合計 45名

概 要：・総合受付案内業務：

初診・再診・紹介・保険証確認

診療報酬請求業務（レセプト請求業務）：毎月1日～8日レセプトチェック

9日集計、10日レセプト送信及び月遅れ分提出。

・会計業務：

会計窓口業務・入金処理業務・返金処理業務・未収金管理業務（督促・回収）

・入院業務：

退院会計窓口業務・中間入院請求業務・限度額・高額貸付手続き業務

返戻・査定及管理及び対策（各診療科にフィードバック、再審査請求）

・各担当業務：

文書（診断書・生命保険等）、交通事故、労災、公費（難病・小児慢性疾患等）

生活保護、更生医療・育成医療、患者数統計作成業務、運営会議資料作成、

当直業務、予防接種請求、病院間請求業務。

・施設基準届出（基本診療料・特掲診療料）、DPCデータ作成・提出

目 標：①患者様への接遇向上

②職場環境の改善（残業時間短縮）

③医事業務のスキルアップ

2020年度の取り組み・実績：

令和2年度の診療報酬改定は、全体の改定率がプラス0.55%となったが、改定対策ではなく、新型コロナウイルス感染症の影響もあり経営的にきびしい状況が続きました。

医療機関は、コロナ対策を実施したうえで「新型コロナウイルス感染症に係る主な診療報酬上の臨時的な取り扱い」が、次々に発令され診療改定年度にもかかわらずそれ

以外の特例的な診療報酬は、対策をとるうえでかなり大変な一年でした。また、病院の窓口である医事課では、患者様と職員の安全を守る為、病院全体でいろいろな感染対策をとることによって業務がかなり増え、職員に負担がかかっています。次年度は、感染対策を維持しながら負担軽減を取り組んでいかなければならない。

今年度も引き続き医事課の目標として設定した。職場環境の改善に関しては、医事課は他部署と比べて残業時間が多く、特にレセプト期間中の残業時間が多い、レセプト自体には効率化は進んでいるが、レベルに個人差がある為に新人職員に対して、2年目、3年目の医事職員が勉強会を行うことによって、教える側も勉強することになり、スキルアップにつながるため、今後も新人勉強会を継続して取り組んでいく。増減点返戻状況改善はあまり見られないが、各担当医師への報告（フィードバック）を行い対策することによって、減点率・返戻率を改善していきたい。

【診療情報管理室】

【記入者】 安里 邦子

【人 員】 診療情報管理係長 1 人 副主任 2 診療情報管理士 3 人 一般事務 1 人

【概 要】 病院で扱う診療データは年々増加し、複雑化しており「モノの管理」を主とした時代から、診療データを一元的に管理し、それを利活用していくことが求められてきている。業務を行うにあたり、医学知識をはじめ幅広い知識の習得が必須となっており、学会・研修・勉強会等に積極的に参加し、チーム医療を行っていく上で必要とされる部署であるよう日々研鑽を重ねている。

平成 26 年 4 月より「診療録管理体制加算 1」取得

【主な業務内容】

- * 電子カルテの量的・質的点検業務
- * 診療記録（紙媒体）の保管等管理業務
- * 各種学会、出版社などからのアンケート等に対する回答
- * がん登録
- * 医師やその他の部署から依頼される診療データ等の抽出・加工業務
- * 個人情報保護に関する業務
- * 診療記録等開示請求の対応
- * 警察からの照会に対する回答
- * 大学、専門学校からの実習生受け入れ
- * 各種委員会・会議への参加
 - ・ 診療録管理委員会・パス委員会・オンコロジー委員会・個人情報保護委員会
 - ・ 死亡症例検討会・病院運営会議・診療部長会議

【目 標】

1. 退院時サマリーの退院時までの完成を目指す
2. 多職種によるカルテ監査の取り組み
3. 文書管理の整備（同意書の内容・様式の見直し）
4. 診療情報・統計資料の迅速な提供
5. 院内がん登録の充実
6. 長期署名システムの対象文書の拡大
7. 各種勉強会・研修会・学会等への参加

【2020年度の取り組み・実績】

1. 退院時サマリー
作成件数 11,123件 退院日当日作成件数 9,046件 81.3%
2. 多職種による監査を実施し、結果を診療録委員会でフィードバックを行った
3. 監査項目の見直し（JCI認定基準 第7版への変更に伴う）
4. 文書管理の整備（同意書の内容・様式の見直し）＜継続＞
5. 診療情報・統計資料の迅速な提供
 - ・警察病歴照会 107件
 - ・カルテ開示（第3者面談含む）108件
 - ・患者統計リスト依頼件数 67件（医師からの依頼分のみカウント）
6. 院内がん登録の充実
 - ・令和2年院内がん登録件数 778件
 - ・全国がんへデータ提出
 - ・院内がん登録全国集計へデータ提出
7. 改善指標（QI）
 - ・部署指標「不備書類減少への取り組み」
8. 各種勉強会・研修会・学会等への参加
 - ・2020年度 院内がん登録実務初級者認定試験 2名
 - ・2020年度 院内がん登録実務中級認定者更新試験 1名

◎院内死亡率

診療科	退院件数	死亡件数	死亡率
内科	1296	111	8.6%
脳神経内科	0	0	
呼吸器内科	6	0	
消化器内科	956	50	5.2%
循環器内科	2250	102	4.5%
小児科	632	0	
外科	1484	62	4.2%
整形外科	1321	7	0.5%
形成外科	0	0	
脳神経外科	372	27	7.3%
心臓血管外科	343	23	6.7%
皮膚科	0	0	
泌尿器科	1291	14	1.1%
産婦人科	32	0	
眼科	173	0	
耳鼻咽喉科	0	0	
放射線科	33	0	
歯科口腔外科	472	0	
総合診療科	0	0	
血液内科	94	17	18.1%
疼痛治療科・ペイン	19	0	
救急内科	96	8	8.3%
救急外科	3	0	
全科	10873	421	3.9%

◎診療科別手術件数

診療科	件数
内科	46
消化器科	33
循環器科	887
外科	947
整形外科	1,434
形成外科	54
脳神経外科	118
心臓血管外科	194
皮膚科	72
泌尿器科	857
産婦人科	31
眼科	215
放射線科	58
麻酔科	3
歯科口腔外科	356
疼痛治療科・ペイン	76
救急内科	2
総合計	5,383

◎診療科別上位術式（上位5位まで）

1 整形外科

術式	件数
骨折観血の手術（肩甲骨・上腕・大腿）	190
骨折観血の手術（前腕・下腿・手舟状骨）	134
骨内異物（挿入物）除去術（前腕・下腿）	115
椎弓形成術	104
関節内骨折観血の手術（前腕・下腿）	74

2 外科

術式	件数
腹腔鏡下胆嚢摘出術	150
鼠径ヘルニア手術	85
腹腔鏡下虫垂切除術	68
胃瘻造設術	57
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	52

3 循環器科

術式	件数
経皮的冠動脈ステント留置術	317
経皮的中隔心筋焼灼術	199
四肢の血管拡張術・血栓除去術	127
経皮的冠動脈形成術	82
経皮的カテーテル心筋焼灼術	68

4 泌尿器科

術式	件数
経尿道的尿管ステント留置術	173
経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	80
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）	77
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	60
内シヤント設置術	56

5 歯科口腔外科

術式	件数
埋伏歯抜歯	277
抜歯手術（難抜歯・埋伏歯）	9
舌小帯形成手術	8
口蓋腫瘍摘出術	3
骨内異物（挿入物）除去術	3

【医局秘書】

部署長：高柳玲（課長）

人 員：常勤4名（うち産休2名）、非常勤2名

【医局秘書業務】

医師の勤務管理（Dr. JOY）：当直管理・外来診療体制表の作成、更新
医局情報・当直表・外来表・PHS・入院担当表の電カル、ホームページへのアップ
内科医・救急医と外来検査担当表と外科 Dr、週間予定表の作成、
休診時の案内作成と配布・在宅 oncall 担当医作成
訪問診療・主治医意見書の担当医作成
医師の学会準備・講演会のポスター作製・県医学会学術集会の抄録の取りまとめ
中部地区医師会からの住民健診応援調整
学会・出張・稟議書等の電子稟議システム『Gear』申請
離島応援時の日程調整とチケット依頼申請及び、PCR 検査の手配
勤務記録表の作成（常勤 Dr・非常勤 Dr）・常勤・非常勤医師の個人ファイル作成・管理
図書（洋書・和書）のチェックと整理・患者向け用の図書室整理
業者・保険会社・福祉事務所（生活保護）と Dr の面談日程調整
Dr 入退職の準備：必要書類の配布と回収、PHS・名札・机・本棚・ロッカー等の準備
当直室と応援 Dr 用宿泊室の清掃・ベットメイキング
離島救急自衛隊機医師添乗搬送（Dr. ヘリ）の日程調整と担当医作成
新型コロナワクチン接種医師スケジュール調整
医学部実習生の宿泊室・PHS・名札等の準備
学校・幼稚園・保育所などの内科健診 日程調整→健診終了後 本部報告

目 標：医師業務負担軽減とメンタルヘルスケアに関連する業務の強化
ワークライフバランスの促進・実施
職員の各種講習会参加促進

2020年度の取り組み・実績：

業務内容、手順の見直しによる業務負担軽減と業務効率の向上
職員の接遇向上
グループ病院間の連絡調整の円滑化
医師資格情報のアップデートと効率的な管理
医局環境改善

【医師事務室】

部署長：辺土名 忍（課長補佐）

人 員：主任：1名 副主任：2名 医師事務作業補助者：27名 計 30名

概 要：医師の業務負担軽減を目的に平成20年4月より設立された部署である。主な業務内容として、医師の指示、確認の下に外来補助業務、文書作成業務（診断書等）データ登録業務を行い、事務作業の負担を軽減し、医師が治療に専念できるようサポートすることが目的である。

目 標：医師事務作業補助者として勤務するためには、6ヵ月間の院内研修及び、32時間以上の専門知識の講習が配置条件である。当部署では積極的に研修、勉強会へ参加し専門知識取得を目指している。
さらに医師を含め他部署との連携も必須となるため、コミュニケーション能力の向上を図り、医師から信頼され求められる職員の人材育成を目標とする。

【2020年度の取り組み・実績】

■取り組み

[外来補助業務]

これまでの取組を維持しつつ、新型コロナウイルス感染症への対応として、ドライブスルー外来（DTH 外来）へ配置（2020年7月より開始）、また6東（新型コロナウイルス感染症陽性者病棟）、8東病棟（疑似症病棟）へ2020年9月より1名配置した。

[データ登録]

NCD登録、JACVSD登録、JND登録、CVIT登録、JCDTR登録、J-AB登録、泌尿器科NCD登録業務。JED登録継続。

[病棟業務]

サマリー作成補助、診療情報提供書、退院通知を含む退院支援業務を継続。

■実績

[外来補助業務]

検査オーダー・次回診察予約・入院指示など代行入力。

[文書作成業務]

文書作成件数：12,725 件（前年比▼1802 件）

返書作成件数：4,805 件

[病棟業務]

サマリー作成補助件数：2,177 件

診療情報提供書（転院調整時）：646 件

症状詳記：274 件

総文書件数：計 20,627 件（前年比▼2,300 件）

[データ登録業務]

NCD 登録・JCVSD 登録：1,170 症例

CVIT 登録：462 症例、JCDTR 登録：24 症例、J-AB 登録：240 症例

JND 登録：396 症例

泌尿器科 NCD 登録：619 症例

JED 登録：11,634 症例

【地域医療連携室】

部署長：東恩納亮（課長）

人員：事務職8名、クラーク4名、会計2名、渉外担当3名

概要：地域医療連携室は、患者様の紹介・逆紹介を中心に、地域の医療機関、保健福祉施設及び行政機関との連携・調整業務を担っています。また医療講演の企画・開催や訪問活動をとおして当院の取り組みや情報を発信しています。

1. 地域医療機関及び施設との紹介・逆紹介業務
2. 地域医療機関への情報提供・勉強会等の開催
3. 救急搬送業務連絡会の開催
4. 広報誌の発行（12回／年）
5. 医療機関・福祉施設・消防署・企業・各種団体等訪問
6. 院内及び院外での医療講演の開催
7. 返書管理
8. 地域連携に関する統計資料作成
9. 登録医情報の管理
10. 紹介患者様の外来・入院転院予約
11. 開業医及び保健福祉施設からの救急患者の受入調整
12. セカンドオピニオンの紹介・受入調整
13. 消防機関への提出資料作成

- 目標：1. 紹介件数及び紹介率の向上
2. 逆紹介件数及び逆紹介率の向上
3. 医療機関・福祉施設・消防署・企業・各種団体等への訪問回数の増加
4. 無料健康講座の実施回数及び参加人数の増加

2020年度の取り組み・実績：

紹介率・逆紹介率ともに前年を上回ることができたが、紹介件数・紹介からの入院数はいずれも減少した。

3密回避のため院内健康講座は中止、イオンモールライカム沖縄にて開催していた定例健康講座も中止となったため、9月よりオンラインでの講座実施に移行した。

◎紹介件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	638	817	1,246	1,227	827	991	1,386	1,208	1,199	1,068	1,112	1,320

◎紹介から入院

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	135	166	233	221	193	226	282	230	229	263	203	231

◎紹介率と逆紹介率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介	32.0%	31.5%	27.3%	28.0%	35.6%	32.0%	31.2%	31.8%	33.1%	31.3%	36.7%	34.8%
逆紹介	62.0%	36.9%	24.2%	46.1%	58.0%	34.1%	28.5%	25.6%	33.7%	37.0%	35.8%	37.0%

◎医療機関・施設・消防署訪問

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	14	82	131	134	152	168	168	156	182	147	160	123

◎企業・団体訪問

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	6	98	250	222	211	331	255	265	253	251	291	250

【無料健康講座】

◎定例健康講座（オンライン公開健康講座）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	0	0	0	0	0	38	79	112	129	159	121	165
講座回数	0	0	0	0	0	3	9	9	14	13	12	15
平均参加	0	0	0	0	0	12.6	8.8	12.4	9.2	12.2	10.1	11

◎院内健康講座

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講座回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎院外無料健康講座

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	0	0	121	492	0	58	556	294	712	440	0	375
講座回数	0	0	5	12	0	4	16	14	19	16	0	23
平均参加	0	0	24.2	41	0	14.5	34.8	21	37.4	27.5	0	16.3

【DrCar事務局】

担当者：大城実（主任）

人員：医師4名、看護師8名、機関員4名

概要：ドクターカーは、沖縄市消防本部の管轄内で発生した救急救命処置事案に対して、消防及び病院が迅速かつ適切な救命処置を施し、相互の協力のもとに救命率の向上に努めることを目標として平成18年6月12日、沖縄市と「医療救護活動に関する協定書」を締結し、県内初行政側と医療機関と合同で救急活動に取り組み、病院の救急医療班によるドクターカー運用を本格的に開始しました。

1. 月曜日～金曜日（平日）9：00～18：00土・日・祝祭日を除く。
2. 活動範囲は、沖縄市一円を管轄する。
3. 出動要請は、消防本部指令室からの指令にて出動する。（消防無線と指令書で出動）他の出動については臨機応変に対応している。
4. 出動基準
 - 1) 心肺停止例（心肺機能停止も含む）重度外症例やこれらに準ずる重症例で迅速な救急救命処置を必要とする場合。
 - 2) 多数傷病者発生時の現場でのトリアージを必要とする場合。
 - 3) 各種事故など、救出に時間を要すると判断した場合。
 - 4) 「胸痛」または「胸部圧迫感」の訴えがあり、原因として冠動脈疾患が予想される場合。ただし、以下の場合は除く。
 - a. 傷病者が30歳未満と判明している場合。
 - b. 外傷が原因と判明している場合。
 - c. 「動悸」「呼吸苦」「胸やけ」等、他の胸部症状のみ判明している場合。
 - 5) その他、専門的な治療が必要と判断される場合。（建物火災等の逃げ遅れ等を含む）
5. 定期的に、消防と合同で訓練を行う。
6. 定期的に、消防と合同で勉強会を開催。

目標：①心肺停止からの社会復帰率の向上、②消防と顔の見える関係づくり
③消防との合同訓練の実施、④消防との勉強会の開催

2020年度の取り組み・実績：

沖縄市消防との合同訓練は、9月・12月開催。

消防合同の勉強会は、コロナ感染症で中止。

症例検討会の救急搬送業務連絡会は、コロナ感染症で中止。

社会復帰件数及び復帰率は下記の通り。

◎ドクターカー出動詳細

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出動件数	2	5	12	7	0	0	0	14	20	17	15	16	108
ドッキング	1	3	7	4	0	0	0	9	10	10	7	11	62
現着引き上げ	0	1	2	2	0	0	0	4	7	4	6	5	31
途中キャンセル	1	1	3	1	0	0	0	1	3	3	2	2	17

◎社会復帰率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CPA件数	0	0	1	0	0	0	0	1	6	4	8	6	26
内処置件数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	5	12
内当院搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	5	9
蘇生件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
社会復帰件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
社会復帰率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	8.3

※2020年度社会復帰率・・・ 8.3% (1件)

【MSW・医療相談員】

人員：医療ソーシャルワーカー 9名（社会福祉士8名）

概要：MSWの業務は、病院において社会福祉の立場から入院患者の退院支援および相談対応、患者が地域や家庭において自立した生活がおこなえるよう関係機関との調整等を専門に行う専門職である。急性期病院では、治療が終了した患者を早期に社会復帰させるため、患者や家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る事が長期入院を防ぐため重要な業務となっている。

1. 療養中の心理的・社会的問題の解決調整業務
2. 退院援助
3. 社会復帰援助
4. 受診・受療援助
5. 経済的問題の解決調整業務
6. 地域活動

目標：1. 退院支援業務見直し
2. ソーシャルワークの質の維持

2020年度の取り組み・実績：

コロナウイルス感染症の流行により、患者・家族と対面での支援が難しくなった年であった。相談支援は電話での対応を主としたが大きな支障はなく業務を遂行することが出来た。

また、11月より1名、半年間の離島応援（沖永良部島）に派遣した。育児休業中のスタッフも2名いたため、その間は6名での業務に当たる必要があった。業務配分にかかなり苦慮した年であったが、初めての離島応援の経験や、業務の効率化を検討するきっかけとすることが出来たと考える。

その他、中部地区連携研究会（パス会議）については中部地区の連携施設で、MSW部会、看護部会、医事部会、リハビリ部会にて集まり会議を行っていた。コロナ禍となってからは開催出来ていなかったが、12月以降は各施設協議のうえ、MSW部会のみ規模を縮小し再開することが出来た。

◎相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	52	27	43	52	50	54	55	27	21	41	21	16
入院	1493	1358	1751	1829	1595	1839	1786	1589	1539	1747	1369	1433

◎退院援助件数・介入率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	255	217	286	339	267	291	308	246	278	278	245	263
介入率	31.8	31.9	29.7	35.1	30.7	33.2	34.5	26.2	29.8	29.8	31.7	28.2

◎研修会等への参加

- 6月 読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議（WEB会議）
- 8月 沖縄市在宅医療・介護連携推進会議（WEB会議）
読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議
- 9月 沖縄市在宅医療・介護連携推進会議（WEB会議）
- 10月 沖縄市在宅医療・介護連携推進オンライン研修会（WEB研修会）
- 11月 沖縄市在宅医療・介護他職種研修会（WEB会議）
- 12月 読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議
- 1月 沖縄市在宅医療・介護連携推進オンライン研修会（WEB研修会）
- 2月 読谷・嘉手納・北谷 在宅医療・介護連携推進会議
中部地区連携研究会（パス会議）

【健康管理センター】

記載者：大城美佐子（課長）

人 員：医師6名（常勤2名、非常勤4名）
看護師6名（常勤4名、非常勤2名）
一般事務10名（常勤9名、非常勤1名）
検査技師4名（非常勤1名、兼任3名）
放射線技師2名（常勤1名、兼任2名）

概 要：健診センターでは、地域住民・企業の健康診断・人間ドックを行っております。健診は病気の予防・病気を早期発見・早期治療が目的です。生活習慣病を防ぐ為にも成人病の原因となる生活習慣を改善して健康の増進に努めなければなりません。「国民の健康・生きがいつくり」を基本のテーマにこれから関わる健康事業に取り組んで業務を行っております。

◎健診の主な業務として

- 1) 特定健診
- 2) 企業健診
- 3) 胃がん・肺がん・大腸がん健診
- 4) 人間ドック
- 5) 脳ドック
- 6) フルドック
- 7) 婦人科健診

目 標：・受診者サービスの向上
・市町村ドックとの連携を推進し予防医療に勤めていきます
・時代のニーズを適確に把握し質の高い予防医療を提供します
・地域の企業健診に貢献します
・地域のニーズに円滑迅速に応える魅力ある予防医療サービスを提供します
・待ち時間の低減

2020年度の取り組み・実績：

1. 特定健診・企業健診・市町村の人間ドック・企業ドックの受診者増
2. 閑散期（3～5月）企業早期受診勧奨及びキャンペーンの実施
3. 徳洲会職員の知人・友人のキャンペーン実施

4. 徳洲会職員家族の受診者増
5. 中部徳洲会職員受診率100%
6. 中小企業における健診の充実性
7. 医療講演の開催
8. 企業訪問
9. 新規事業所との契約
10. 待ち時間対策
11. 月、1回健診センターミーティング
12. アンケート調査
13. 二次健診の案内
14. 二次健診の追跡をする。(紹介状発送後未受診の方に対し受診促す。)
15. がんの統計

令和2年度の人間ドックの受診者数は(11150名)昨年と比較して(3260名)の減でした。コロナの影響で人間ドック・健診を縮小しながら行っていましたが、昨年、人間ドック・健診を受診できなかった方々に今年度は、地域・企業にも積極的に訪問し医療講演を推進していきたいと考えております。

人間ドック・健診は年に1回の受診を継続的に・・・!

病気の予防・早期発見・早期治療が目的ですので多くの方々に受けて頂くようこれからも皆様の健康管理にお役に立ちたいと思っております。

又、職員一同、責任と誇りを持って、健康増進の向上に努めて参ります。

待ち時間短縮のため温熱岩盤カプセル・アロマセラピーを導入したので受診者からも大変好評でした。

◎特定健診・健診・人間・脳ドック件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定	9	23	12	17	16	16	14	18	22	33	36	37
健診	91	82	137	119	118	728	180	157	128	208	328	309
ドック	298	436	851	967	926	998	1178	1005	1175	1055	1048	1212
合計	398	541	1000	1103	1060	1742	1372	1180	1325	1296	1412	1558

【国際医療支援部】

部署長：翁長 賢（係長）

人 員：通訳 6名（常勤） 対応言語 英語 4名、韓国語 1名、中国語 1名

概 要：国際医療支援部は年々増加する外国人患者の受け入れ体制を強化するため、平成2016年4月に設立された部署です。主な業務内容としては外国人患者の受診調整や受診時の通訳業務、書類の翻訳や院内表示の多言語化等の環境整備があります。また、国際的な医療機能評価機構 JCI※1及び外国人患者受入れ医療機関認証制度 JMIP※2の認証における事務局としての機能も有しています。

※1 JCI (Joint Commission International)

JCI とは 1994 年に設立された国際的な医療機能評価機構で、継続的な教育やコンサルテーションサービス、国際認証の提供を通じて、国際社会における医療の安全性と品質を向上させることを使命としています。

3年ごとに更新審査を受け、数多くの基準をクリアすることで再認証となります。各種書類、記録物の提出が求められ、継続的な改善ができていないかを厳しく確認されます。当院は、2017年2月に初めて JCI 認証を取得、2020年2月24日～2020年2月28日の計5日間にわたる厳密な審査を経て、JCI 認証の更新が認められました。

※2 JMIP (Japan Medical Service Accreditation for International Patients)

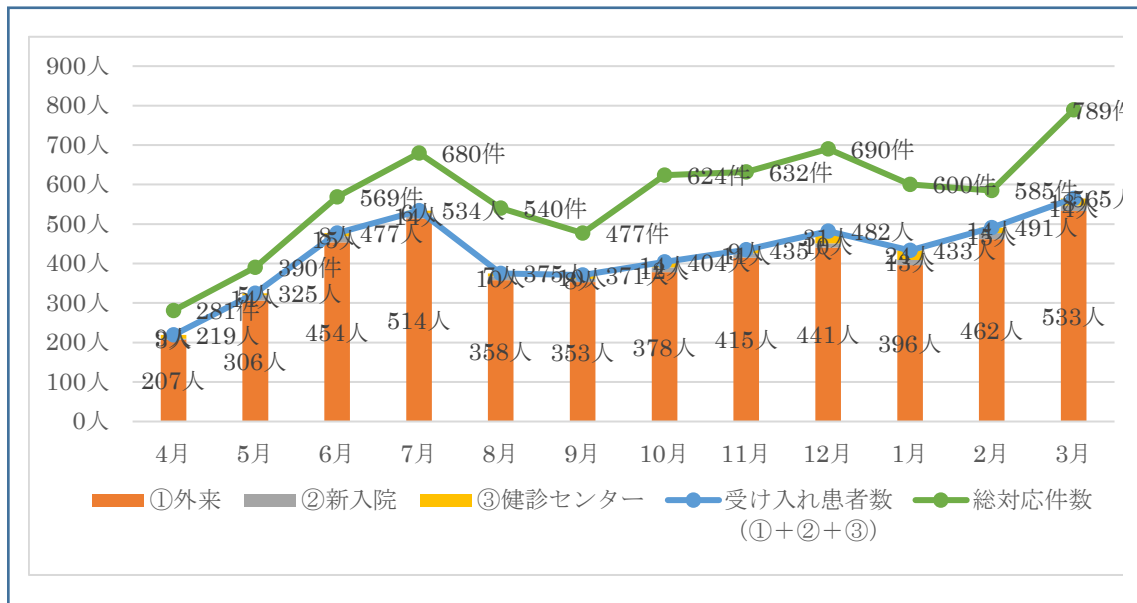
JMIP とは外国人患者受入れ医療機関認証制度のことで、訪日あるいは在留の外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように、多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者の円滑な受入れ体制を一般社団法人 日本医療教育財団が中立・公平な立場で評価する認証制度です。

目 標：1. JCI基準の維持・改善による医療の質の向上
2. 国際医療の推進

2020年度の取り組み・実績：

患者数

- ・総対応件数：6857件
- ・外来患者数：4817人
- ・国籍別患者数： アメリカ：2303人 その他：1000人 フィリピン：697人
中国：569人 不明：394人 韓国：118人 台湾：30人
- ・新入院数：139人



対応別	2020年										2021年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
受け入れ患者数 (①+②+③)	219人	325人	477人	534人	375人	371人	404人	435人	482人	433人	491人	565人	5111人	
①外来	207人	306人	454人	514人	358人	353人	378人	415人	441人	396人	462人	533人	4817人	
②新入院	3人	14人	15人	14人	10人	8人	12人	11人	10人	13人	15人	14人	139人	
③健診センター	9人	5人	8人	6人	7人	10人	14人	9人	31人	24人	14人	18人	155人	
総対応件数	281件	390件	569件	680件	540件	477件	624件	632件	690件	600件	585件	789件	6857件	

国籍別	2020年										2021年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
アメリカ	146人	163人	231人	245人	140人	158人	166人	187人	202人	176人	211人	278人	2303人	
その他	34人	61人	93人	131人	86人	84人	100人	86人	85人	82人	78人	80人	1000人	
フィリピン	11人	40人	64人	65人	62人	59人	48人	70人	69人	64人	82人	63人	697人	
中国	5人	26人	42人	44人	44人	39人	48人	51人	88人	52人	61人	69人	569人	
不明	17人	29人	22人	31人	27人	24人	29人	29人	33人	45人	48人	60人	394人	
韓国	5人	5人	19人	14人	12人	5人	12人	10人	4人	11人	10人	11人	118人	
台湾	1人	1人	6人	4人	4人	2人	1人	2人	1人	3人	1人	4人	30人	
計	219人	325人	477人	534人	375人	371人	404人	435人	482人	433人	491人	565人	5111人	

研修業績

【原 著】

Retrograde Type A Aortic Dissection after Thoracic Endovascular Aortic Repair for Type B Dissection

Masato Hayakawa, MD, Takaaki Nagano, MD, * Isao Nishijima, MD, ** Kento Sinzato, MD, Ryo Ikemura, MD, Kazufumi Miyagi, MD, Kiyoshi Iha, MD, PhD, Skigenobu Senaha, MD, * Mitsuyoshi Shimoji, MD, ** Mitsuru Akasaki, MD**

Department of Cardiovascular surgery, Chubu Tokushukai Hospital, Kitanakagusuku, Japan,

*Department of Cardiovascular surgery, Graduate School of Medicine, University of the Ryukyus, Nishihara, Japan,

**Department of Cardiovascular surgery, Nanbu Tokushukai Hospital, Yaese, Japan, The Heart surgery Forum 23 (4) 2020

巨大な多発肝転移を伴う切除不能胃癌に対し SOX 療法後に conversion surgery を施工した 1 例

伊禮俊充、江口征臣、手登根勇人、宮城幹史、河本宏昭、仲宗根由幸、小川真紀*、玉榮 剛

中部徳洲会病院 外科、同 病理診断科*

日本消化器外科学会雑誌 53 巻 7 号 P566-573 2020

非転位型大腿骨頸部骨折 Pauwels type3 に対する 3 重バレル CHS を用いた治療経験

今井さくら、高江洲美香、宮田佳英、知念修子*、仲宗根 哲**、西田康太郎**

中部徳洲会病院整形外科、与那原中央病院整形外科*、琉大・整形外科**

骨折 第 42 巻 2 号 P491-494 2020

陳旧性肩関節脱臼の 1 例

大槻健太、山口浩 1、当真孝 2、呉屋五十八 3、宮田佳英、森山朝裕 4、銘苺保則 2、金谷文則 2

中部徳洲会病院 整形外科、リハビリテーションクリニックやまぐち 1、

琉大・整形外科 2、与那原中央病院 整形外科 3、沖縄赤十字病院 整形外科 4

整形外科と災害外科 69 巻 1 号 P127-131 2020

上顎洞がんの頭蓋底浸潤による頭痛に対して頸部硬膜外鎮痛法が有効だった症例

立花潤子、服部政治

中部徳洲会病院疼痛治療科

日本ペインクリニック学会誌 2020. 27 (2) 180-183

関節痛と浮腫は一元的に説明できるか？

萩原啓太、小山 淳

中部徳洲会病院

総合診療 2020. 30 (6) 753-755

【学会報告】

慢性 B 型大動脈解離に対する TEVER 施行後に逆行性 A 型大動脈解離を発症した 1 例

早川真人

中部徳洲会病院心臓血管外科

第 48 回日本血管外科学会学術総会

2020. 11. 27-29 WEB 開催

当院における大腿骨近位部骨折患者に対する多職種連携骨粗鬆症治療

高江洲美香、大槻健太、宮田佳英、仲宗根 哲*、西田康太郎*

中部徳洲会病院整形外科、琉大整形外科*

第 46 回日本骨折治療学会

2020. 9. 11-10. 30 WEB 開催

尺骨茎状突起骨折を伴う橈骨遠位端骨折に対する術中 DRUJ 不安定性評価の有用性

大槻健太、高江洲美香、今井さくら、仲宗根素子*、仲宗根 哲*、宮田佳英、

西田康太郎*

中部徳洲会病院整形外科、琉大整形外科*

第 46 回日本骨折治療学会

2020. 9. 11-10. 30 WEB 開催

高齢者の大腿骨ステム周囲骨折 Vancouver typeB1 に対する骨折合術の治療経験

高江洲美香、仲宗根 哲*、石原昌人*、翁長正道*、西田康太郎*

中部徳洲会病院整形外科、琉大整形外科*

第 47 回日本股関節学会学術集会

2020. 10. 23-24 WEB 開催

当院で経験した免疫チェックポイント阻害薬関連下垂体機能障害の 2 例

與那嶺智子、呉屋真人、島袋浩勝、大城吉則

中部徳洲会病院 泌尿器科

2020. 11. 5-25 WEB 開催

新規 AR 標的薬使用後に病勢進行を来した mCRPC 症例に対する二次治療について

呉屋真人、西田 翔 1、與那嶺智子、泉 恵一朗 1、芦刈明日香 1、木村 隆 1、

中西昌太郎 1、玉城光由 2、島袋浩勝、大城吉則、町田典子 3、新里 博 3、當山裕一 4、

与那覇博隆 5、安次富勝博 6、宮里朝矩 6、斎藤誠一 1

中部徳洲会病院 泌尿器科、琉大 腎泌尿器外科 1、那覇市立病院 腎泌尿器科 2、
中頭病院 泌尿器科 3、沖縄赤十字病院 泌尿器科 4、県立宮古病院 泌尿器科 5、
県立北部病院 泌尿器科 6

第 108 回日本泌尿器科学会総会

2020. 12. 22-24 神戸

二分脊椎に伴う神経因性膀胱に対して回腸利用膀胱拡大術を施行した症例の検討

與那嶺智子、宮里 実 3、中西昌太郎 2、斎藤誠一 2

中部徳洲会病院 泌尿器科、琉大 腎泌尿器外科 2、琉大 システム生理学講座 3

2021. 1. 31-2. 1 WEB 開催

シャント感染を契機に発症した septic pulmonary embolism の 1 例

皆川 駿、遠藤啓孝、天野茂太、友利隆一郎、平田 旭、池田武史、村上大道、伊波 寛

中部徳洲会病院救急集中治療部

第 48 回日本救急医学会総会学術集会

2020. 11. 18-20 岐阜

当院 ICU で経験した非閉塞性腸管虚血 14 例の検討

遠藤啓孝、平田 旭、天野茂太、皆川 駿、友利隆一郎、村上大道、池田武史、伊波 寛

中部徳洲会病院救急集中治療部

第 42 回日本救急医学会総会学術集会

2020. 11. 18-20 岐阜

症候性てんかんの既往と卵巣奇形腫の存在から診断に難渋したウイルス性髄膜炎の 1 例

天野茂太、平田 旭、皆川 駿、遠藤啓孝、友利隆一郎、池田武史、村上大道、伊波 寛

中部徳洲会病院救急集中治療部

第 48 回日本救急医学会総会学術集会

2020. 11. 18-20 岐阜

肺高血圧による重症右心不全の治療において肺動脈カテーテルが有効であった 1 例

遠藤啓孝、平田 旭、知念 巧、天野茂太、村上大道、伊波 寛

中部徳洲会病院救急集中治療部

第 42 回日本呼吸療法学会

2020. 12. 20-21 京都

当院における急性腎障害に対する腎代替療法プロトコール導入前後での医療コストと予後に関する調査

天野茂太、平田 旭、遠藤啓孝、池田武史、村上大道、伊波 寛
中部徳洲会病院救急集中治療部
第 48 回日本集中治療医学会学術集会
2021. 2.12-14 WEB 開催

早期からの内臓神経ブロック

前 知子
中部徳洲会病院疼痛治療科
日本ペインクリニック学会第 54 回学術集会
2020. 11.14-15 WEB 開催

原疾患の治療遂行を妨げる痛みをペインクリニック的治療で克服した 3 症例

立花潤子、服部政治、溜渕昌美、前 知子
中部徳洲会病院疼痛治療科
日本ペインクリニック学会第 54 回学術集会
2020. 11.14-29 オンデマンド配信

大量オピオイドからの離脱インターベンションの治療の有用性

溜渕昌美、立花潤子、前 知子、服部政治
中部徳洲会病院疼痛治療科
日本ペインクリニック学会第 54 回学術集会
2020. 11.16-29 オンデマンド配信

後縦隔に発生した多発筋上皮癌の 1 例

河本宏昭
中部徳洲会病院胸部外科
第 53 回日本胸部外科学会 九州地方会総会
2020. 7.23-24 福岡

ハイブリッド手術室で骨盤骨折に対する経皮的スクリューは正確に挿入できるか？

高江洲美香、宮田佳英、仲宗根 哲*、西田康太郎*

中部徳洲会病院整形外科、琉大整形外科*

第 14 回日本 CAOS 研究会

2020. 9. 21-22 WEB 掲載(スライド提出のみ)

Prima Hip Screw Side Plate System に対する 3 次元術前計画の有用性

高江洲美香、仲宗根 哲*、大槻健太、宮田佳英、西田康太郎*

中部徳洲会病院整形外科、琉大整形外科*

第 15 回日本 CAOS 研究会

2021. 3. 4-5 岡山

疼痛治療科による専門的がん疼痛治療と Mobile Expert 活動

前 知子、服部政治、溜渕昌美、比嘉 啓 1、石川美夏 1、仲宗根 梓 1、喜多洋嗣 2、
喜多幸子 2、渡名喜彩乃 3

中部徳洲会病院疼痛治療科、同看護部 1、同薬剤部 2、同地域連携室 3

緩和・支持・心のケア合同学術集会 2020

2020. 8. 9-10 WEB 開催

がん疼痛のインターベンショナル治療

服部政治*1、前 知子*、立花潤子*、溜渕昌美*

中部徳洲会病院 疼痛治療科*、大分大学医学部麻酔科学講座 臨床教授*1

ペインクリニック・インターベンショナル治療研究会・特別講演

2020. 12. 11-12 東京

MRSA によるカテーテル関連血流感染の 1 例

山本夢己、長田博臣*、飯塚千紘*、新開 敬*、池原 聡*、新里勇二*

中部徳洲会病院初期研修医、同小児科*

第 130 回 沖縄県医師会医学会総会

2020. 12. 13 WEB 開催

腰椎椎間関節炎を初発とした急性リウマチ熱の1例

安水真惟子、新開 敬*、飯塚千紘*、長田博臣*、池原 聡*、新里勇二*

中部徳洲会病院初期研修医、同小児科*

第130回 沖縄県医師会医学会総会

2020. 12. 13 WEB開催

心房中隔内に発生した lipomatous atrial septal hypertrophy (LASH) の1例

宮城 基、早川真人*、池村 綾*、宮城和史*、伊波 潔*

中部徳洲会病院初期研修医、同心臓血管外科

第130回 沖縄県医師会医学会総会

2020. 12. 13 WEB開催

学会参加者一覧

【医師】

氏名	期間	学会名	場所
渡邊豊治	4/23～28	第72回日本産婦人科学会学術講演会	web
仲川真紀	6/20～21	CDTC臨床歯学実践基礎コース	大阪
仲川真紀	7/11～12	CDTC臨床歯学実践基礎コース	大阪
宮田佳英	6/11～8/31	第93回日本整形外科学会学術総会-オンライン学術総会-	web
河本宏昭	7/23～24	第53回日本胸部外科学会九州地方会総会	福岡
田木聡一	6/27～28	第2回日本在宅医療連合学会大会 Web開催	web
比嘉信喜	7/27～8/2	第84回日本循環器学会学術集会	web
比嘉信喜	8/7～9	第117回日本内科学会総会・講演会	web
轟純平	7/27～8/2	第84回日本循環器学会学術集会	web
村上優太	7/3	日本ACLS協会 BLSプロバイダーコース	大阪
村上優太	7/11～12	日本ACLS協会 ACLSプロバイダーコース	大阪
沖山幸一	8/9～12	第40回日本脳神経外科コンgres総会	金沢
野村悠	8/7～9	第117回日本内科学会総会・講演会	web
野村悠	7/27～8/2	第84回日本循環器学会学術集会	web
野村悠	8/21～23	日本不整脈心電学会 夏季EP web講演会	web
比嘉健一郎	7/27～8/2	第84回日本循環器学会学術集会	web
比嘉健一郎	8/7～9	第117回日本内科学会総会・講演会	web
池村綾	8/13～15	第120回日本外科学会定期学術集会	web
早川真人	8/13～15	第120回日本外科学会定期学術集会	web
野村悠	8/23	第170回日本循環器学会東北地方会	web
郷 克己	9/2～3	第99回日本消化器内視鏡学会総会	京都
手登根勇人	8/13～15	第120回日本外科学会定期学術集会	web
伊波潔	8/13～15	第120回日本外科学会定期学術集会	web
早川真人	8/17～19	第50回日本心臓血管外科学会学術総会	web

氏名	期間	学会名	場所
池村綾	8/17～19	第50回日本心臓血管外科学会学術総会	web
新垣辰也	8/9～12	第40回日本脳神経外科コンgres総会	web
新垣辰也	8/24～25	第49回日本脳卒中の外科学会	web
轟純平	8/7～9	第117回日本内科学会総会・講演会	web
沖山幸一	8/23～24	STROKE2020	web
手登根勇人	11/18～20	第48回日本救急医学会総会	岐阜
與座浩次	7/1～8/31	日本麻酔科学会 第67回学術集会	web
江口征臣	8/13～15	第120回日本外科学会定期学術集会	web
立花潤子	7/1～8/31	日本麻酔科学会第67回学術集会	web
高江洲美香	9/21～22	第14回日本CAOS研究会	web
高江洲美香	9/11～10/30	第46回日本骨折治療学会学術集会	web
大槻健太	9/11～10/30	第46回日本骨折治療学会学術集会	web
仲川真紀	10/10～11	CDTC臨床歯学実践基礎コース	大阪
前知子	7/1～8/31	日本麻酔科学会第67回学術集会	web
溜瀧昌美	7/1～8/31	日本麻酔科学会第67回学術集会	web
平田旭	10/17	集中治療部専門医試験	福岡
河本宏昭	8/13～15	第120回日本外科学会定期学術集会	web
前知子	8/9～8/10	緩和・支持・心のケア合同学術大会2020	web
山崎 晃	7/1～8/31	日本麻酔科学会第67回学術集会	web
沖山幸一	10/15～17	日本脳神経外科学会第79回学術総会	web
新屋洋平	6/27～28	第2回日本在宅医療連合学会大会 Web開催	web
宮城幹史	8/13～15	第120回日本外科学会定期学術集会	web
高江洲美香	10/23～24	第47回日本股関節学会学術集会	web
新垣辰也	10/15～17	日本脳神経外科学会第79回学術総会	web

氏名	期間	学会名	場所
伊波潔	11/18～20	第48回日本救急医学会総会・学術集会	web
池村綾	10/8～11/2	第56回腹部救急医学会総会	web
池村綾	10/13～11/13	第61回日本脈管学会総会	web
平田旭	9/20～11/14	日本心臓血管麻酔学会第25回学術大会	web
安部貴之	11/26～27	令和2年度病院前医療体制における指導医等研修（初級者）	東京
早川真人	10/13～11/13	第61回日本脈管学会総会	web
平田旭	11/18～20	第48回日本救急医学会総会	岐阜
早川真人	10/29～11/1	第73回日本胸部外科学会定期学術集会	web
皆川駿	11/18～20	第48回日本救急医学会総会・学術集会	岐阜
遠藤啓孝	11/18～20	第48回日本救急医学会総会・学術集会	岐阜
天野茂太	11/18～20	第48回日本救急医学会総会・学術集会	岐阜
小川真紀	11/22～23	第7回徳洲会病理部会学術集会	神奈川
立花潤子	11/14～29	日本ペインクリニック学会第54回学術集会	web
比嘉信喜	11/18～20	第48回日本救急医学会総会・学術集会	web
溜渕昌美	11/14～29	日本ペインクリニック学会第54回学術集会	web
伊波寛	12/20～21	第42回日本呼吸療法医学会学術集会	京都
渡邊豊治	12/14～12/28	第60回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	web
渡邊豊治	1/29～1/31	第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	web
早川真人	11/27～29	第48回日本血管外科学会学術総会	web
新垣かおる	7/1～8/31	日本麻酔科学会第67回学術集会	web
平田旭	12/20～21	第42回日本呼吸療法医学会学術集会	京都
前知子	11/14～29	日本ペインクリニック学会第54回学術集会	web
前知子	11/6～30	日本臨床麻酔学会第40回大会	web
服部政治	12/11～12	JPCIT	東京

氏名	期間	学会名	場所
遠藤啓孝	12/20～21	第42回日本呼吸療法医学会学術集会	京都
天野茂太	12/20～21	第42回日本呼吸療法医学会学術集会	京都
與那嶺智子	11/5～25	第72回西日本泌尿器科学会総会	web
與那嶺智子	11/19～12/20	第34回日本泌尿器内視鏡学会総会	web
大城吉則	11/1～30	第56回日本移植学会総会	web
大城吉則	11/19～21	第34回日本泌尿器内視鏡学会総会	web
大城吉則	12/22～24	第108回日本泌尿器科学会総会	web
呉屋真人	11/5～8	第72回西日本泌尿器科学会総会	web
呉屋真人	11/19～21	第34回日本泌尿器内視鏡学会総会	web
呉屋真人	12/22～24	第108回日本泌尿器科学会総会	web
宮里実幸	12/20～21	第42回日本呼吸療法医学会学術集会	京都
與那嶺智子	12/22～24	第108回日本泌尿器科学会総会	web
櫻井佑	1/10	日本不整脈学会 心電図検定	東京
比嘉健一郎	2/18～21	CVIT2020	web
島袋浩勝	11/5～7	第72回西日本泌尿器科学会総会	web
島袋浩勝	12/22～24	第108回日本泌尿器科学会総会	web
比嘉健一郎	1/15～16	第32回日本心血管インターベンション治療学 科九州・沖縄地方会	web
野村悠	2/5～7	第13回植え込みデバイス関連冬季大会	web
與那嶺智子	1/31～2/1	第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会	web
平田旭	2/12～14	第48回日本集中治療医学会学術集会	web
天野茂太	2/12～14	第48回日本集中治療医学会学術集会	web
沖山幸一	3/11～13	STROKE2021	web
早川真人	2/19～21	第51回日本心臓血管外科学術総会	web
池村綾	2/19～21	第51回日本心臓血管外科学術総会	web

氏名	期間	学会名	場所
高江洲美香	3/4～5	第15回日本CAOS研究会	岡山
池村綾	3/11～12	第57回日本腹部救急医学会総会	web
新垣辰也	3/11～13	第50回日本脳卒中の外科学会学術集会	web
野村悠	3/26～28	第85回日本循環器学会学術集会	web
大城吉則	2/17～19	第54回日本臨床腎移植学会・総会	web
比嘉健一郎	3/26～28	第85回日本循環器学会学術集会	web
平田旭	3/21～22	日本救急医学会e-igakukai	web

【看護部】

氏名	期間	学会名	場所
玉城 智淳	7/1～9/30	第10回徳洲会グループ 医療安全管理者養成研修	web
竹ノ内 利恵	7/1～9/30	第10回徳洲会グループ 医療安全管理者養成研修	web
仲宗根 真理代	7/4	がん看護Ⅰ（看護概論・放射線療法看護）	沖縄県看護協会
新垣 真栄 他 （計2名）	7/7	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	沖縄県看護協会
兼松 久美子	7/7～8/13	認定看護管理者教育課程 「ファーストレベル」	沖縄県看護協会
山川 敦子	7/7～8/13	認定看護管理者教育課程 「ファーストレベル」	沖縄県看護協会
國吉 恵梨奈 他 （計5名）	7/29～7/30	災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎知識～（DVD）	沖縄県看護協会
石川 祥子 他 （計2名）	7/25	看護研究（入門編） ～看護現場から見出す研究課題～	沖縄県看護協会
マランダ 美和 他 （計3名）	7/9～7/10	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 （DVD）	沖縄県看護協会
上 恵理子 他 （計20名）	8月	‘20重症度、医療・看護必要度評価者及び院内指導者研修	web
外間 美智代	10/26～11/27	認定看護管理者教育課程 「サードレベル」	沖縄県看護協会
熊谷 彩香 他 （計6名）	10/6	急性期病院で実現した身体抑制のない看護に取り組んで	沖縄県看護協会
我如古 京香 他 （計2名）	10/10	看護の本質 ～“患者の語り”から看護を学ぶ～	沖縄県看護協会
伊良波 千夏 他 （計6名）	10/12	看護に活かそう「手の力」タクティールケア	沖縄県看護協会
兼島 済	10/13	医療者のための共育コーチング ～心を動かし、チームを動かす～	沖縄県看護協会

氏名	期間	学会名	場所
喜屋武 郁恵 他 (計2名)	10/16	コンピテンシーモデルを活用した看護管理 ～人材育成のヒントを学ぼう～	沖縄県看護協会
與那嶺 博美	10/21	グループワークを活性化させるファシリテーションスキルを学ぼう	沖縄県看護協会
宮城 航	10/27	准看護師研修 与薬と医療事故防止 KYTを学ぶ	沖縄県看護協会
兼島 済 他 (計3名)	10/28～10/29	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (DVD)	沖縄県看護協会
崎間 真衣 他 (計2名)	10/31	発達障害の理解と効果的なコミュニケーション	沖縄県看護協会
當真 さゆり 他 (計2名)	11/6	臨床瞑想法 ～心身のリフレッシュを体験しよう～	沖縄県看護協会
照屋 亜美 他 (計2名)	11/10	感染対策の基礎知識 I	沖縄県看護協会
喜友名 幸代 他 (計5名)	11/12	リーダーシップ研修 I ～チーム力を高めるリーダーシップを学ぼう～	沖縄県看護協会
福山 勝之	11/14	特定行為研修修了者の活動とその支援	沖縄県看護協会
兼城 美有樹 他 (計10名)	11/17	フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会
宮平 七海 他 (計6名)	11/18	フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会
竹元 貴子 他 (計2名)	11/25	外来看護 ～時代を超えて求められる患者支援～	沖縄県看護協会
桃原 敦子	11/27	教育担当・看護管理者のためのICT活用と看護情報管理	沖縄県看護協会
竹元 貴子	11/28	在宅で療養するがん患者と家族を支援する訪問看護	沖縄県看護協会
金城 夏枝 他 (計2名)	12/2	心不全看護	沖縄県看護協会
徳山 清和	12/8～12/13	DMA T 隊員養成研修	兵庫県災害医療センター
外間 美智代 他 (計3名)	12/11	クリニカルラダー活用の実際	沖縄県看護協会
名城 かおり 他 (計2名)	12/19	感染対策の基礎知識 II	沖縄県看護協会
志村 夏音 他 (計5名)	12/23～12/24	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 (DVD)	沖縄県看護協会
安慶名 正美 他 (計2名)	1/13	病院と地域を看護がつなぐ	沖縄県看護協会
仲里 久美子 他 (計3名)	1/16	裁判例から考える看護実践と看護記録	沖縄県看護協会
金城 ひびき 他 (計2名)	1/28	認知症ケアの考え方と技術 ～認知症患者に対する効果的なアプローチ～	沖縄県看護協会
大城 祐美江 他 (計6名)	1/29	医療現場における苦情と倫理的問題への対応	沖縄県看護協会
松田 沙織	2/5	現場で役立つ看護職の為の栄養ケアのポイント	沖縄県看護協会

氏名	期間	学会名	場所
下地 千咲 他 (計2名)	2/27	これからの時代に必要な地域における アドバンス・ケア・プランニング	沖縄県看護協会
知花 一志 他 (計10名)	2月	2020年度看護必要度ステップアップ研修	web
桃原 敦子	1/30	看護管理者研修 看護と人材マネジメント 看護職の確保・育成・定着化	web
外間 千春	1/30	看護管理者研修 看護と人材マネジメント 看護職の確保・育成・定着化	web
桃原 敦子 他 (計12名)	2/20	第35回沖縄県看護研究学会学術集会	web

【放射線部】

氏名	期間	学会名	場所
祖堅 光彦	7/13	Body DWI研究会	web
祖堅 光彦	9/11	第48回 日本磁気共鳴医学会大会	web
祖堅 光彦	11/28	第21回 近畿救急撮影セミナー	web
祖堅 光彦	12/19	第19回 CTテクノロジーフォーラム	web
祖堅 光彦	3/12	第11回 九州Ai研究会	web
仲里 亮人	11/12	第2回 CT Colonography Webinar	web
石崎 理子	11/24	第32回 放射性医薬品取り扱いガイドライン 講習会	web
石崎 理子	12/9	第20回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内 用療法における適正使用に関する安全取扱講習会	web
石崎 理子	2/26	第9回 東葛地区合同勉強会	web
吉村 祐太	2/20	第9回 RI分科会	web
兼謝名 小夏	6/11	第1回 緊急MRI安全webワークショップ	web
兼謝名 小夏	6/19	Cyber DECT pre conference	web
大城 弘哉	12/19	第19回 CTテクノロジーフォーラム	web
大城 弘哉	12/20	画論 28th The Best Image	web

【薬剤部】

氏名	期間	学会名	場所
坂口 結斗	8/27～8/28	第23回日本臨床救急医学会学術集会	web
吉村 美菜	9/12～9/14	第68回日本化学療法学会学術集会	web
長濱 藍	10/24～11/1	第30回日本医療薬学会年会	web
中村 麗紗	10/24～11/1	第30回日本医療薬学会年会	web
府川 祥子	12/14～12/20	第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会	web

【臨床工学部】

氏名	期間	学会名	場所
登川 竜児	9/29～9/30	第30回日本臨床工学会	web
金城 誠也	9/29～9/30	第30回日本臨床工学会	web
米澤 昭一	9/29～9/30	第30回日本臨床工学会	web
登川 竜児	1/30～1/31	第15回九州沖縄臨床工学会 第27回熊本臨床工学会	web
仲地 勝弘	1/30～1/31	第15回九州沖縄臨床工学会 第27回熊本臨床工学会	web
登川 竜児	2/18～2/21	第29回日本心血管インターベンション治療学会CVIT2020	web
乙部 誠喜	2/18～2/21	第29回日本心血管インターベンション治療学会CVIT2020	web
米澤 昭一	2/18～2/21	第29回日本心血管インターベンション治療学会CVIT2020	web
城間 悠子	9/29～9/30	第30回日本臨床工学会	web

【栄養部】

氏名	期間	学会名	場所
比嘉 由子	10/5～10/16	第63回 日本糖尿病学会年次学術集会	web
比嘉 由子	10/1～11/2	第42回 日本臨床栄養学会総会・第41回日本臨床栄養協会総会	web
比嘉 由子	3/20～3/21	第41回 日本肥満学会・第38回日本肥満症治療学会学術集会	web

【治験センター】

氏名	期間	学会名	場所
伊禮 武	11/3～11/16	第20回CRCと臨床試験を考える会議	Web参加
大城 康香	11/3～11/16	第20回CRCと臨床試験を考える会議	Web参加
玉城 利沙	11/3～11/16	第20回CRCと臨床試験を考える会議	Web参加
伊禮 武	11/27～11/29	第19回日本移植コーディネーター協会総合研修会	Web参加
大城 康香	11/27～11/29	第19回日本移植コーディネーター協会総合研修会	Web参加
玉城 利沙	11/27～11/29	第19回日本移植コーディネーター協会総合研修会	Web参加
大城 圭代	11/27～11/29	第19回日本移植コーディネーター協会総合研修会	Web参加
上原 克代	12/3～12/5	第41回日本臨床薬理学会総会	Web参加
大城 圭代	12/3～12/5	第42回日本臨床薬理学会総会	Web参加

【検査部】

氏名	期間	学会名	場所
脇坂直樹	6/20～7/19	第61回日本臨床細胞学会春期大会	横浜
比嘉勇也	6/20～7/19	第61回日本臨床細胞学会春期大会	横浜
中丸雄喜	7/10～7/12	第21回日本検査血液学会学術集会	Web
脇坂直樹	12/11～12/27	第59回日本臨床細胞学会秋期大会	神奈川
知花宗仙	12/11～12/27	第59回日本臨床細胞学会秋期大会	神奈川
脇坂直樹	2/20～3/6	第41回沖縄県臨床細胞学会総会学術集会	沖縄
知花宗仙	2/20～3/6	第41回沖縄県臨床細胞学会総会学術集会	沖縄
比嘉勇也	2/20～3/6	第41回沖縄県臨床細胞学会総会学術集会	沖縄
比嘉勇也	3/20～3/29	第81回細胞検査ワークショップ	Web

【リハビリセンター】

氏名	期間	学会名	場所
登川 誠也	11/20～11/21	第8回日本難病医療ネットワーク学会	Web
池原 匡	2/14	第21回沖縄県理学療法学術大会	Web

中部徳洲会病院年報

2021年発行

発行：医療法人 沖繩徳洲会
中部徳洲会病院 院長 大城 吉則
年報作成事務局・地域医療連携室
〒901-2393
沖繩県中頭郡北中城村字比嘉801番地
電話：098-932-1110（代表）
